

# 千代田区 中小企業の景況

令和6年10月～12月期

千代田区地域振興部商工観光課

## 目 次

都内中小企業の景況（令和6年10月～12月期）	1
業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・千代田区）	2
千代田区内中小企業の景況（令和6年10月～12月期）	4
千代田区内各業種別業況の動きと来期の予測	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	10
・ 小売業	14
・ サービス業	18
・ 建設業	22
・ 不動産業	26
経営者の声	30
日銀短観	32
千代田区と東京都の企業倒産、休廃業・解散動向	33
特別調査「2025年（令和7年）の経営見通し」	35
千代田区独自調査「GビズIDの活用状況について」	38
中小企業景況調査 比較表	41
中小企業景況調査 転記表	44

### 調査方法・対象と回収状況

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 1 調査機関 | 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課       |
| 2 調査方法 | 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査           |
| 3 調査時期 | 令和6年10月～12月期を対象に令和6年12月上旬に実施 |
| 4 実施状況 | 207事業所                       |

#### 【回答事業所数の規模別内訳】

（単位：事業所数・％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	31	9	6	4	6	3	0	3	0	0
卸 売 業	48	7	10	12	6	2	1	7	3	0
小 売 業	26	16	3	0	3	1	1	2	0	0
サ ー ビ ス 業	38	6	8	6	7	3	3	1	4	0
建 設 業	29	10	7	4	3	1	2	0	2	0
不 動 産 業	35	20	6	3	3	0	1	2	0	0
業 種 計	207	68 (32.9)	40 (19.3)	29 (14.0)	28 (13.5)	10 (4.8)	8 (3.9)	15 (7.2)	9 (4.3)	0 (0.0)

#### 判断表 業種別定点指標値（マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断）

	A	B	C	D	E	F	G
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

好調

不調

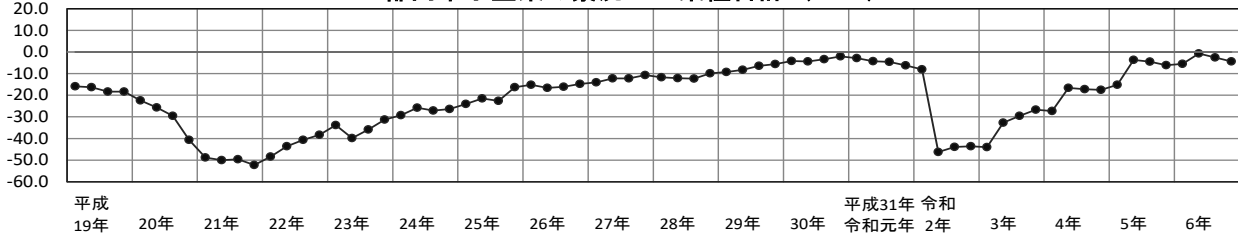
※小数点第一位を四捨五入の上、上記判断表に基づき分類を行っている。

# 都内中小企業の景況（令和6年10月～12月期）

## 業況は水面下のまま変化なく推移

(D.I.)

都内中小企業の景況・6業種合計 (D. I.)



今期の6業種合計の業況判断DIは、△4.4（前期△2.6）と水面下のまま変化なく推移した。業種別で見ると、卸売業、小売業において悪化傾向が強まり、製造業は前期同様の厳しさが続き、サービス業は水面下のまま変化なく推移した。一方、建設業、不動産業は前期並の良好感が続いた。

来期は、建設業・不動産業は今期並の良好感が続き、製造業・卸売業・小売業において水面下ながらわずかに改善が見られ、サービス業は今期同様変化なく推移すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予測	今期との増減
製造業	-7.0	-8.9	-1.9	-6.3	2.6
卸売業	-4.7	-8.6	-3.9	-5.5	3.1
小売業	-10.6	-14.4	-3.8	-11.5	2.9
サービス業	-1.2	-2.1	-0.9	-1.0	1.1
建設業	12.0	11.7	-0.3	10.0	-1.7
不動産業	7.1	8.1	1.0	6.9	-1.2
総 合 計	-2.6	-4.4	-1.8	-2.8	1.6

### <製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、受注残はわずかに減少を強め、収益は前期並の減少が続いた。価格面では販売価格・原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位2位は「原材料高」、「売上の停滞・減少」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想しており、売上額・受注残は増減なく推移し、収益は今期並の減少が続くと見ている。

### <卸売業>

業況はわずかに悪化を強めた。売上額はやや伸び悩み、収益は前期並の減少が続いた。価格面では販売価格は前期並の上昇が続き、仕入価格はやや上昇が弱まった。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善が見られ、売上額は増減なく推移し、収益は今期並の減少が続くと予想している。

### <小売業>

業況はわずかに悪化した。売上額は水面下に落ち込み、収益はわずかに減少を強めた。価格面では販売価格・仕入価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「品揃えを改善する」の順となっている。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想しており、売上額・収益もわずかに改善すると見ている。

### <サービス業>

業況は水面下のまま変化なく推移した。売上額は前期同様の増加が続き、収益は増減なく推移した。価格面では料金価格・材料価格ともに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位2位は、1位が「人手不足」、2位は「売上の停滞・減少」と「人件費の増加」が同率となっている。重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期の業況は今期同様変化なく推移すると予想している。売上額は今期同様の増加が続き、収益は増減なく推移すると見ている。

### <建設業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・受注残・施工高・収益は前期同様の増加で推移した。価格面では請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が弱まった。

経営上の問題点の上位2位は「材料価格の上昇」、「人手不足」の順となり、重点経営施策の上位2位は「人材を確保する」、「経費を節減する」の順となっている。

来期の業況は今期並の良好感が続くとして予想している。売上額・受注残・施工高はわずかに増加傾向が一服し、収益は増減なく推移すると見ている。

### <不動産業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加が続いた。価格面では販売価格・仕入価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位2位は「商品物件の高騰」、「商品物件の不足」の順となり、重点経営施策の上位2位は「情報力を強化する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期の業況は今期並の良好感が続くとして予想しており、売上額・収益は今期同様の増加が続くと見ている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

### 【注】

ディフュージョン インデックス

○D. I. (Diffusion Indexの略)

D. I. (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

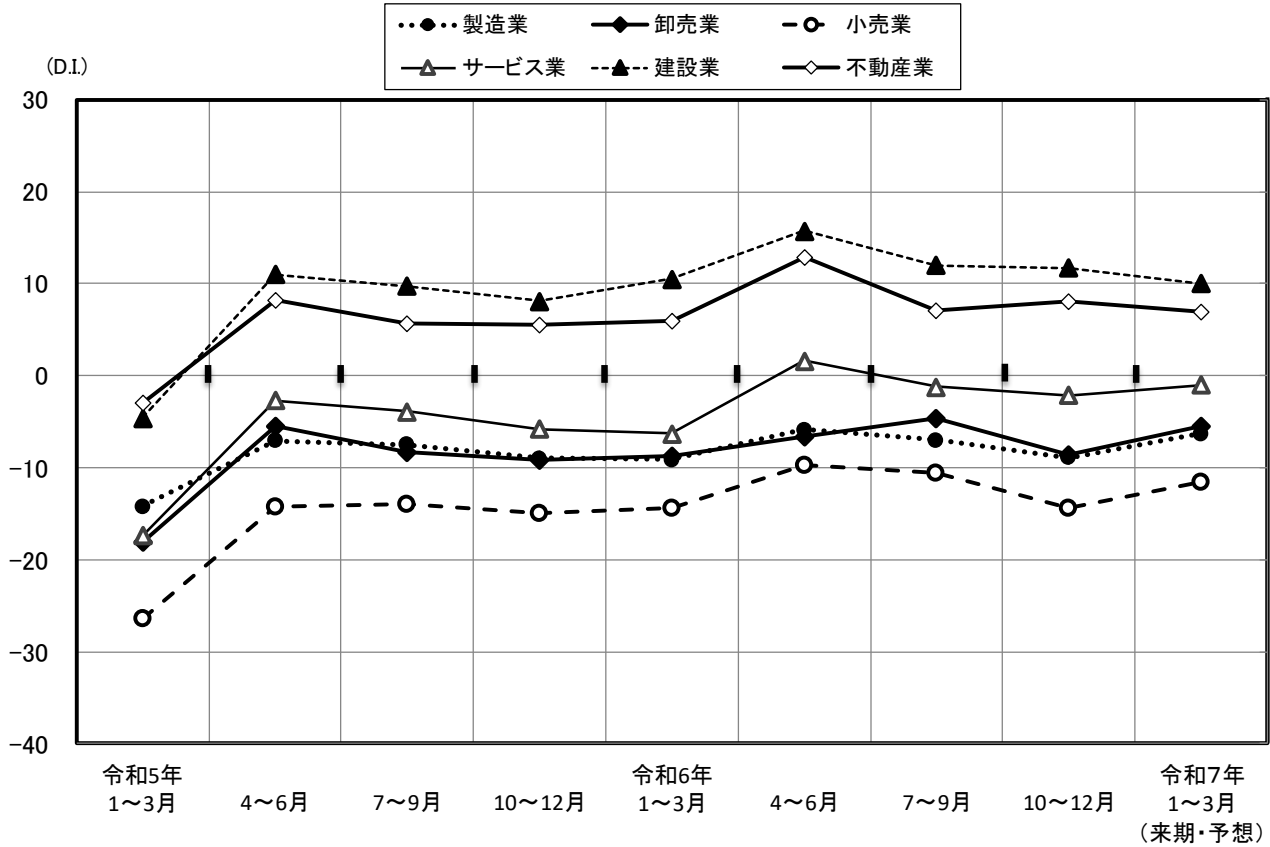
季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I. を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I. 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

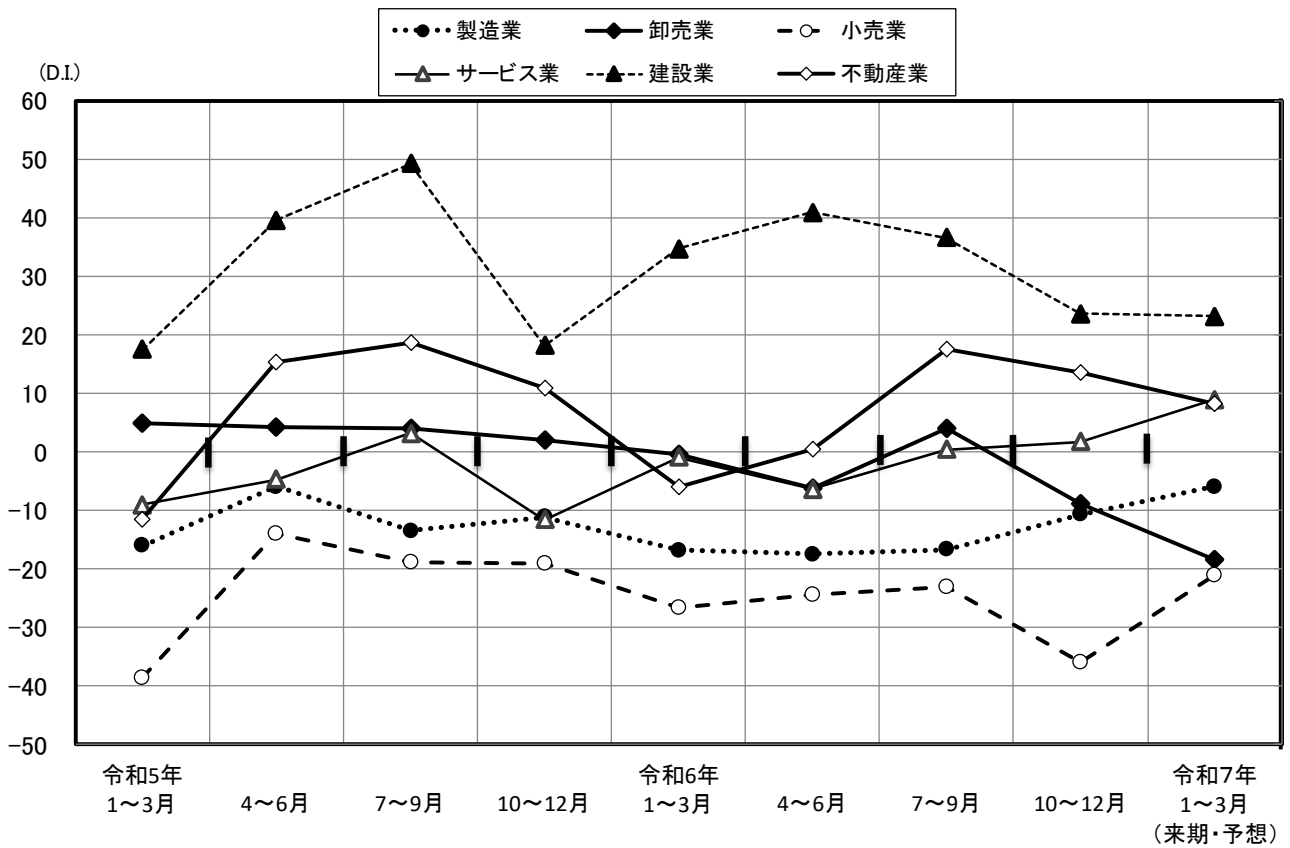
傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向を見る方法です。

# 業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・千代田区）

## 東京都



# 千代田区



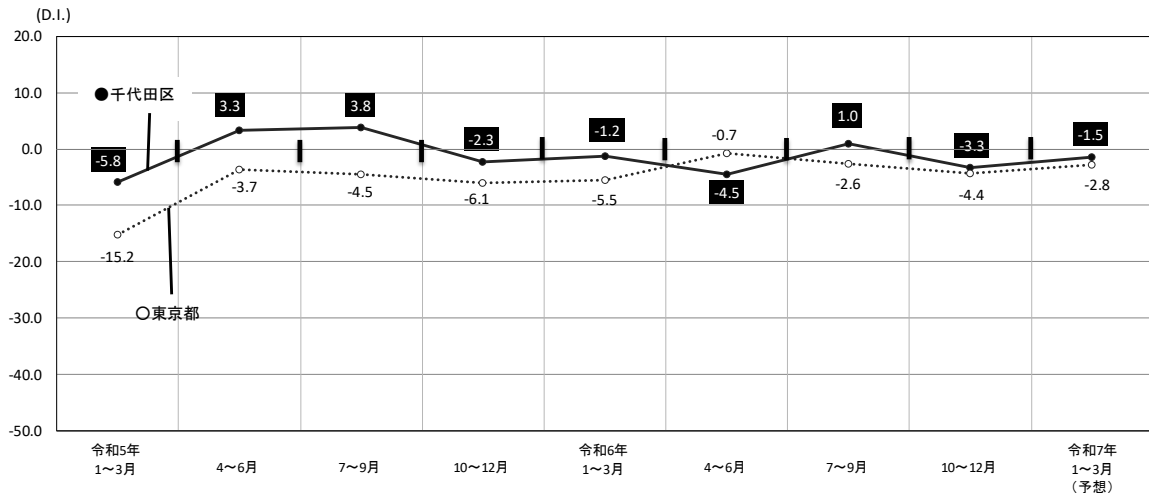
	令和5年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和6年 1~3月	4~6月	7~9月 (前期)	10~12月 (今期)	増減	令和7年 1~3月 (来期・予想)	今期と の比較
製 造 業	-16.1	-5.9	-13.5	-11.2	-16.8	-17.5	-16.7	-10.7	6.0	-5.9	4.8
卸 売 業	4.9	4.2	3.9	1.9	-0.4	-6.2	4.0	-8.8	-12.8	-18.5	-9.7
小 売 業	-38.7	-14.0	-18.9	-19.1	-26.6	-24.4	-23.0	-36.1	-13.1	-21.0	15.1
サ-ビス業	-9.0	-4.7	3.2	-11.6	-0.9	-6.4	0.4	1.7	1.3	8.9	7.2
建 設 業	17.5	39.6	49.3	18.2	34.7	40.9	36.6	23.6	-13.0	23.2	-0.4
不 動 産 業	-11.6	15.4	18.6	10.9	-6.1	0.5	17.5	13.5	-4.0	8.3	-5.2
総 合	-5.8	3.3	3.8	-2.3	-1.2	-4.5	1.0	-3.3	-4.3	-1.5	1.8

## 千代田区内中小企業の景況（令和6年10月～12月期）

千代田区の今期の業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-3.3と前期（令和6年7～9月）の1.0に比べ4.3ポイント減少し、悪化に転じた。

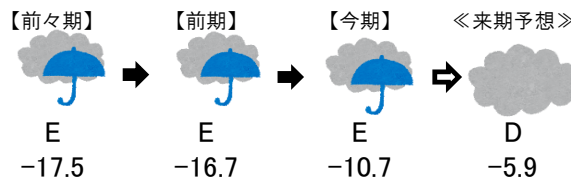
東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を1.1ポイント上回った。業種別で比較すると、建設業（11.9ポイント）で、千代田区が東京都を10ポイント以上上回った。一方、小売業（21.7ポイント）で、千代田区が東京都を10ポイント以上下回った。

千代田区の来期（令和7年1～3月）の業況見通しは-1.5と、今期よりも1.8ポイント増加し、今期並で推移すると予想されている。東京都の来期の業況見通しは-2.8であり、比較すると千代田区が1.3ポイント上回り、差は今期同様となる見込みである。



## 千代田区内各業種別業況の動きと来期の予測

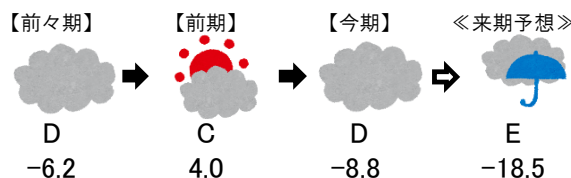
### 製造業



業況は厳しさが大きく和らぎ、改善した。売上額は前期並となり、収益は増加から減少に転じ、悪化した。価格面では、販売価格は前期並となり、原材料価格は上昇がやや強まった。在庫は過剰感がやや強まった。

来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額は今期同様で推移し、収益は減少が大きく強まる見通しである。

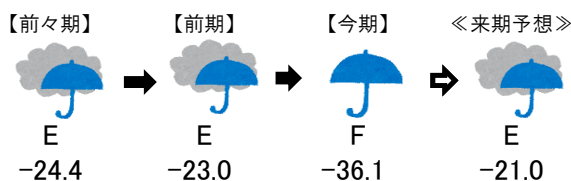
### 卸売業



業況は悪化に転じた。売上額は前期並となり、収益は増加に転じ、改善した。価格面では、販売価格は上昇がやや強まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は過剰感が大きく改善した。

来期の見通しについて、業況は低調感が大きく強まると予想されている。売上額、収益はともに増加から減少に転じる見通しである。

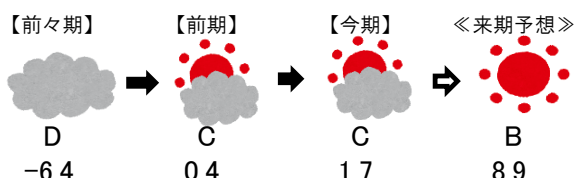
## 小売業



業況は低調感が大きく強まり、悪化した。売上額、収益はともに減少が大きく強まり、悪化した。価格面では、販売価格は上昇が大きく強まり、仕入価格は上昇がやや弱まった。在庫は不足感が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額、収益はともに減少が大きく弱まる見通しである。

## サービス業



業況は前期並となり、売上額、収益はともに増加に転じ、改善した。価格面では、料金価格は上昇がやや強まり、材料価格は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況は好調感が大きく強まると予想されている。売上額、収益はともに増加傾向を大きく強める見通しである。

## 建設業



業況は好調感が大きく後退し、悪化した。売上額は増加幅が極端に縮小し、収益は増加から減少に転じ、ともに悪化した。価格面では、請負価格は上昇が大きく弱まり、材料価格は上昇がやや弱まった。在庫は前期並となった。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加幅が大きく拡大し、収益は増加に転じる見通しである。

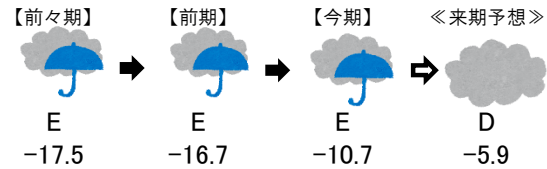
## 不動産業



業況は好調感がやや後退し、悪化した。売上額は増加から減少に転じ、収益は増加傾向が極端に弱まり、ともに悪化した。価格面では、販売価格は上昇が極端に弱まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は過剰に転じた。

来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想されている。売上額は増加に転じ、収益は今期同様で推移する見通しである。

# 製 造 業



## 業 況

業況 (-17.5 → -16.7 → -10.7) は厳しさが大きく和らいだ。

## 売上額・収益・受注残

売上額 (-1.2 → 3.7 → 3.7) は前期並となった。  
受注残 (-1.7 → 5.3 → 2.6) は増加幅がやや縮小した。  
収益 (-18.8 → 5.6 → -0.7) は増加から減少に転じた。

## 価格・在庫動向

販売価格 (29.2 → 23.6 → 22.7) は前期並となった。  
原材料価格 (59.2 → 49.7 → 55.3) は上昇がやや強まった。  
在庫 (8.0 → 2.2 → 4.2) は過剰感がやや強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り (-13.1 → -23.7 → -24.3) は前期並となった。  
借入難易度 (-6.3 → -3.7 → -3.7) は前期並となった。  
設備投資を「実施した」企業(5.9% → 12.9% → 16.1%)は前期より3.2ポイント増となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(38.7%)が最多となり、以下、「原材料高」(22.6%)、「同業者間の競争の激化」(12.9%)の順となった。

重点経営施策では、「販路を広げる」(51.6%)が最多となり、以下、「経費を節減する」(41.9%)、「情報力を強化する」(16.1%)の順となった。

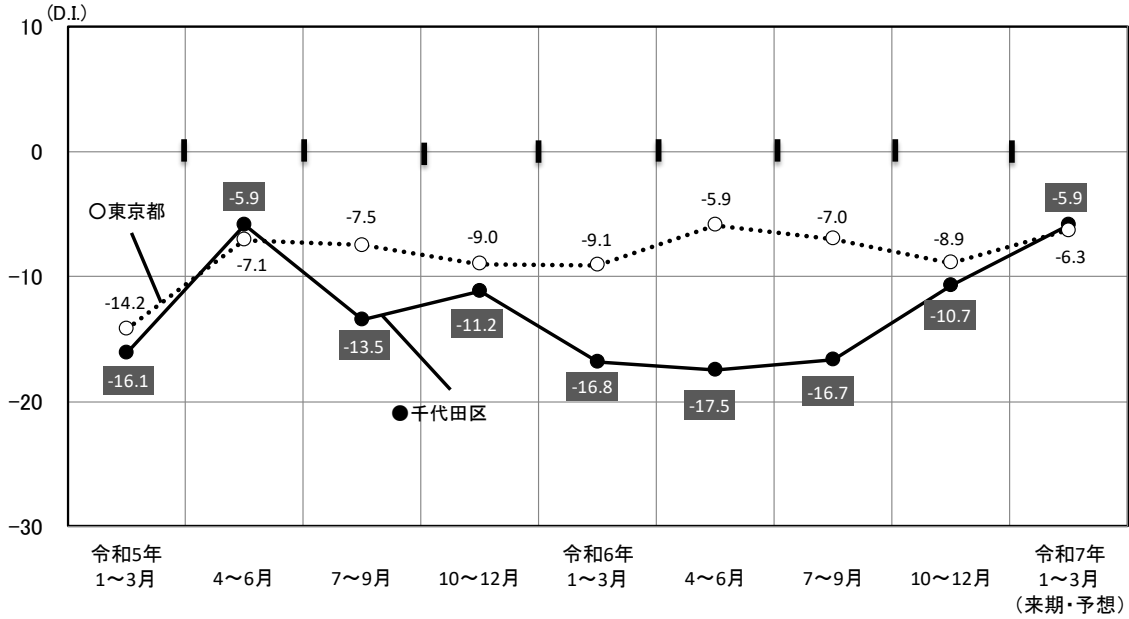
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 (-5.9 予想) は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額 (2.0 予想)、受注残 (0.9 予想) はともに今期同様で推移し、収益 (-10.0 予想) は減少が大きく強まる見通しである。

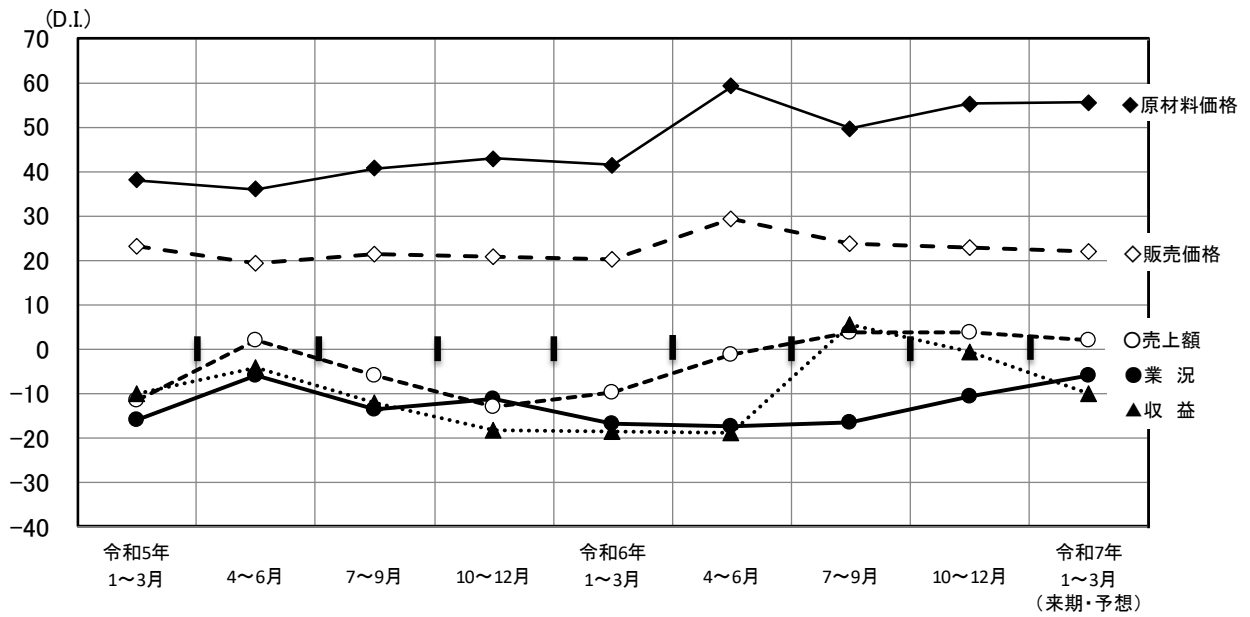
価格面では、販売価格 (22.0 予想)、原材料価格 (55.6 予想) はともに今期同様で推移すると見込まれる。



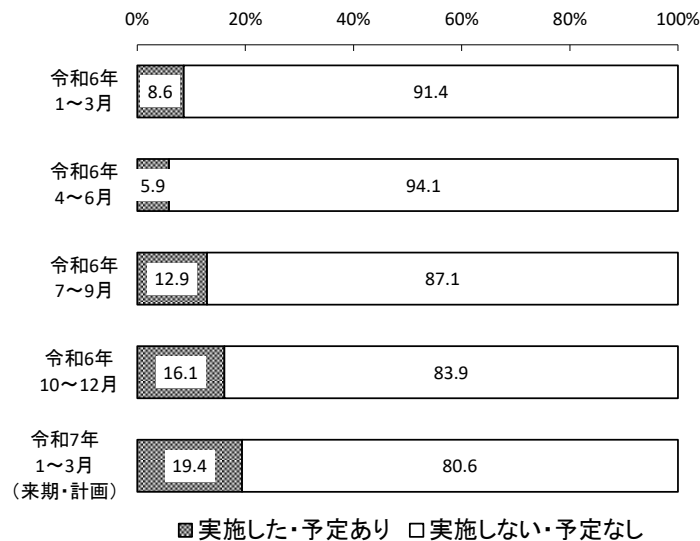
### 【製造業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

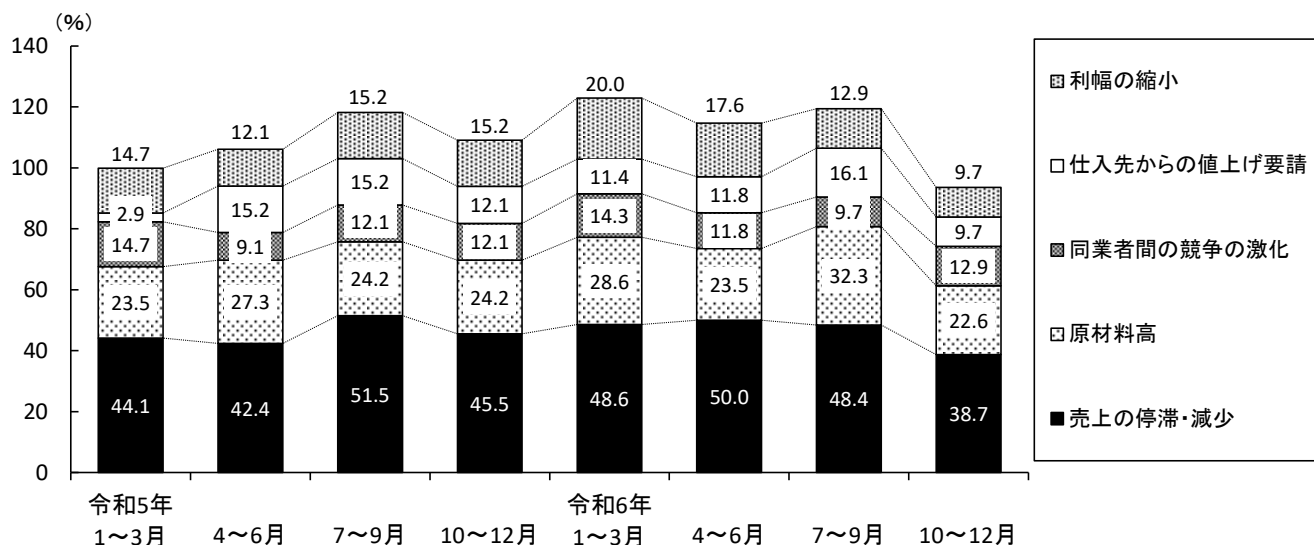


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

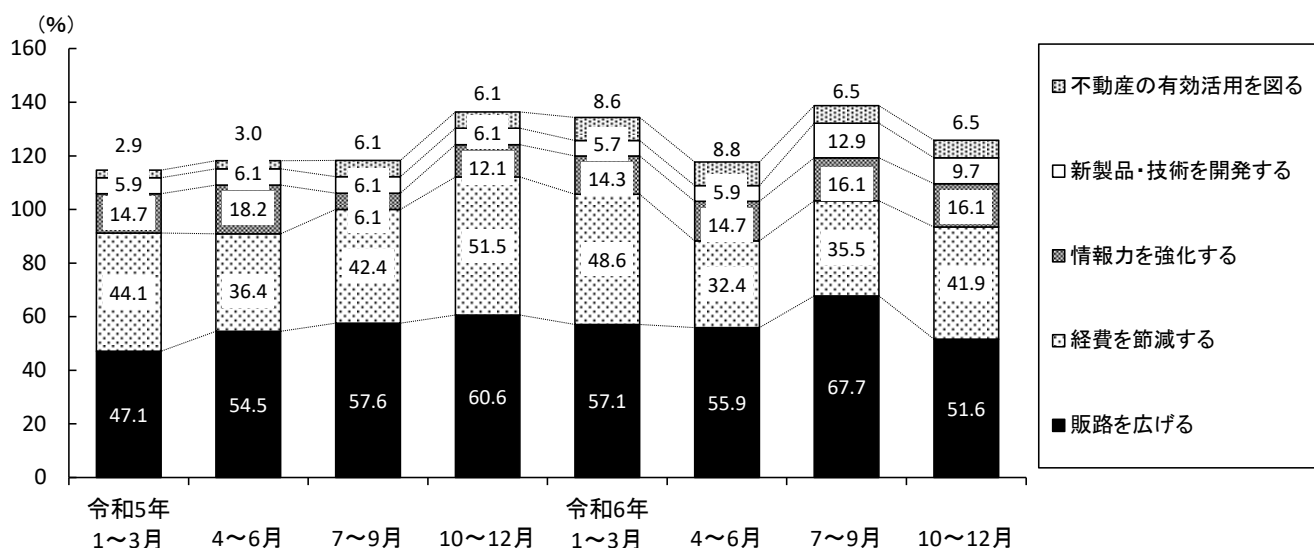


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
売上の停滞・減少	48.6 %	売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	48.4 %	売上の停滞・減少	38.7 %
原材料高	28.6 %	原材料高	23.5 %	原材料高	32.3 %	原材料高	22.6 %
利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	17.6 %	仕入先からの値上げ要請	16.1 %	同業者間の競争の激化	12.9 %
同業者間の競争の激化	14.3 %	人手不足	14.7 %	利幅の縮小	12.9 %	仕入先からの値上げ要請	9.7 %
仕入先からの値上げ要請	11.4 %	仕入先からの値上げ要請	11.8 %	同業者間の競争の激化	9.7 %	利幅の縮小	
		同業者間の競争の激化		大手企業との競争の激化			

## 重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
販路を広げる	57.1 %	販路を広げる	55.9 %	販路を広げる	67.7 %	販路を広げる	51.6 %
経費を節減する	48.6 %	経費を節減する	32.4 %	経費を節減する	35.5 %	経費を節減する	41.9 %
情報力を強化する	14.3 %	情報力を強化する	14.7 %	情報力を強化する	16.1 %	情報力を強化する	16.1 %
不動産の有効活用を図る	8.6 %	不動産の有効活用を図る	8.8 %	新製品・技術を開発する	12.9 %	新製品・技術を開発する	9.7 %
人材を確保する		提携先を見つける		不動産の有効活用を図る	6.5 %	不動産の有効活用を図る	6.5 %
				人材を確保する		不採算部門を整理・縮小する	
				不採算部門を整理・縮小する		人材を確保する	

# 業種別動向

## ●出版、製本業●

業況（-17.6 → -20.5 → -17.0）は厳しさがやや和らぎ、売上額（18.0 → 10.2 → 7.1）は増加幅がやや縮小し、収益（-1.6 → 22.7 → -9.1）は増加から減少に転じた。価格面では、販売価格（39.8 → 32.2 → 37.5）、原材料価格（66.4 → 51.7 → 57.6）はともに上昇がやや強まった。

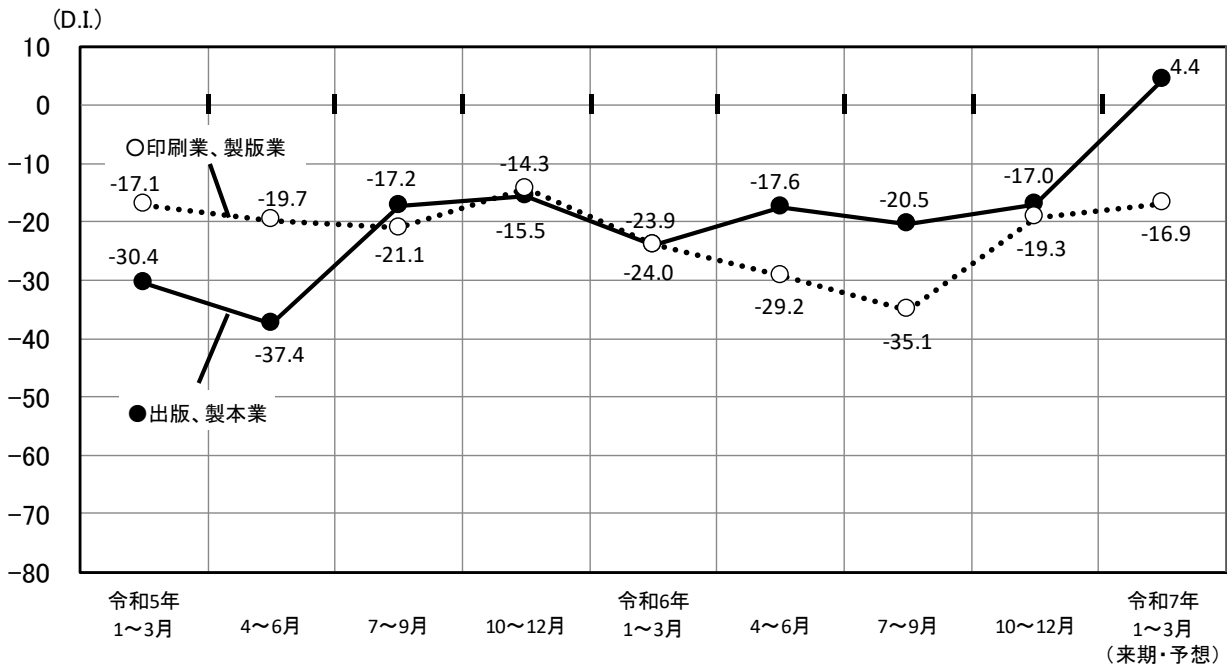
来期の見通しについて、業況（4.4予想）は好転し、売上額（8.5予想）は今期同様で推移し、収益（-20.7予想）は減少が大きく強まると予想されている。価格面では、販売価格（24.3予想）は上昇が大きく弱まり、原材料価格（56.9予想）は今期同様で推移する見通しである。

## ●印刷業、製版業●

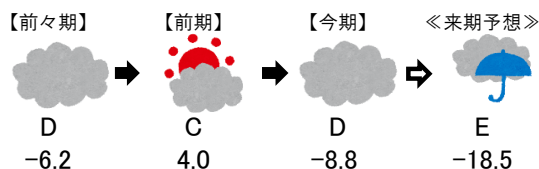
業況（-29.2 → -35.1 → -19.3）は厳しさが大きく和らぎ、売上額（-7.1 → -31.3 → -10.5）は減少幅が極端に縮小し、収益（-33.1 → -19.4 → -21.0）は前期並となった。価格面では、販売価格（6.3 → -1.1 → 11.0）は上昇に転じ、原材料価格（29.6 → 15.8 → 34.4）は上昇が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況（-16.9予想）は厳しさがやや和らぎ、売上額（7.2予想）は増加に転じ、収益（-17.5予想）は減少がやや弱まると予想されている。価格面では、販売価格（13.1予想）、原材料価格（37.8予想）はともに上昇がやや強まる見通しである。

【製造業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 卸 売 業



## 業 況

業況 (-6.2 → 4.0 → -8.8) は悪化に転じた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 (7.6 → 2.3 → 0.4) は前期並となった。

収益 (-9.6 → -4.1 → 0.1) は増加に転じた。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 (27.7 → 26.8 → 29.4) は上昇がやや強まった。

仕入価格 (42.4 → 42.9 → 34.0) は上昇が大きく弱まった。

在庫 (4.9 → 12.0 → 4.1) は過剰感が大きく改善した。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (0.1 → 5.9 → 6.2) は前期並となった。

借入難易度 (10.4 → 11.3 → 10.8) は前期並となった。

設備投資を「実施した」企業(8.0% → 13.3% → 18.8%)は前期より5.5ポイント増となった。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(52.1%)が最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」(25.0%)、「利幅の縮小」(18.8%)の順となった。

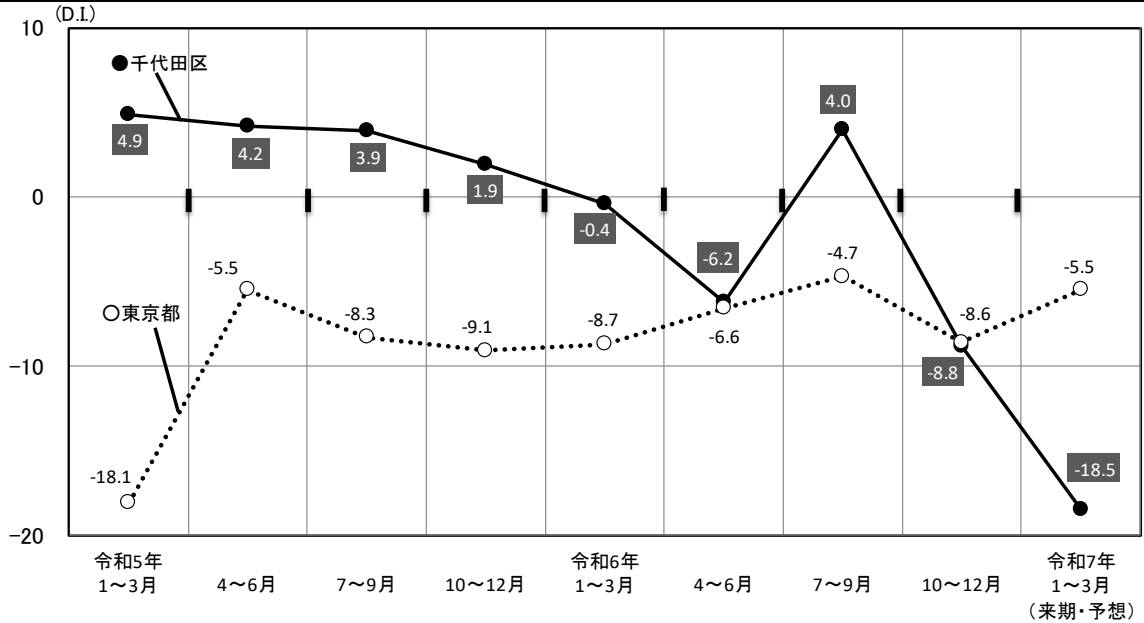
重点経営施策では、「販路を広げる」(62.5%)が最多となり、以下、「経費を節減する」(35.4%)、「提携先を見つける」(22.9%)の順となった。

## 来 期 の 見 通 し

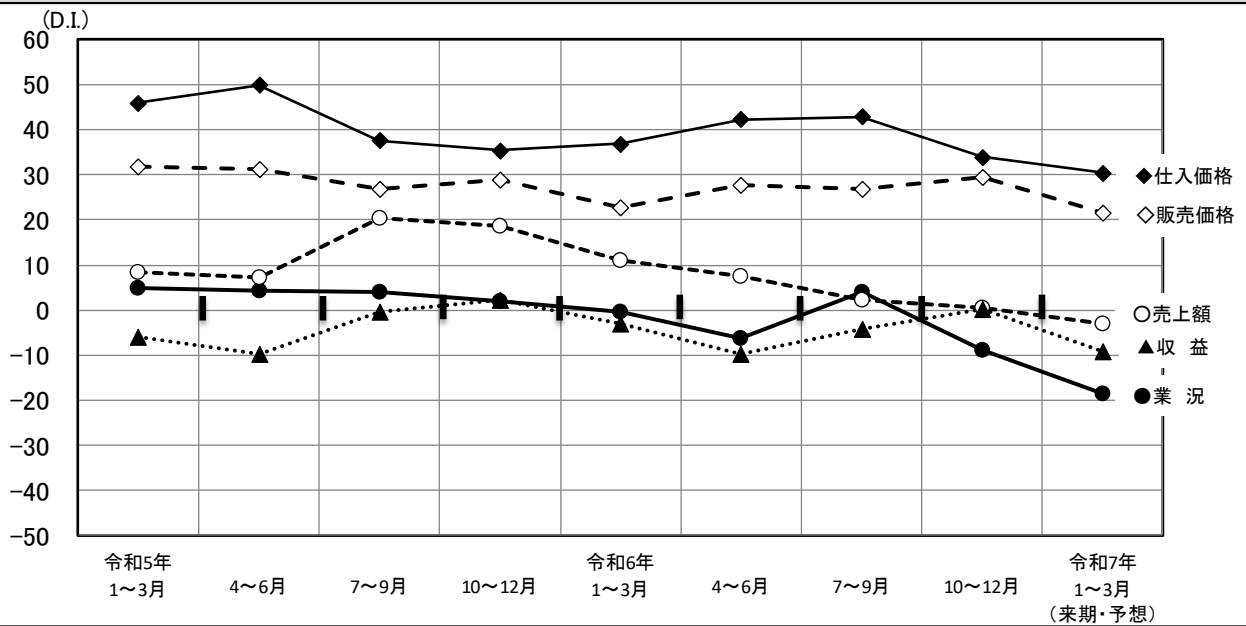
来期の見通しについて、業況 (-18.5 予想) は低調感が大きく強まると予想されている。売上額 (-2.9 予想)、収益 (-9.1 予想) はともに増加から減少に転じる見通しである。

価格面では、販売価格 (21.7 予想) は上昇が大きく弱まり、仕入価格 (30.4 予想) は上昇がやや弱まると見込まれる。

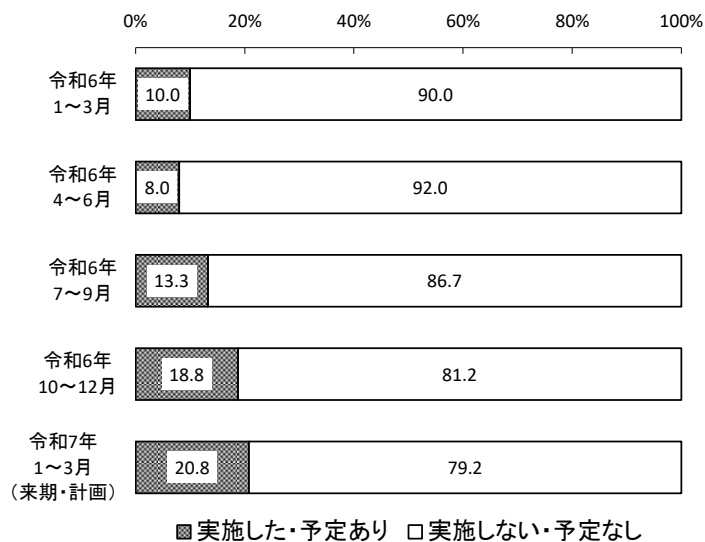
【卸売業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

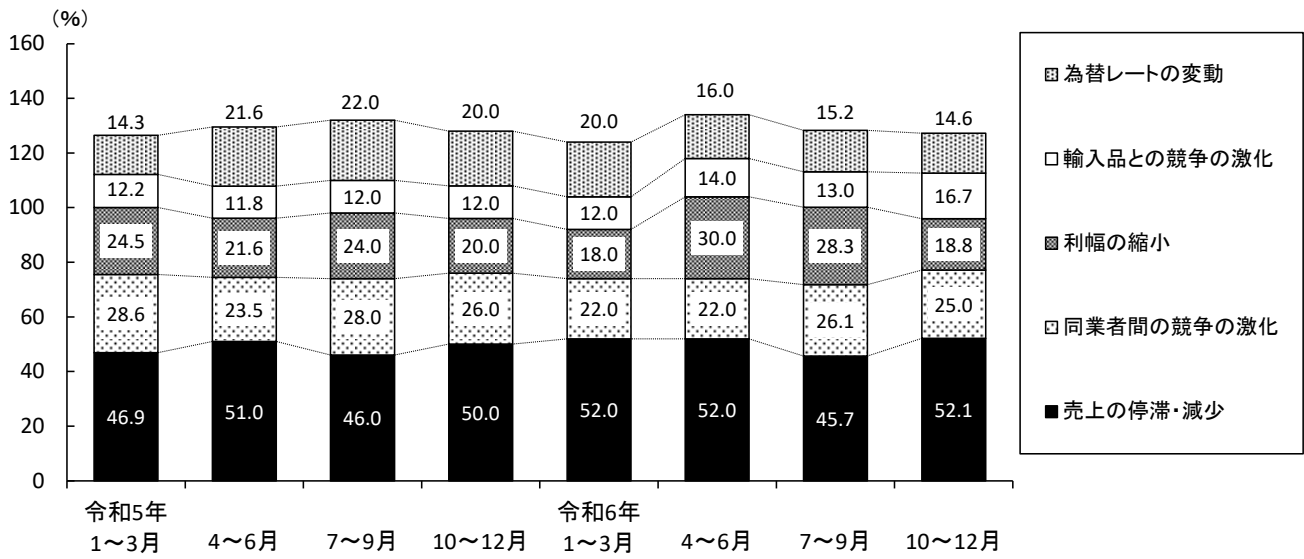


設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

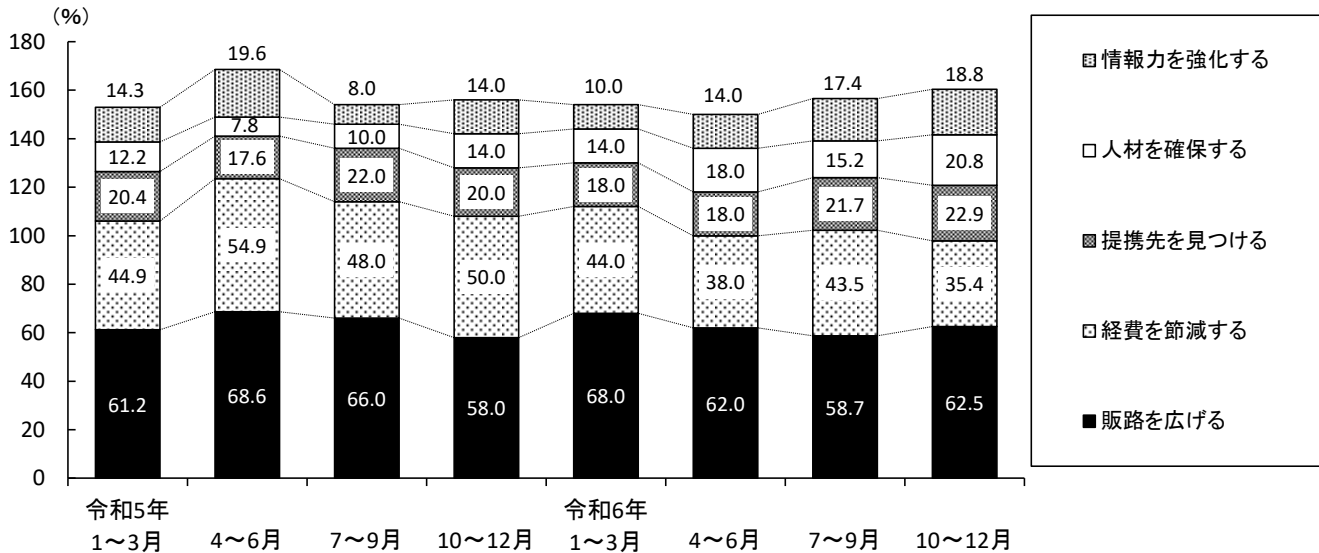


(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
売上の停滞・減少	52.0 %	売上の停滞・減少	52.0 %	売上の停滞・減少	45.7 %	売上の停滞・減少	52.1 %
同業者間の競争の激化	22.0 %	利幅の縮小	30.0 %	利幅の縮小	28.3 %	同業者間の競争の激化	25.0 %
為替レートの変動	20.0 %	仕入先からの値上げ要請	26.0 %	同業者間の競争の激化	26.1 %	利幅の縮小	18.8 %
利幅の縮小	18.0 %	同業者間の競争の激化	22.0 %	仕入先からの値上げ要請	23.9 %	輸入品との競争の激化	16.7 %
仕入先からの値上げ要請	16.0 %	為替レートの変動	16.0 %	為替レートの変動	15.2 %	為替レートの変動	14.6 %
						人手不足	

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
販路を広げる	68.0 %	販路を広げる	62.0 %	販路を広げる	58.7 %	販路を広げる	62.5 %
経費を節減する	44.0 %	経費を節減する	38.0 %	経費を節減する	43.5 %	経費を節減する	35.4 %
提携先を見つける	18.0 %	人材を確保する	18.0 %	提携先を見つける	21.7 %	提携先を見つける	22.9 %
人材を確保する	14.0 %	提携先を見つける		情報力を強化する	17.4 %	人材を確保する	20.8 %
品揃えを充実する	12.0 %	情報力を強化する	14.0 %	人材を確保する	15.2 %	情報力を強化する	18.8 %

# 業種別動向

## ●機械器具●

業況 (1.7 → 12.5 → -0.4) は悪化に転じ、売上額 (5.7 → 8.8 → 2.6) は増加幅が大きく縮小し、収益 (-3.1 → -2.2 → 3.3) は増加に転じた。価格面では、販売価格 (26.5 → 21.9 → 27.7) は上昇がやや強まり、仕入価格 (39.0 → 36.5 → 30.1) は上昇が大きく弱まった。

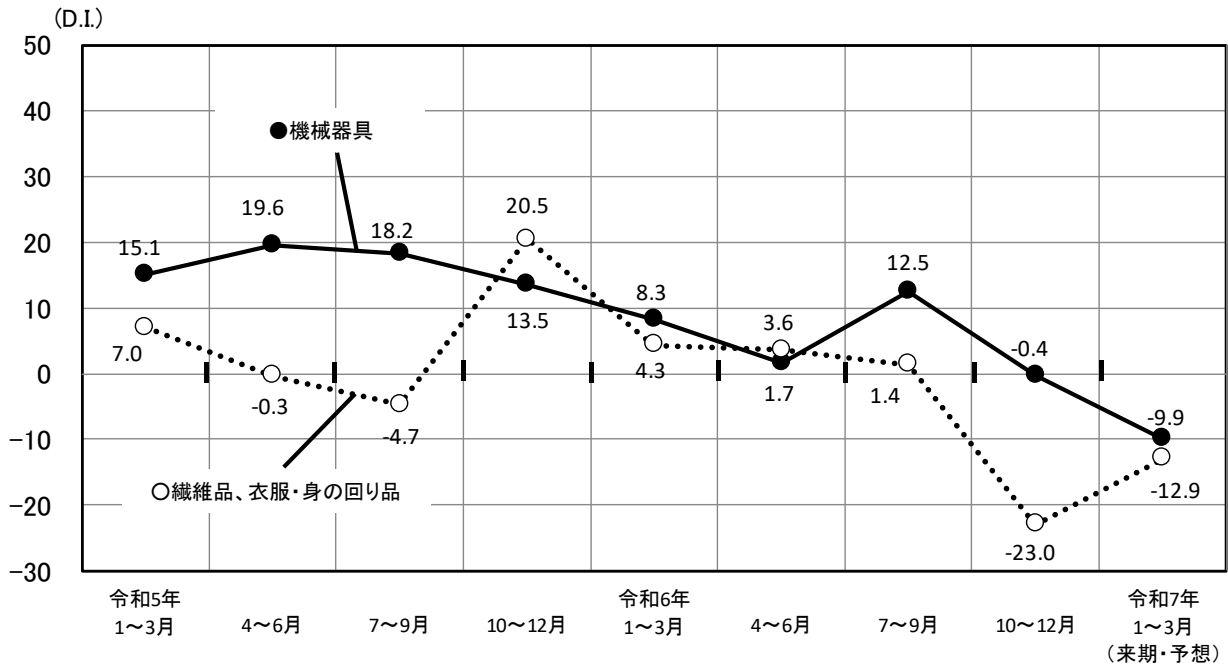
来期の見通しについて、業況 (-9.9予想) は低調感が大きく強まり、売上額 (4.0予想)、収益 (3.2予想) はともに今期同様で推移すると予想されている。価格面では、販売価格 (20.5予想) は上昇が大きく弱まり、仕入価格 (24.3予想) は上昇がやや弱まる見通しである。

## ●繊維品、衣服・身の回り品●

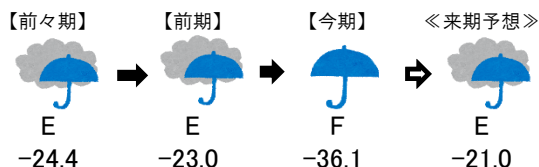
業況 (3.6 → 1.4 → -23.0) は悪化に転じ、売上額 (21.7 → -44.8 → -20.4) は減少幅が極端に縮小し、収益 (-26.6 → -40.3 → -23.0) は減少が大きく弱まった。価格面では、販売価格 (13.8 → 26.6 → 1.3)、仕入価格 (41.4 → 47.8 → 16.5) はともに上昇が極端に弱まった。

来期の見通しについて、業況 (-12.9予想) は厳しさが大きく和らぎ、売上額 (-26.3予想) は減少幅がやや拡大し、収益 (-32.2予想) は減少が大きく強まると予想されている。価格面では、販売価格 (0.2予想) は今期同様で推移し、仕入価格 (22.3予想) は上昇がやや強まる見通しである。

【卸売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 小 売 業



## 業 況

業況 (-24.4 → -23.0 → -36.1) は低調感が大きく強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 (-11.5 → -12.8 → -27.8) は減少幅が大きく拡大した。  
収益 (-21.4 → -16.2 → -31.8) は減少が大きく強まった。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 (10.0 → 6.5 → 15.1) は上昇が大きく強まった。  
仕入価格 (24.2 → 19.5 → 16.2) は上昇がやや弱まった。  
在庫 (-3.0 → -2.9 → -13.7) は不足感が大きく強まった。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (-16.9 → -3.1 → -8.0) は窮屈感がやや強まった。  
借入難易度 (13.6 → 4.5 → 9.1) は容易さがやや増した。  
設備投資を「実施した」企業(18.5% → 7.4% → 19.2%)は前期より11.8ポイント増となった。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(42.3%)が最多となり、以下、「大型店との競争の激化」、「同業者間の競争の激化」(各19.2%)、「仕入先からの値上げ要請」、「販売商品の不足」(各11.5%)の順となった。

重点経営施策では、「経費を節減する」(34.6%)が最多となり、以下、「品揃えを改善する」(26.9%)、「売れ筋商品を取り扱う」、「宣伝・広告を強化する」(各23.1%)の順となった。

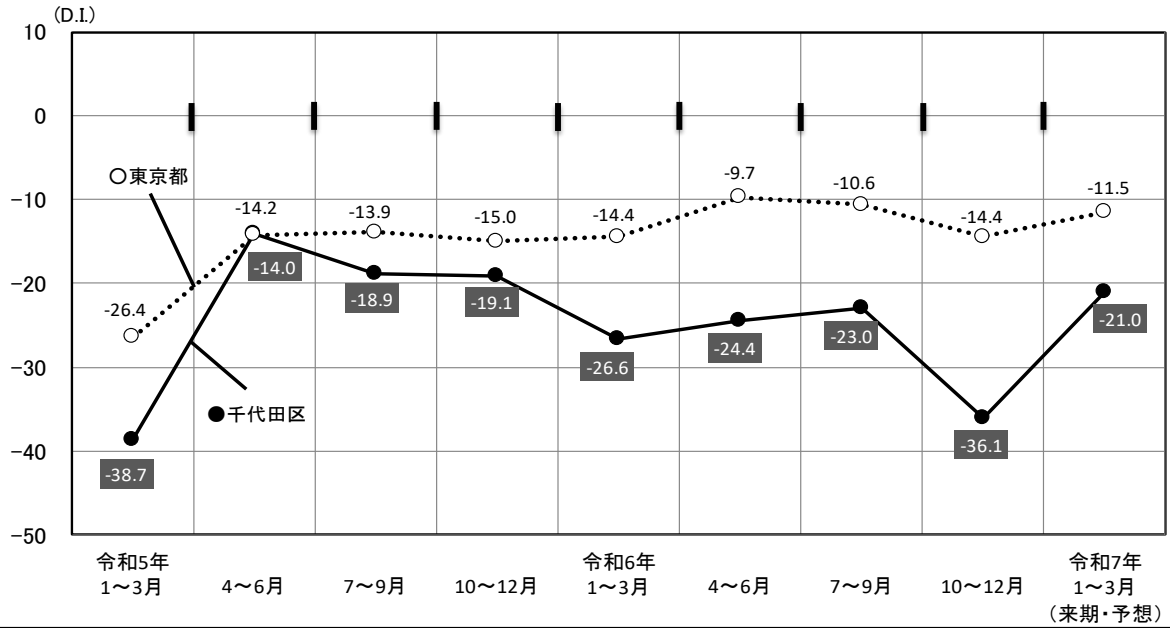
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 (-21.0予想) は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額 (-16.1予想)、収益 (-17.0予想) はともに減少が大きく弱まる見通しである。

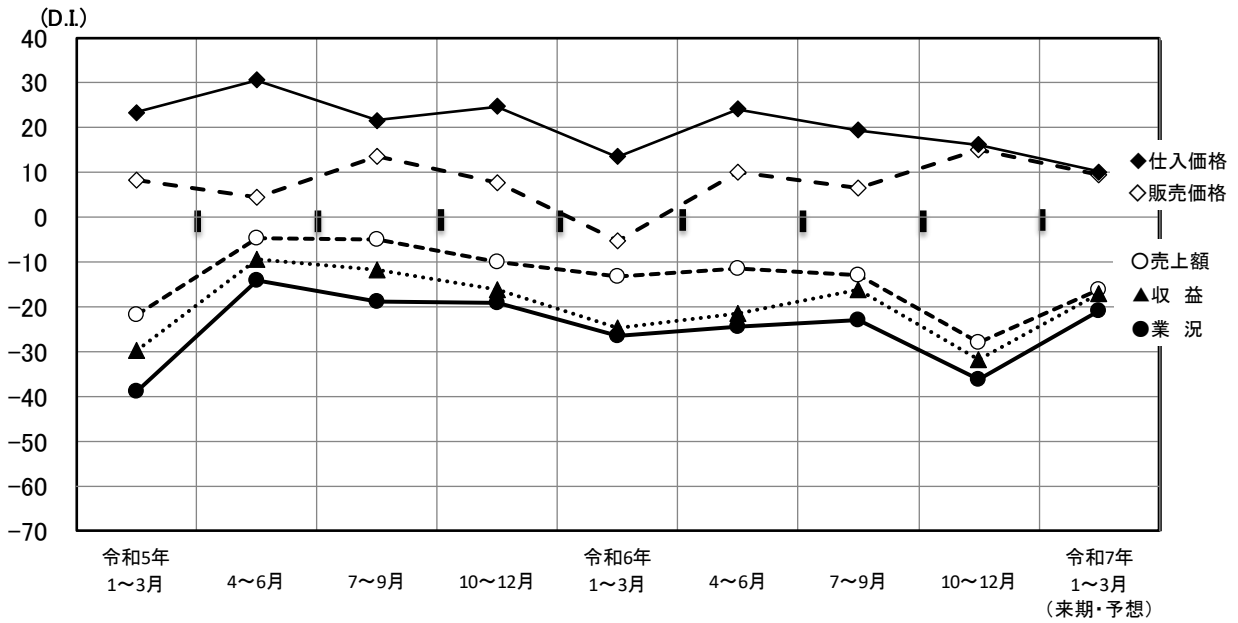
価格面では、販売価格 (9.6予想) は上昇がやや弱まり、仕入価格 (10.1予想) は上昇が大きく弱まると見込まれる。



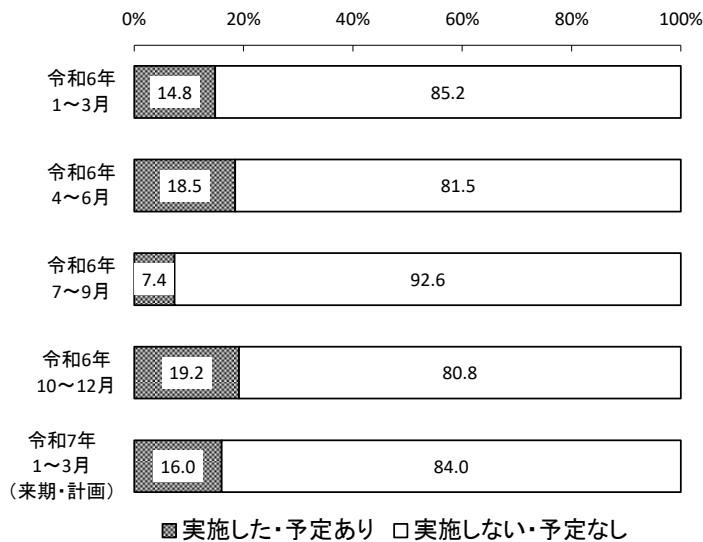
### 【小売業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

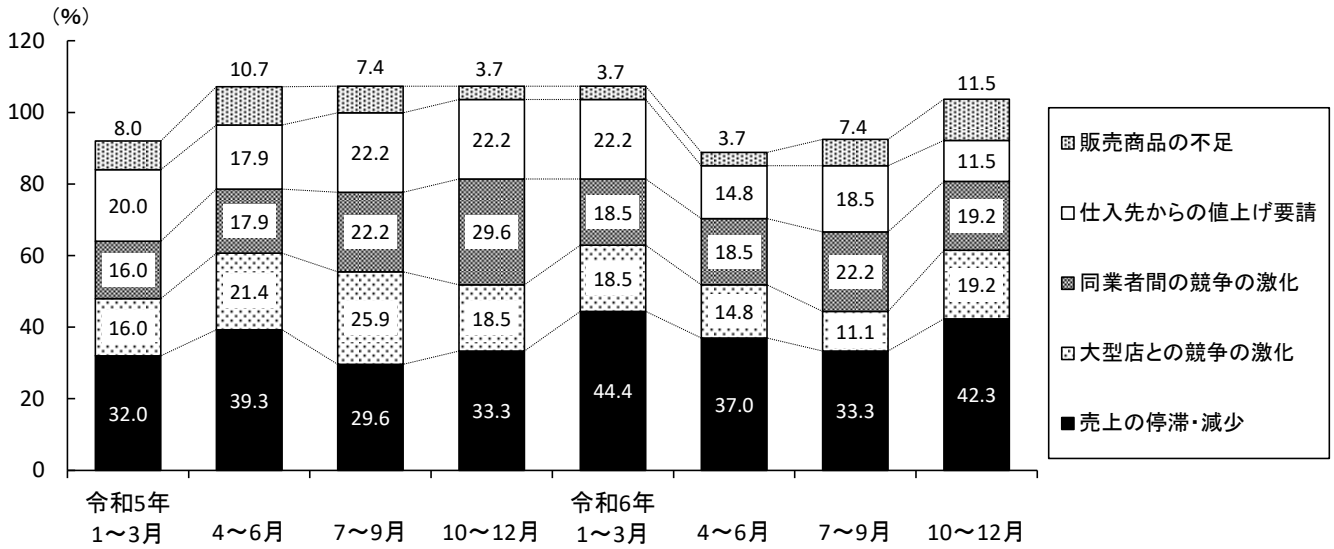


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

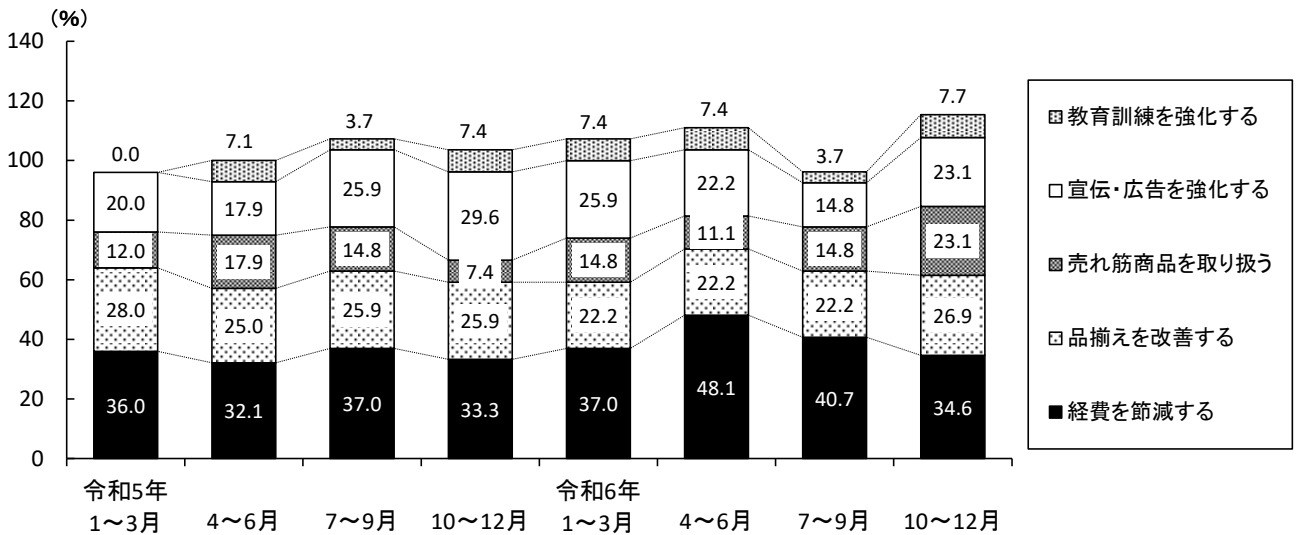


(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
売上停滞・減少	44.4 %	売上停滞・減少	37.0 %	売上停滞・減少	33.3 %	売上停滞・減少	42.3 %
仕入先からの値上げ要請	22.2 %	同業者間の競争の激化	18.5 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	大型店との競争の激化	19.2 %
大型店との競争の激化	18.5 %	人件費以外の経費の増加	14.8 %	仕入先からの値上げ要請	18.5 %	同業者間の競争の激化	
同業者間の競争の激化		仕入先からの値上げ要請		利幅の縮小		仕入先からの値上げ要請	11.5 %
利幅の縮小	14.8 %	利幅の縮小		大型店との競争の激化	11.1 %	販売商品の不足	
		大型店との競争の激化					

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
経費を節減する	37.0 %	経費を節減する	48.1 %	経費を節減する	40.7 %	経費を節減する	34.6 %
宣伝・広告を強化する	25.9 %	宣伝・広告を強化する	22.2 %	品揃えを改善する	22.2 %	品揃えを改善する	26.9 %
品揃えを改善する	22.2 %	品揃えを改善する		売れ筋商品を取り扱う	14.8 %	売れ筋商品を取り扱う	23.1 %
売れ筋商品を取り扱う	14.8 %	人材を確保する	11.1 %	仕入先を開拓・選別する		宣伝・広告を強化する	
新しい事業を始める		売れ筋商品を取り扱う		宣伝・広告を強化する		教育訓練を強化する	7.7 %
		新しい事業を始める				営業時間を延長する	
						人材を確保する	

# 業種別動向

## ●書籍、文房具●

業況（-80.6 → -67.1 → -63.7）は厳しさがやや和らぎ、売上額（-49.2 → -40.7 → -30.1）は減少幅が大きく縮小し、収益（-44.6 → -38.7 → -36.5）は減少がやや弱まった。価格面では、販売価格（-19.9 → -8.1 → 12.3）は上昇に転じ、仕入価格（-3.1 → 12.5 → 3.4）は上昇が大きく弱まった。

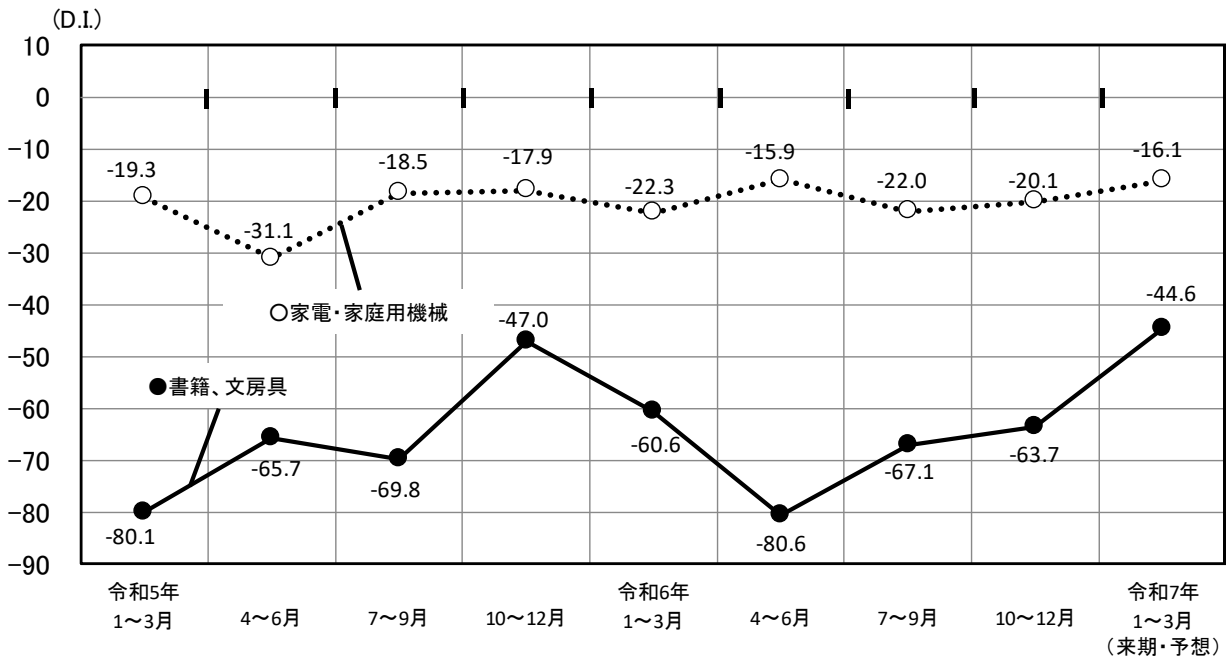
来期の見通しについて、業況（-44.6予想）は厳しさが大きく和らぎ、売上額（-45.4予想）、収益（-49.0予想）はともに減少が大きく強まると予想されている。価格面では、販売価格（17.9予想）、仕入価格（5.4予想）はともに上昇がやや強まる見通しである。

## ●家電・家庭用機械●

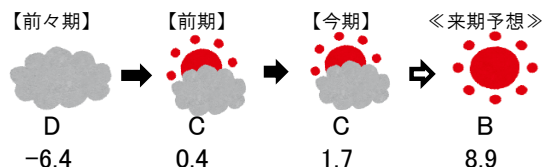
業況（-15.9 → -22.0 → -20.1）は前期並となり、売上額（-20.7 → -17.4 → -21.5）、収益（-31.3 → -17.4 → -21.8）はともに減少がやや強まった。価格面では、販売価格（-3.4 → -15.0 → -19.6）は下降がやや強まり、仕入価格（10.7 → 4.7 → 1.2）は上昇がやや弱まった。

来期の見通しについて、業況（-16.1予想）は厳しさがやや和らぎ、売上額（3.1予想）、収益（1.6予想）はともに増加に転じると予想されている。価格面では、販売価格（-19.1予想）、仕入価格（0.8予想）はともに今期同様で推移する見通しである。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# サービス業



## 業況

業況 (-6.4 → 0.4 → 1.7) は前期並となった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 (15.0 → -0.6 → 1.5) は増加に転じた。

収益 (9.1 → -4.4 → 4.0) は増加に転じた。

## 料金 ・ 材料価格動向

料金価格 (31.3 → 12.2 → 17.3) は上昇がやや強まった。

材料価格 (31.7 → 33.5 → 22.2) は上昇が大きく弱まった。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (5.8 → -1.4 → -3.4) は窮屈感がやや強まった。

借入難易度 (2.8 → 2.9 → 0.0) は容易さがやや縮小した。

設備投資を「実施した」企業(18.4% → 20.0% → 18.9%)は前期より1.1ポイント減となった。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」(34.2%)が最多となり、以下、「人件費の増加」(28.9%)、「売上の停滞・減少」(23.7%)の順となった。

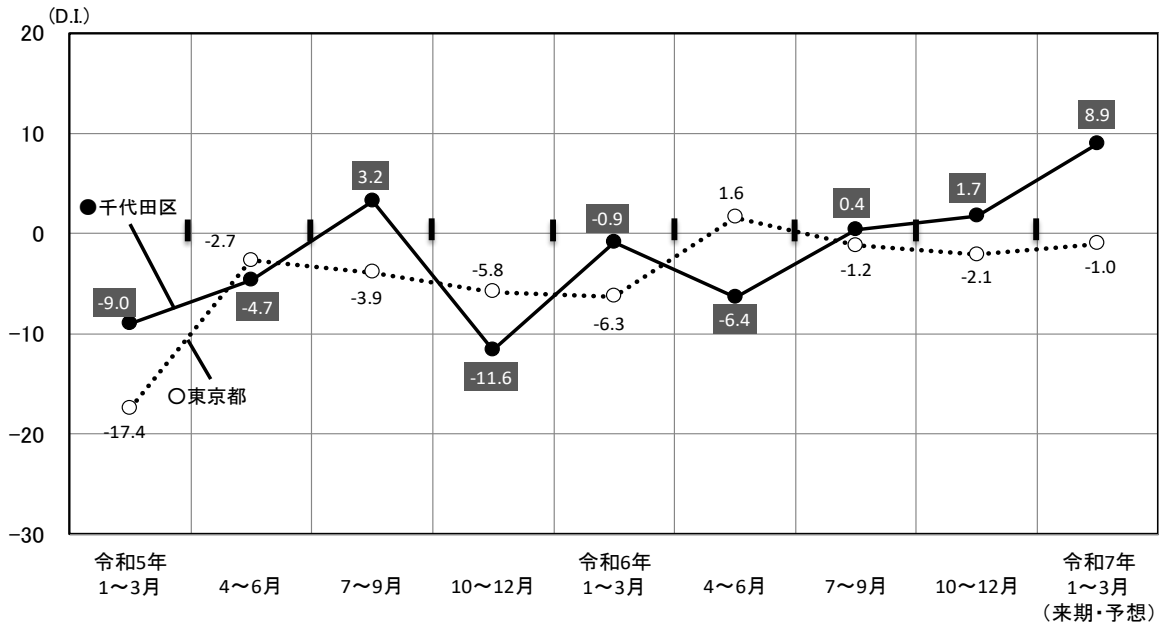
重点経営施策では、「人材を確保する」(50.0%)が最多となり、以下、「販路を広げる」(47.4%)、「経費を節減する」(26.3%)の順となった。

## 来期の見通し

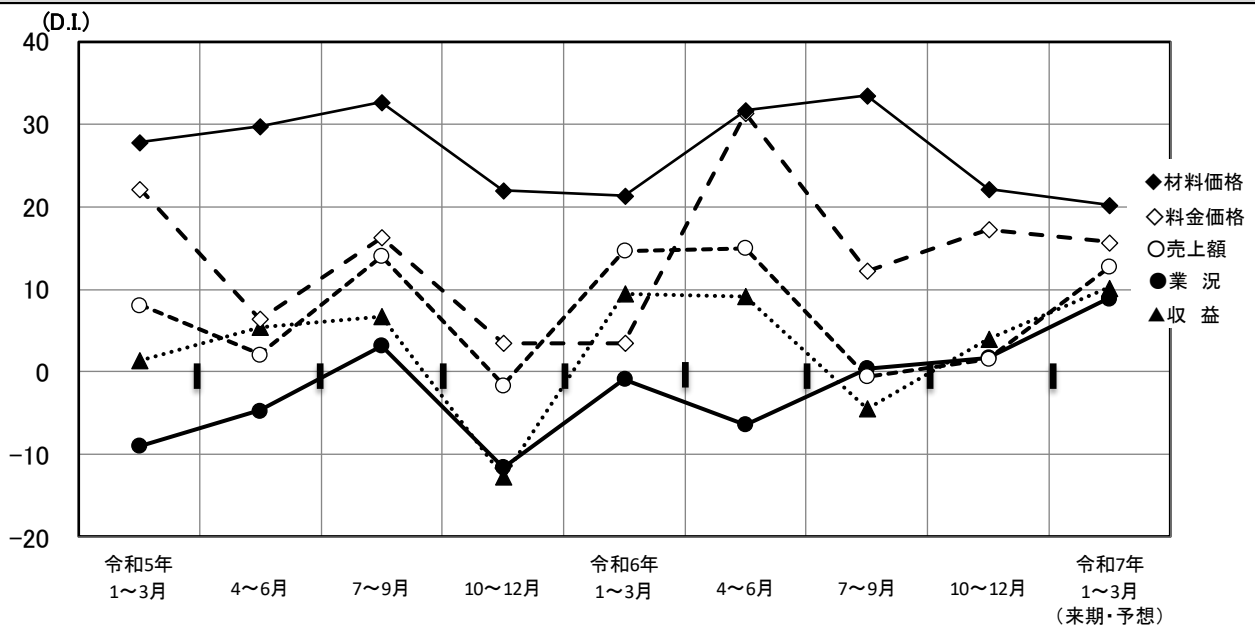
来期の見通しについて、業況 (8.9予想) は好調感が大きく強まると予想されている。売上額 (12.7予想)、収益 (10.2予想) はともに増加傾向を大きく強める見通しである。

価格面では、料金価格 (15.7予想) は今期同様で推移し、材料価格 (20.2予想) は上昇がやや弱まると見込まれる。

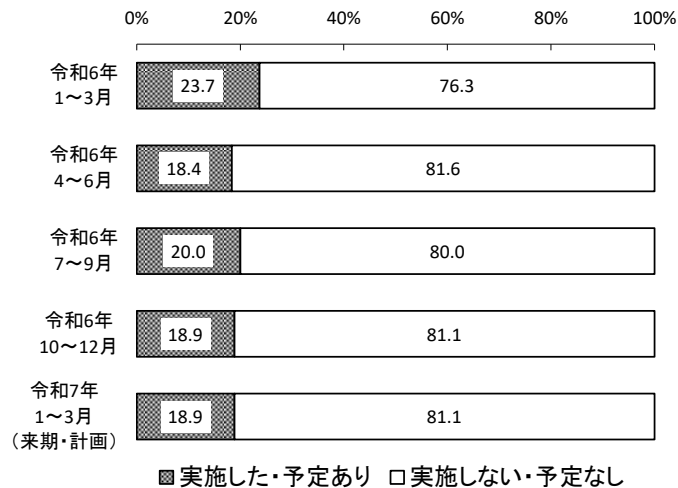
### 【サービス業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

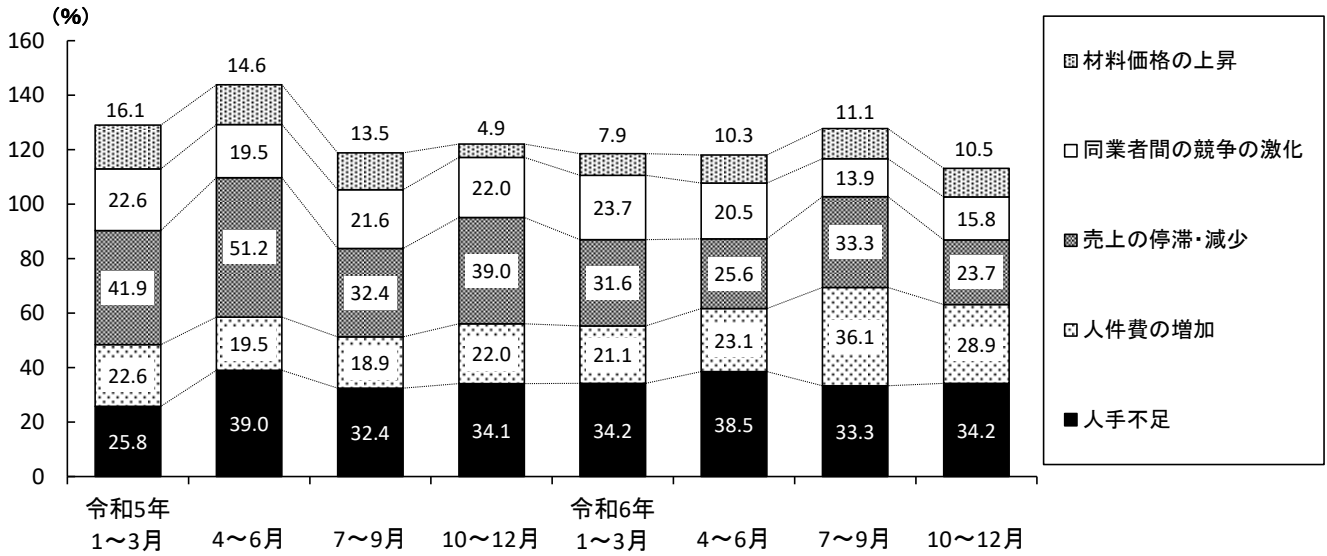


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

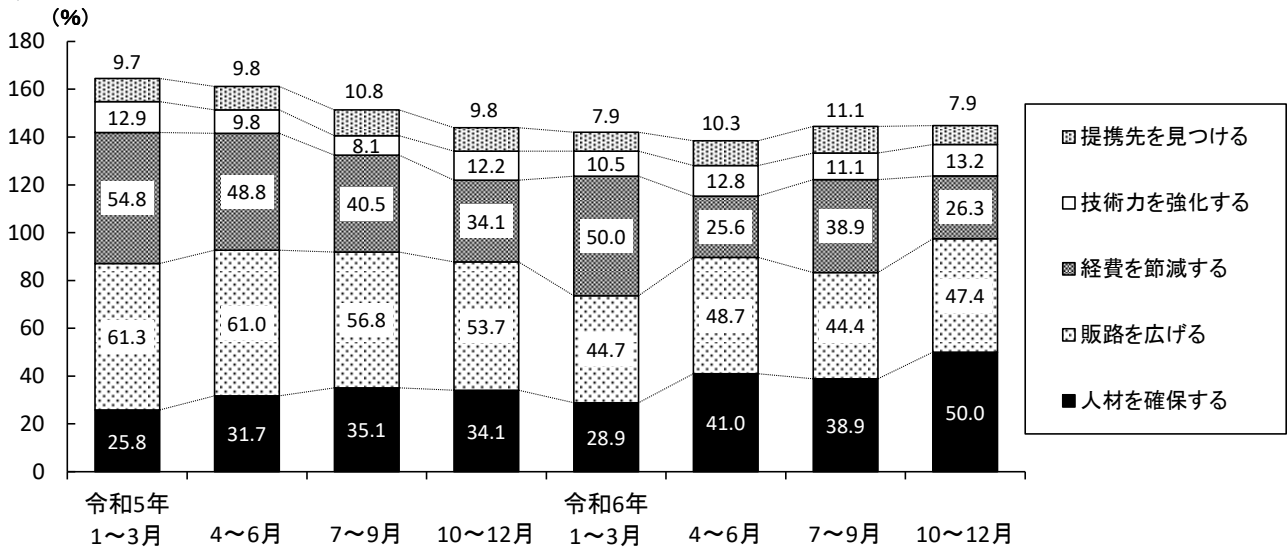


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
人手不足	34.2 %	人手不足	38.5 %	人件費の増加	36.1 %	人手不足	34.2 %
売上の停滞・減少	31.6 %	売上の停滞・減少	25.6 %	人手不足	33.3 %	人件費の増加	28.9 %
同業者間の競争の激化	23.7 %	人件費の増加	23.1 %	売上の停滞・減少	20.5 %	売上の停滞・減少	23.7 %
人件費の増加	21.1 %	同業者間の競争の激化	20.5 %	同業者間の競争の激化	13.9 %	同業者間の競争の激化	15.8 %
材料価格の上昇	7.9 %	利幅の縮小	17.9 %	材料価格の上昇	11.1 %	材料価格の上昇	10.5 %
大企業との競争の激化							
利幅の縮小							

## 重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
経費を節減する	50.0 %	販路を広げる	48.7 %	販路を広げる	44.4 %	人材を確保する	50.0 %
販路を広げる	44.7 %	人材を確保する	41.0 %	人材を確保する	38.9 %	販路を広げる	47.4 %
人材を確保する	28.9 %	経費を節減する	25.6 %	経費を節減する	20.5 %	経費を節減する	26.3 %
教育訓練を強化する	13.2 %	技術力を強化する	12.8 %	技術力を強化する	11.1 %	技術力を強化する	13.2 %
技術力を強化する	10.5 %	提携先を見つける	10.3 %	提携先を見つける	7.9 %	提携先を見つける	7.9 %

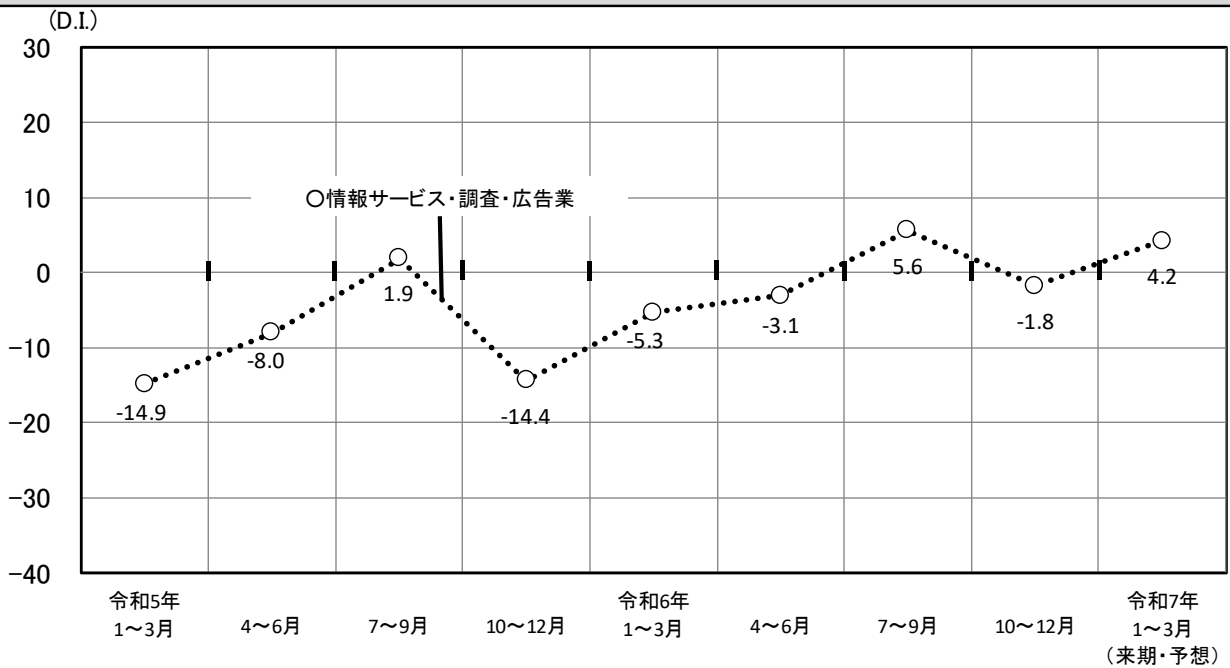
# 業種別動向

## ●情報サービス・調査・広告業●

業況 (-3.1 → 5.6 → -1.8) は悪化に転じ、売上額 (21.1 → 2.1 → -8.3)、収益 (16.4 → 2.6 → -1.4) はともに増加から減少に転じた。価格面では、料金価格 (27.7 → 6.3 → 13.5) は上昇が大きく強まり、材料価格 (28.6 → 31.1 → 14.8) は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況 (4.2予想) は好転し、売上額 (6.9予想)、収益 (6.5予想) はともに増加に転じると予想されている。価格面では、料金価格 (15.4予想) は今期同様で推移し、材料価格 (7.6予想) は上昇が大きく弱まる見通しである。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 建設業



## 業況

業況 (40.9 → 36.6 → 23.6) は好調感が大きく後退した。

## 売上額・収益・受注残

売上額 (68.6 → 52.2 → 10.6) は増加幅が極端に縮小した。

収益 (24.4 → 18.9 → -2.4) は増加から減少に転じた。

受注残 (43.9 → 45.0 → 16.4) は増加幅が極端に縮小した。

## 価格・在庫動向

請負価格 (40.9 → 30.3 → 21.4) は上昇が大きく弱まった。

材料価格 (73.4 → 45.1 → 42.7) は上昇がやや弱まった。

在庫 (4.6 → 2.9 → 1.4) は前期並となった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り (20.5 → -1.7 → -1.3) は前期並となった。

借入難易度 (12.5 → 4.1 → 8.0) は容易さがやや増した。

設備投資を「実施した」企業(10.7% → 7.1% → 24.1%)は前期より17.0ポイント増となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」、「人手不足」(各37.9%)が最多となり、以下、「人件費の増加」(24.1%)、「下請の確保難」、「利幅の縮小」(各20.7%)の順となった。

重点経営施策では、「人材を確保する」、「販路を広げる」(各44.8%)が最多となり、以下、「経費を削減する」(31.0%)、「労働条件を改善する」(20.7%)の順となった。

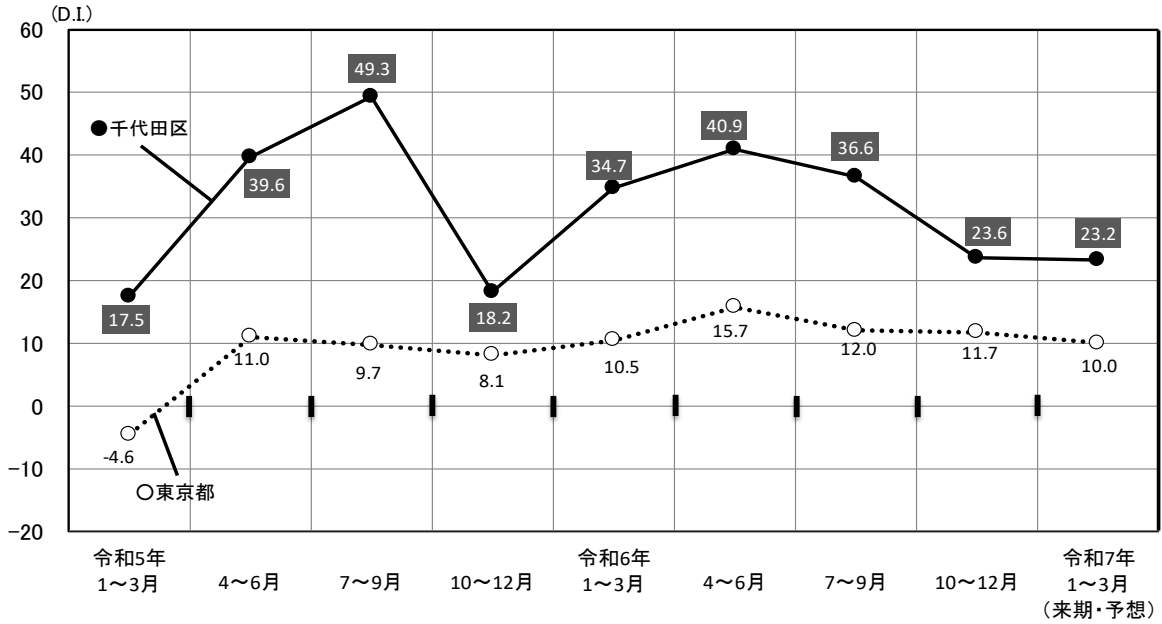
## 来期の見通し

来期の見通しについて、業況 (23.2予想) は今期同様で推移すると予想されている。売上額 (19.5予想) は増加幅が大きく拡大し、収益 (10.4予想) は増加に転じる見通しである。

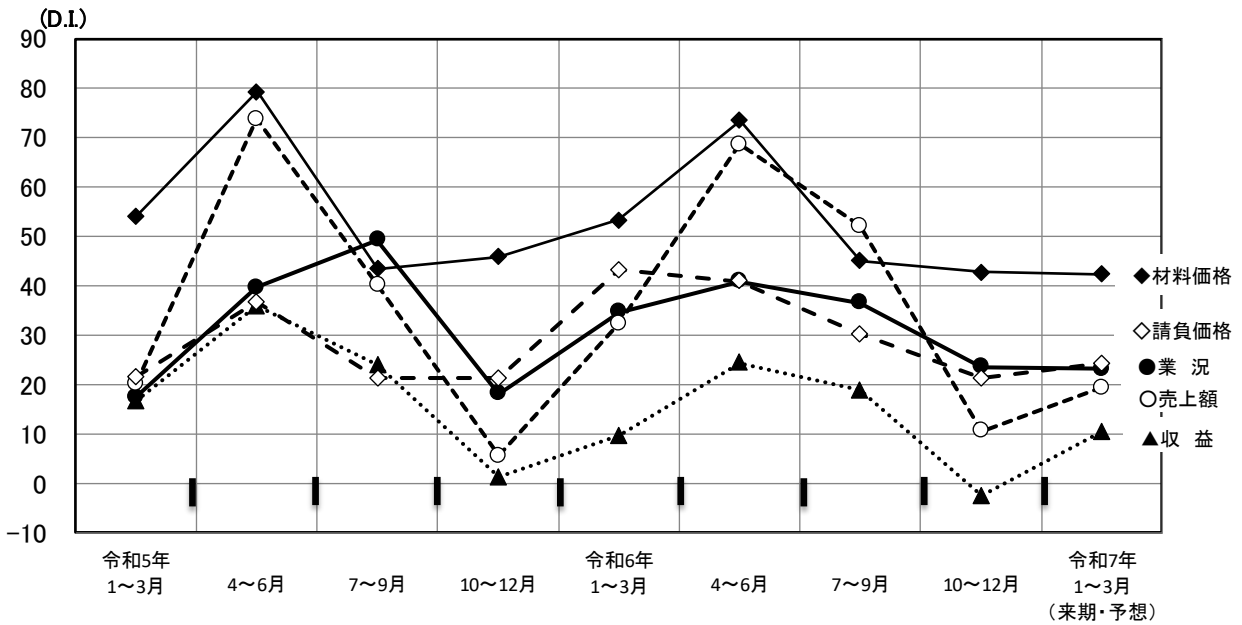
価格面では、請負価格 (24.2予想) は上昇がやや強まり、材料価格 (42.4予想) は今期同様で推移すると見込まれる。



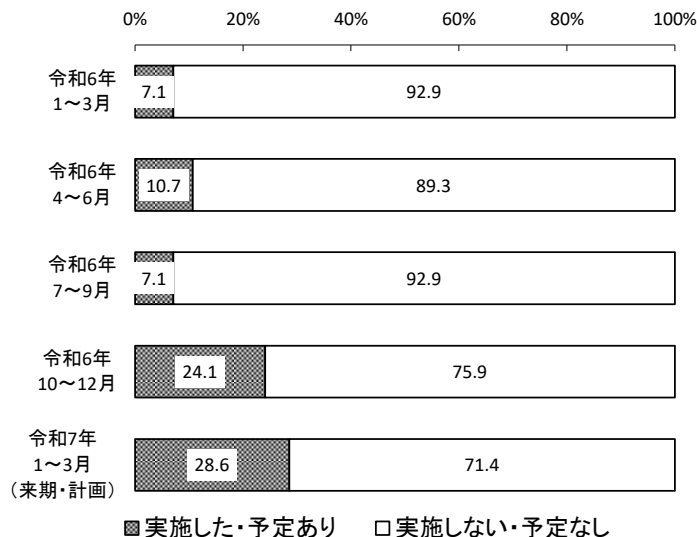
### 【建設業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

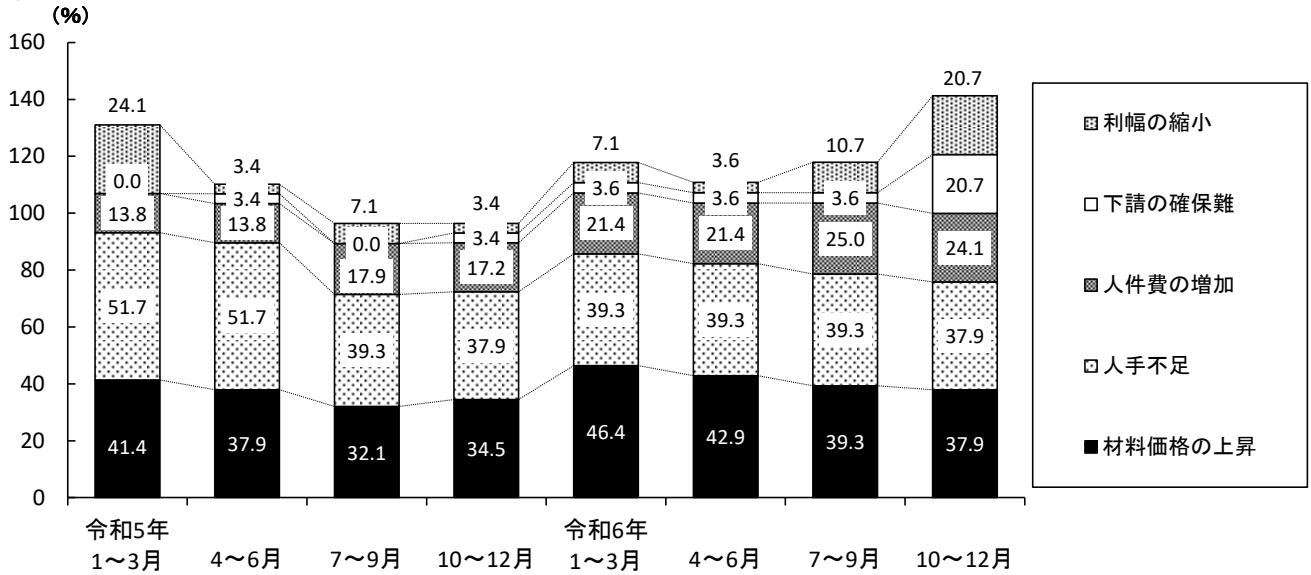


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

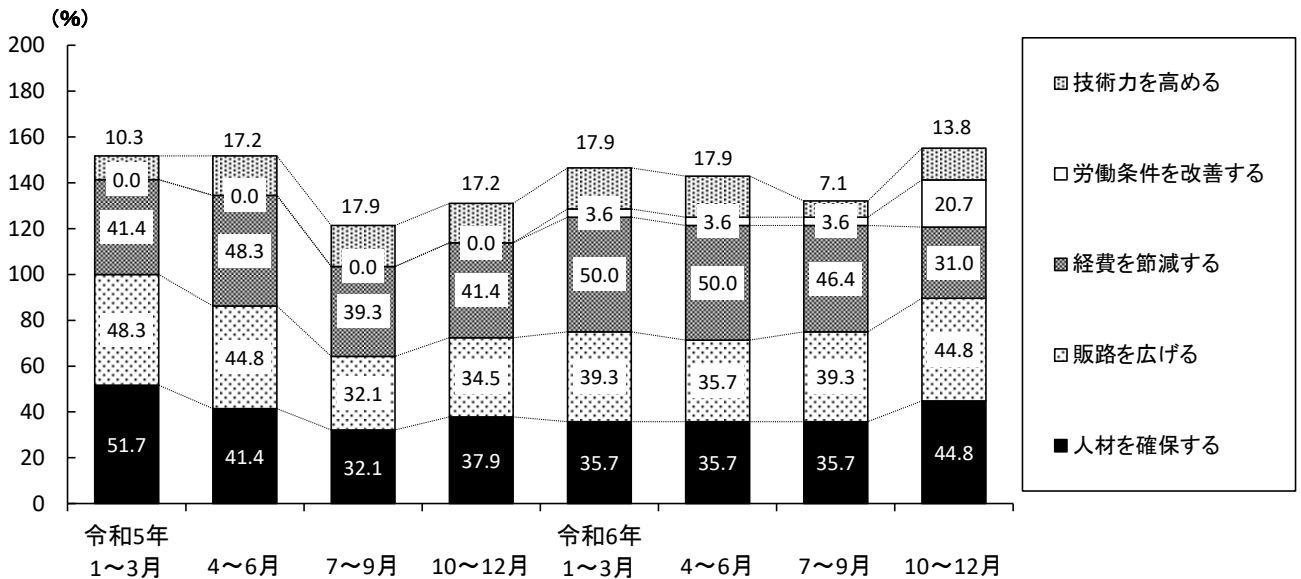


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
材料価格の上昇	46.4 %	材料価格の上昇	42.9 %	材料価格の上昇	39.3 %	材料価格の上昇	37.9 %
人手不足	39.3 %	人手不足	39.3 %	人手不足		人手不足	
人件費の増加	21.4 %	人件費の増加	21.4 %	人件費の増加	25.0 %	人件費の増加	24.1 %
同業者間の競争の激化 大手企業との競争の激化	10.7 %	同業者間の競争の激化 人件費以外の経費の増加 売上の停滞・減少	7.1 %	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	17.9 % 10.7 %	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	17.9 % 20.7 %

## 重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	46.4 %	人材を確保する	44.8 %
販路を広げる	39.3 %	人材を確保する	35.7 %	販路を広げる	39.3 %	販路を広げる	
人材を確保する	35.7 %	販路を広げる		人材を確保する	35.7 %	経費を節減する	31.0 %
技術力を高める	17.9 %	技術力を高める	17.9 %	情報力を強化する	17.9 %	労働条件を改善する	20.7 %
情報力を強化する		情報力を強化する	14.3 %	技術力を高める	7.1 %	技術力を高める	13.8 %
						情報力を強化する	

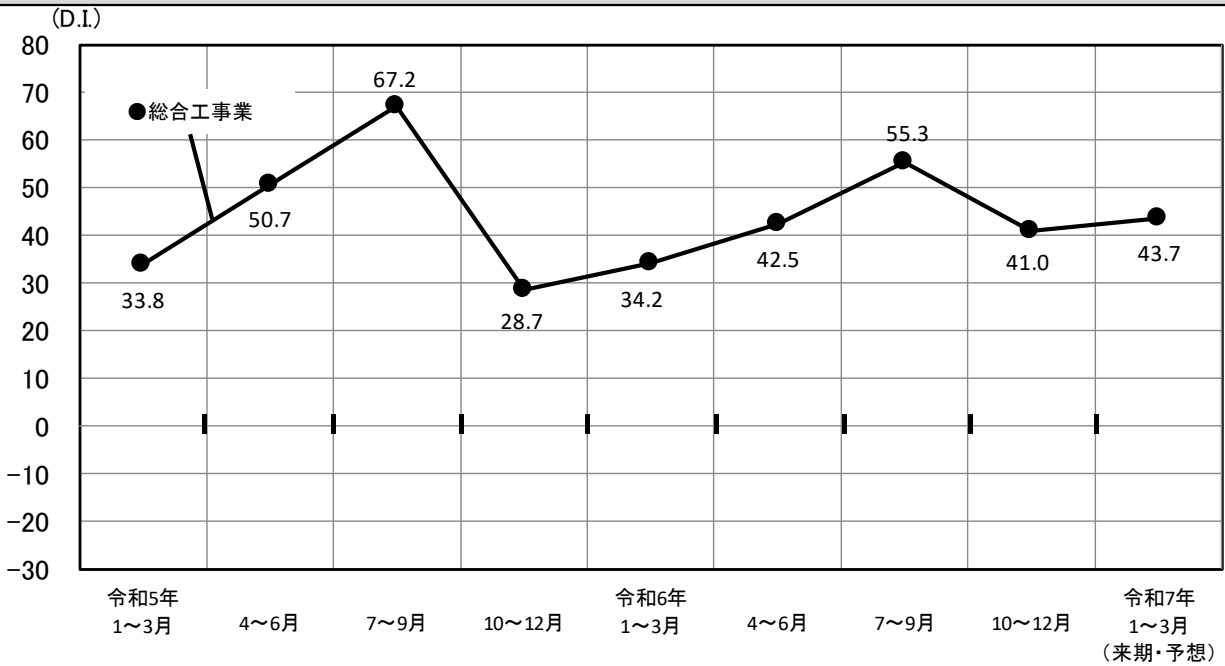
# 業種別動向

## ●総合工事業●

業況（42.5 → 55.3 → 41.0）は好調感が大きく後退し、売上額（77.9 → 47.6 → 24.2）は増加幅が極端に縮小し、収益（40.2 → 20.0 → 5.3）は増加傾向が大きく弱まった。価格面では、請負価格（33.1 → 30.0 → 36.8）、材料価格（52.5 → 38.6 → 57.4）はともに上昇が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況（43.7予想）は好調感がやや強まり、売上額（32.9予想）、収益（16.3予想）はともに増加傾向を大きく強めると予想されている。価格面では、請負価格（36.8予想）、材料価格（58.7予想）はともに今期同様で推移する見通しである。

【建設業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 不動産業



## 業況

業況 (0.5 → 17.5 → 13.5) は好調感がやや後退した。

## 売上額 ・ 収益

売上額 (26.3 → 43.6 → -2.2) は増加から減少に転じた。  
収益 (8.8 → 32.3 → 7.7) は増加傾向が極端に弱まった。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 (27.3 → 48.4 → 23.1) は上昇が極端に弱まった。  
仕入価格 (34.4 → 39.2 → 25.5) は上昇が大きく弱まった。  
在庫 (-7.1 → -11.6 → 2.8) は過剰に転じた。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り (2.0 → 10.4 → -9.0) は厳しい状況に転じた。  
借入難易度 (-3.2 → -3.1 → 0.0) は厳しさがやや和らいだ。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「商品物件の高騰」(34.3%)が最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」(31.4%)、「売上の停滞・減少」(20.0%)の順となった。

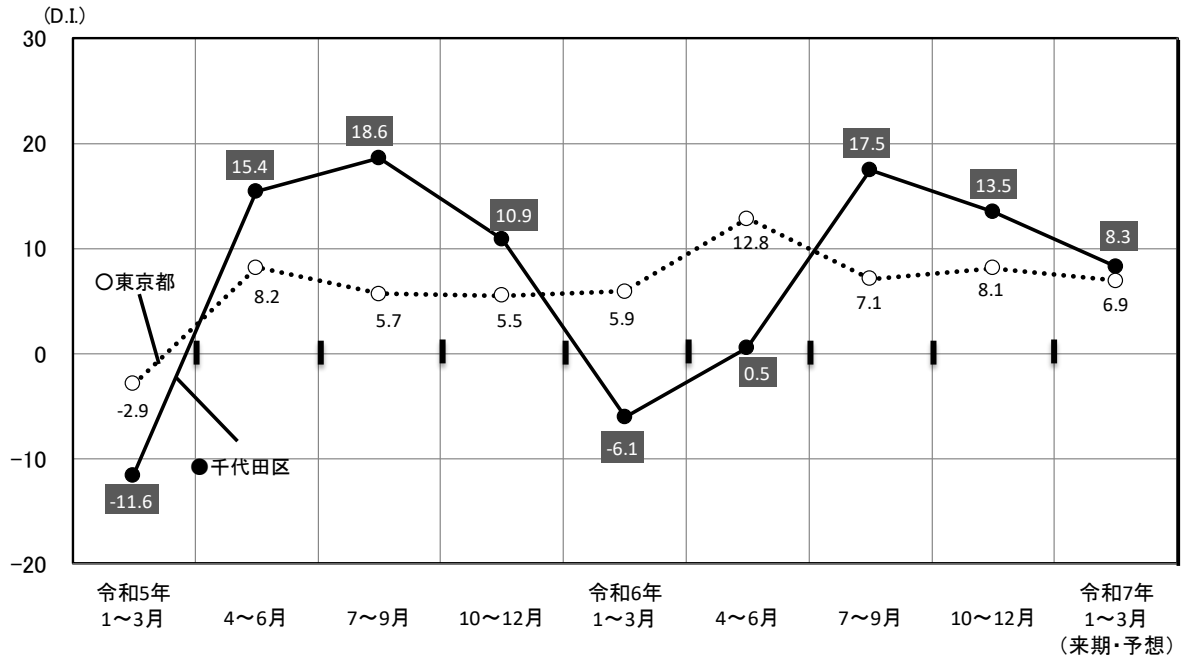
重点経営施策では、「販路を広げる」(51.4%)が最多となり、以下、「情報力を強化する」(37.1%)、「経費を節減する」(28.6%)の順となった。

## 来期の見通し

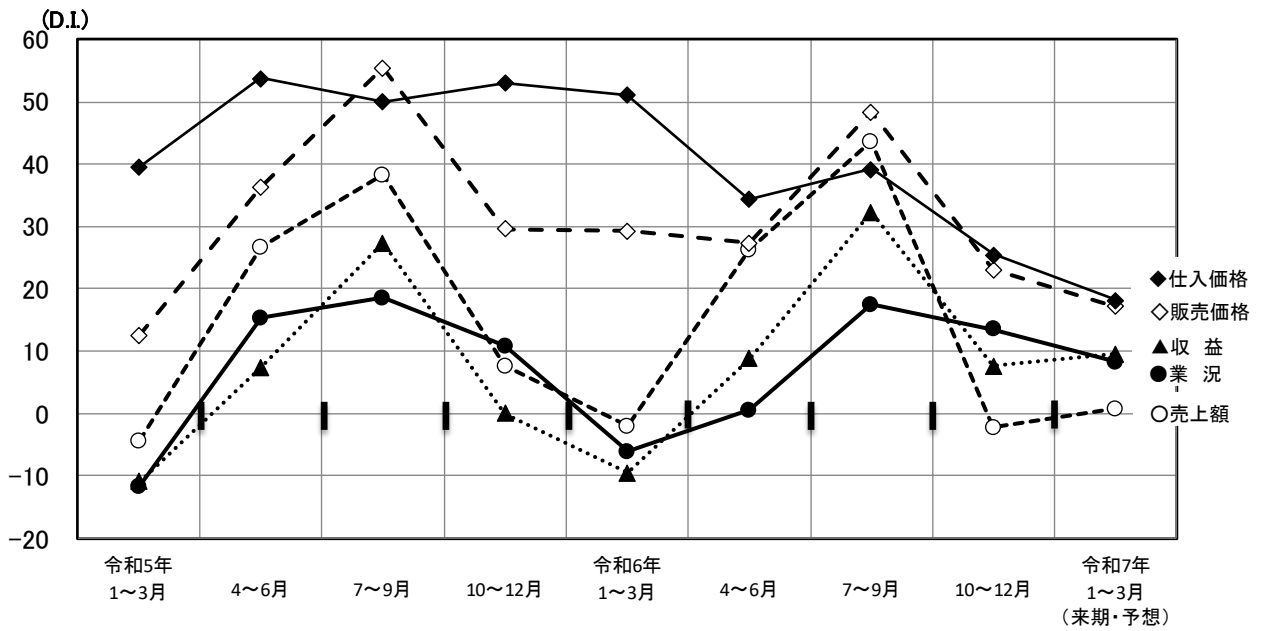
来期の見通しについて、業況 (8.3予想) は好調感がやや後退すると予想されている。売上額 (0.8予想) は増加に転じ、収益 (9.6予想) は今期同様で推移する見通しである。

価格面では、販売価格 (17.2予想) は上昇がやや弱まり、仕入価格 (18.2予想) は上昇が大きく弱まると見込まれる。

【不動産業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

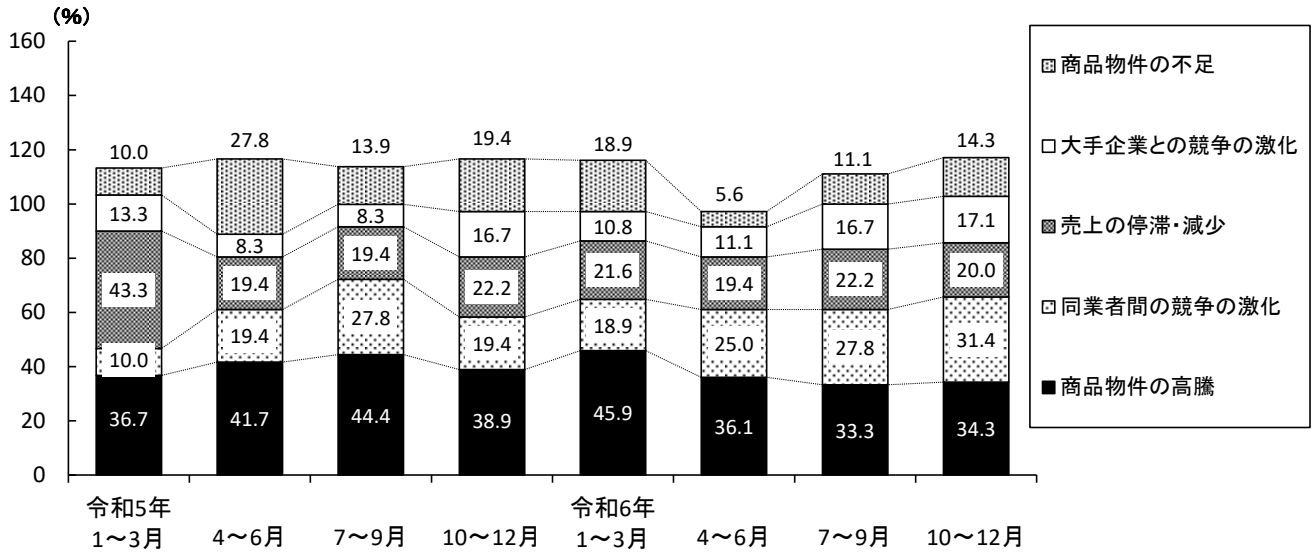


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



## 経営上の問題点

(複数回答)

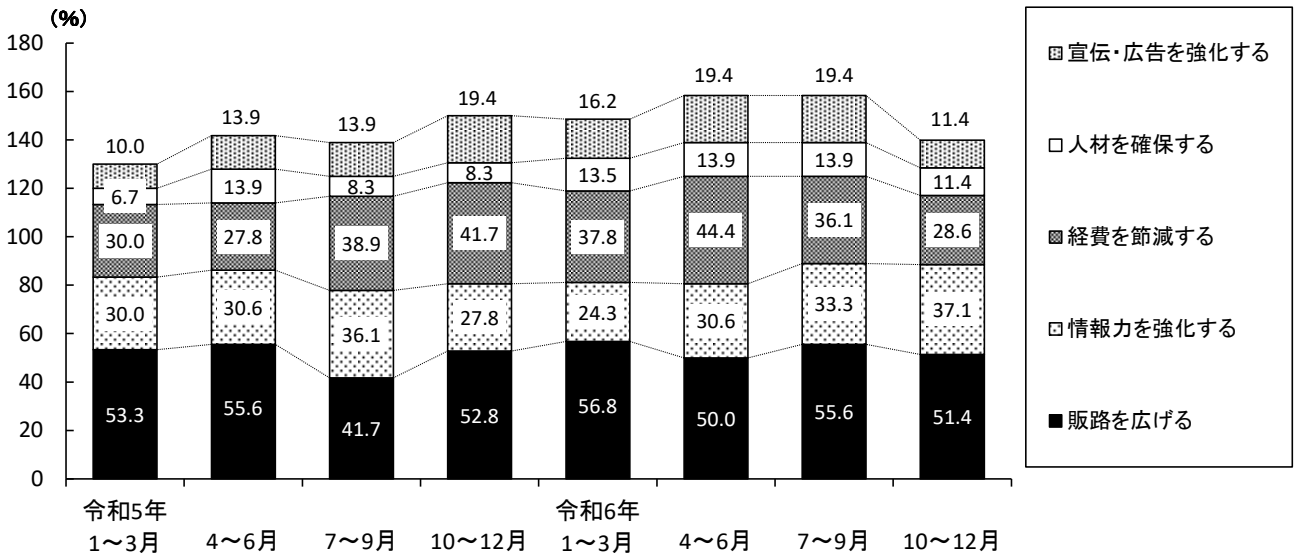


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
商品物件の高騰	45.9 %	商品物件の高騰	36.1 %	商品物件の高騰	33.3 %	商品物件の高騰	34.3 %
売上の停滞・減少	21.6 %	同業者間の競争の激化	25.0 %	同業者間の競争の激化	27.8 %	同業者間の競争の激化	31.4 %
商品物件の不足	18.9 %	売上の停滞・減少	19.4 %	売上の停滞・減少	22.2 %	売上の停滞・減少	20.0 %
同業者間の競争の激化	10.8 %	利幅の縮小	16.7 %	大手企業との競争の激化	16.7 %	大手企業との競争の激化	17.1 %
人件費の増加	10.8 %	人手不足	13.9 %	人手不足	13.9 %	商品物件の不足	14.3 %
人手不足						利幅の縮小	
大手企業との競争の激化							

## 重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和6年1~3月		令和6年4~6月		令和6年7~9月		令和6年10~12月	
販路を広げる	56.8 %	販路を広げる	50.0 %	販路を広げる	55.6 %	販路を広げる	51.4 %
経費を節減する	37.8 %	経費を節減する	44.4 %	経費を節減する	36.1 %	情報力を強化する	37.1 %
情報力を強化する	24.3 %	情報力を強化する	30.6 %	情報力を強化する	33.3 %	経費を節減する	28.6 %
宣伝・広告を強化する	16.2 %	宣伝・広告を強化する	19.4 %	宣伝・広告を強化する	19.4 %	人材を確保する	11.4 %
人材を確保する	13.5 %	人材を確保する	13.9 %	人材を確保する	13.9 %	宣伝・広告を強化する	

# 業種別動向

## ●建売業・土地売買業●

業況 (39.5 → 11.5 → 56.4) は好調感が極端に強まり、売上額 (65.9 → 74.6 → -27.3) は増加から減少に転じ、収益 (33.3 → 42.2 → 25.2) は増加傾向が大きく弱まった。価格面では、販売価格 (35.4 → 95.7 → 34.9)、仕入価格 (51.4 → 70.6 → 44.1) はともに上昇が極端に弱まった。

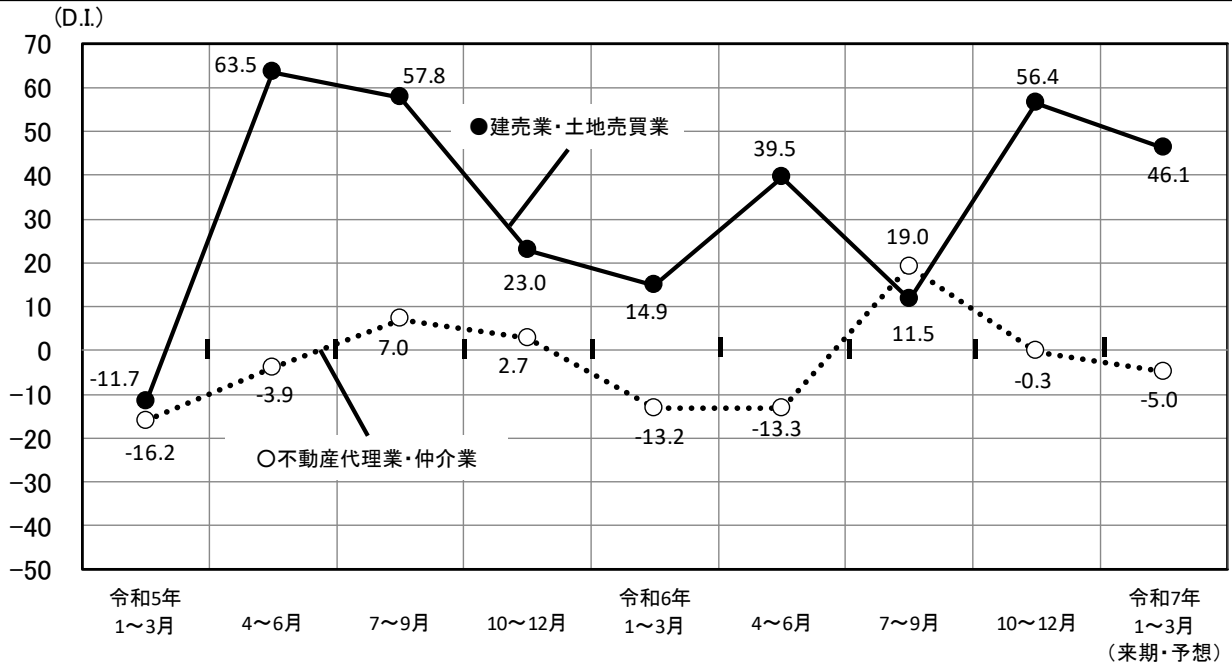
来期の見通しについて、業況 (46.1予想) は好調感が大きく後退し、売上額 (-16.6予想) は減少が大きく弱まり、収益 (32.4予想) は増加が大きく強まると予想されている。価格面では、販売価格 (36.9予想) は上昇がやや強まり、仕入価格 (43.0予想) は今期同様で推移する見通しである。

## ●不動産代理業・仲介業●

業況 (-13.3 → 19.0 → -0.3) は悪化に転じ、売上額 (11.4 → 32.2 → -3.0) は増加から減少に転じ、収益 (-5.6 → 25.4 → 0.2) は増加傾向が極端に弱まった。価格面では、販売価格 (23.1 → 35.4 → 20.3)、仕入価格 (31.7 → 34.6 → 17.2) はともに上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況 (-5.0予想) は低調感がやや強まり、売上額 (-0.8予想) は減少幅がやや縮小し、収益 (0.7予想) は今期同様で推移すると予想されている。価格面では、販売価格 (12.5予想)、仕入価格 (7.9予想) はともに上昇が大きく弱まる見通しである。

【不動産業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



## 経営者の声

令和6年10月～12月の期間中において、千代田区地域振興部商工観光課宛に寄せられた経営に関する相談内容と区の指導内容は、以下の通り。

### 製造業

相談内容要約	指導要旨
既に別会社の代表を務めているが、今年新たに設立した会社の共同代表も務める。 小規模事業者持続化補助金の創業枠の申請要件を満たすか確認したい。 (印刷業)	⇒ 特定創業支援の認定は個人に適用されるものという趣旨を説明し、相談者自身はその対象外となることを確認。 ただしもう一人の共同代表者が申請要件を満たす可能性があるため、制度を運営する事務局側へ確認してもらおうよう助言した。

### 卸売業

相談内容要約	指導要旨
創業資金や創業支援について知りたい。 (卸売業)	⇒ 特定創業支援事業および千代田区商工融資あっせん制度を紹介。 その結果、起業資金の借入および特定創業支援事業の認定を受けることになった。

### 小売業

相談内容要約	指導要旨
これまでは自己資金のみで経営してきたが、業容拡大に向け運転資金融資について相談したい。 (薬局)	⇒ これまで付き合いがなかったという銀行へ相談した後、あっせん融資の申込に再度来庁していただくよう提案。



## サービス業

相談内容要約	指導要旨
<p>小規模事業者持続化補助金の創業枠について相談したい。</p> <p>法人は令和4年7月に設立しているが、それ以前に個人で確定申告を行っていたという経緯があり、自身が要件を満たしているか確認したい。</p> <p>(ソフトウェア開発業)</p>	<p>⇒ 初めに特定創業支援の認定は法人ではなく、個人に適用されるという趣旨を説明。</p> <p>その後相談者の要件を確認したところ、過去の青色申告決算書から「開業5年以内」という要件を満たしていないことが判明したため、支援認定は不可である旨を通達した。</p> <p>ただし小規模事業者持続化補助金には通常枠も設けられているため、その概要および計画書作成についても併せて案内した。</p>
<p>創業計画書については作成してきたが、起業に関してその他に今後どのような手続きを進めていけばよいか分からない。</p> <p>(カラオケバー)</p>	<p>⇒ 創業計画書については、財務部分に不備が多い点を指摘。</p> <p>また起業手続きに関する一連の流れを伝え、その中で物件獲得のための敷金や内装費用が融資対象から外れる旨を通達したところ、政策金融公庫の併用を検討するという結論に至った。</p>
<p>健康に関する相談事業を新たに展開する計画があり、その準備に向けて誰かに相談したい。</p> <p>(健康コンサルタント業)</p>	<p>⇒ 法人登記内容の変更などは、専門家を活用することによってご自身の時間を有効活用できる利点がある旨を説明。</p> <p>また新事業の立ち上げに向け、売上と経費の予測、および収益性の見込みという点について判断してもらおうよう助言した。</p>
<p>社長の交代、および決算時期の変更の影響でキャッシュが不足している。</p> <p>営業資金確保のために融資を希望したい。</p> <p>(飲食業)</p>	<p>⇒ 今回キャッシュが不足した背景には、社長交代に加えて税理士を変更したことが影響しており、これによりの確なアドバイスを受けることができなかったと考えられる。</p> <p>今後は税理士との十分な意思疎通を行い、経営の立て直しを図るよう助言した。</p>

## 建設業

該当企業なし

## 不動産業

相談内容要約	指導要旨
<p>創業を計画しているため、創業者への支援事業などを知りたい。</p> <p>(不動産業(仲介))</p>	<p>⇒ 特定創業支援事業および千代田区商工融資あっせん制度を紹介。</p> <p>なお、今回の相談者は不動産会社に勤務しながら個人事業として不動産仲介を行っているため、特定創業支援事業の認定および起業資金の申請の対象者とはならない旨も併せて告知した。</p>

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(2024年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,746社	5,258社	9,004社	99.4%
うち大企業	916社	814社	1,730社	99.2%
中堅企業	1,049社	1,518社	2,567社	99.5%
中小企業	1,781社	2,926社	4,707社	99.3%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	2023年度			2024年度		
		上期	下期		上期	下期
円/	2024年9月調査	—	—	145.15	146.00	144.31
ドル	2024年12月調査	—	—	146.88	147.61	146.15
円/	2024年9月調査	—	—	157.07	157.79	156.35
ユーロ	2024年12月調査	—	—	159.03	160.17	157.90

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2024年9月調査		2024年12月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	13	14	14	1	13	-1
非製造業	34	28	33	-1	28	-5
全産業	23	21	23	0	20	-3
<b>中堅企業</b>						
製造業	8	9	11	3	8	-3
非製造業	23	16	22	-1	15	-7
全産業	16	13	18	2	13	-5
<b>中小企業</b>						
製造業	0	0	1	1	0	-1
非製造業	14	11	16	2	8	-8
全産業	8	6	10	2	6	-4
<b>全規模合計</b>						
製造業	5	6	8	3	5	-3
非製造業	20	15	20	0	14	-6
全産業	14	11	15	1	10	-5

## [売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	2023年度		2024年度		
		修正率	(計画)	修正率	
大企業	製造業	3.4	—	2.7	0.0
	国内	3.7	—	2.0	-0.2
	輸出	2.9	—	4.0	0.3
	非製造業	1.0	—	3.2	0.5
	全産業	2.0	—	3.0	0.3
中堅企業	製造業	2.2	—	3.5	-0.2
	非製造業	4.4	—	3.0	0.5
	全産業	3.7	—	3.1	0.3
中小企業	製造業	2.6	—	2.5	0.8
	非製造業	4.4	—	1.8	0.8
	全産業	4.0	—	1.9	0.8
全規模合計	製造業	3.0	—	2.8	0.1
	非製造業	3.0	—	2.7	0.6
	全産業	3.0	—	2.8	0.4

(注)修正率は、前回調査との対比。

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2024年9月調査		2024年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-20	-20	-20	0	-19	1
	うち素材業種	-24	-24	-25	-1	-24	1
	加工業種	-17	-17	-16	1	-16	0
	非製造業	-8	-9	-8	0	-9	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-17	-16	-18	-1	-17	1
	うち素材業種	-23	-23	-26	-3	-25	1
	加工業種	-13	-11	-13	0	-12	1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	18		17	-1		
	うち素材業種	20		17	-3		
	加工業種	17		15	-2		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	18		17	-1		
	うち素材業種	23		22	-1		
	加工業種	15		14	-1		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	29	32	29	0	34	5
	うち素材業種	28	29	26	-2	31	5
	加工業種	29	35	31	2	36	5
	非製造業	26	29	27	1	31	4
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	57	56	58	1	58	0
	うち素材業種	49	48	50	1	51	1
	加工業種	62	61	63	1	63	0
	非製造業	53	55	53	0	56	3

# 千代田区と東京都の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

### [倒産概況]

(負債総額単位:百万円) (対比率は伸び率)

		令和5年	令和6年	令和6年	前期比	前年同期比
		10~12月	7~9月	10~12月		
千代田区	件数	19	23	32	39.1%	68.4%
	負債総額	12,110	2,145	8,326	288.2%	-31.2%
東京都全体	件数	451	442	439	-0.7%	-2.7%
	負債総額	250,107	89,951	288,513	220.7%	15.4%

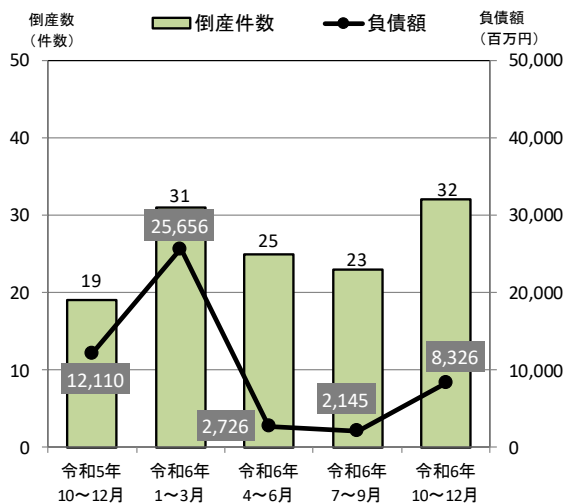
### [業種別倒産概況]

(単位:件) (対比率は伸び率)

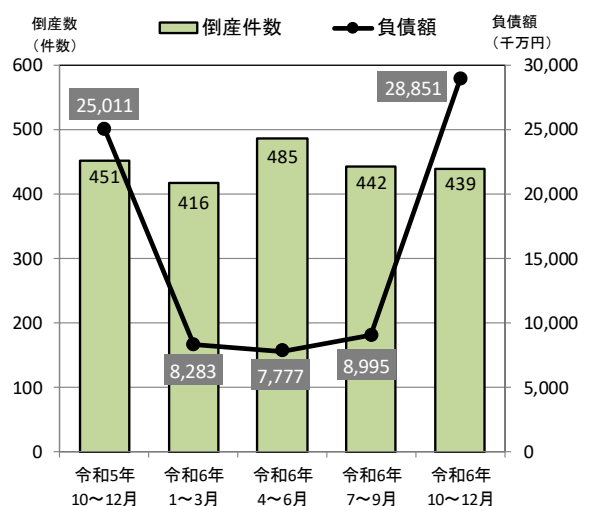
		令和5年	令和6年	令和6年	前期比	前年同期比
		10~12月	7~9月	10~12月		
千代田区	製造業	1	0	0	-	-100.0%
	卸売業	3	5	7	40.0%	133.3%
	小売業	2	1	5	400.0%	150.0%
	サービス業	5	8	11	37.5%	120.0%
	建設業	1	1	1	0.0%	0.0%
	不動産業	1	1	2	100.0%	100.0%
	情報通信業・運輸業	2	5	4	-20.0%	100.0%
	宿泊業・飲食サービス業	1	2	1	-50.0%	0.0%
	その他	3	0	1	-	-66.7%
	合計	19	23	32	39.1%	68.4%
東京都全体	製造業	28	35	26	-25.7%	-7.1%
	卸売業	59	70	68	-2.9%	15.3%
	小売業	43	45	51	13.3%	18.6%
	サービス業	115	102	109	6.9%	-5.2%
	建設業	41	54	42	-22.2%	2.4%
	不動産業	16	18	15	-16.7%	-6.3%
	情報通信業・運輸業	69	70	61	-12.9%	-11.6%
	宿泊業・飲食サービス業	52	30	36	20.0%	-30.8%
	その他	28	18	31	72.2%	10.7%
	合計	451	442	439	-0.7%	-2.7%

### [倒産件数と負債額の推移]

《千代田区》



《東京都全体》



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業・解散概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
	令和5年 10～12月		令和6年 7～9月		令和6年 10～12月		前期比	前年同期比
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
千代田区	388	10.6%	492	9.4%	572	8.6%	16.3%	47.4%
東京都全体	3,666	100.0%	5,260	100.0%	6,689	100.0%	27.2%	82.5%

### [業種別休廃業・解散概況]

		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
		令和5年 10～12月		令和6年 7～9月		令和6年 10～12月		前期比	前年同期比
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
千代田区	製造業	15	3.9%	19	3.9%	34	5.9%	78.9%	126.7%
	卸売業	18	4.6%	35	7.1%	37	6.5%	5.7%	105.6%
	小売業	18	4.6%	16	3.3%	26	4.5%	62.5%	44.4%
	サービス業	90	23.2%	105	21.3%	130	22.7%	23.8%	44.4%
	建設業	5	1.3%	6	1.2%	7	1.2%	16.7%	40.0%
	不動産業	62	16.0%	77	15.7%	79	13.8%	2.6%	27.4%
	情報通信業・運輸業	54	13.9%	61	12.4%	93	16.3%	52.5%	72.2%
	宿泊業,飲食サービス業	10	2.6%	16	3.3%	15	2.6%	-6.3%	50.0%
	その他	116	29.9%	157	31.9%	151	26.4%	-3.8%	30.2%
	合計	388	100.0%	492	100.0%	572	100.0%	16.3%	47.4%
東京都全体	製造業	348	9.5%	544	10.3%	744	11.1%	36.8%	113.8%
	卸売業	281	7.7%	563	10.7%	812	12.1%	44.2%	189.0%
	小売業	287	7.8%	364	6.9%	485	7.3%	33.2%	69.0%
	サービス業	924	25.2%	1,341	25.5%	1,580	23.6%	17.8%	71.0%
	建設業	294	8.0%	330	6.3%	495	7.4%	50.0%	68.4%
	不動産業	414	11.3%	555	10.6%	718	10.7%	29.4%	73.4%
	情報通信業・運輸業	509	13.9%	697	13.3%	878	13.1%	26.0%	72.5%
	宿泊業,飲食サービス業	148	4.0%	221	4.2%	311	4.6%	40.7%	110.1%
	その他	461	12.6%	645	12.3%	666	10.0%	3.3%	44.5%
	合計	3,666	100.0%	5,260	100.0%	6,689	100.0%	27.2%	82.5%

## 1. 企業倒産動向

令和6年10月～12月期の倒産件数は、千代田区では32件で前期比39.1%増、東京都全体では439件で前期比0.7%減となった。

業種別にみると、千代田区は、“サービス業”(11件)が最も多く、次いで、“卸売業”(7件)、“小売業”(5件)と続いた。前期から最も件数が増加した業種は、“小売業”で4件増加した。東京都全体では、“サービス業”(109件)が最も多く、次いで、“卸売業”(68件)、“情報通信業・運輸業”(61件)と続いた。また、前期から最も件数が増加した業種は、“その他”で13件増加した。

## 2. 休廃業・解散動向

令和6年10月～12月期の休廃業・解散件数は、千代田区では572件で前期比16.3%増、東京都全体では6,689件で前期比27.2%増となった。

業種別にみると、千代田区は、“その他”(151件)が最も多く、次いで、“サービス業”(130件)、“情報通信業・運輸業”(93件)と続いた。東京都全体では、“サービス業”(1,580件)が最も多く、次いで、“情報通信業・運輸業”(878件)、“卸売業”(812件)と続いた。また、前期から最も件数が増加した業種は、千代田区では“情報通信業・運輸業”で32件増加した。東京都全体では“卸売業”で249件増加した。

## 特別調査「2025年（令和7年）の経営見通し」

（令和6年12月上旬調査）

注1. 本調査は、主に千代田区の状況について記載しています。グラフでは千代田区と東京都全体の比較をしています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本 調 査 結 果 の 特 徴	① 2025年の日本の景気見通し	『悪い』が前年度比27.8ポイント減少し30.4% 『良い』が同7.8ポイント増加し12.5%
	② 2025年の自社の業況（景気）見通し	『悪い』が前年度比12.9ポイント減少し24.7% 『良い』が同2.3ポイント増加し10.6%
	③ 2025年の自社の売上額の対前年度比伸び率	『増加』が前年度比0.1ポイント減少し31.1% 『減少』が同3.6ポイント減少し12.7%
	④ 自社の業況が上向く転換点の見通し	『短期』が前年度比6.1ポイント増加し50.5%
	⑤ 信用金庫業界に期待する脱炭素化への取組み等	信用金庫業界に期待する取組み 「事例の紹介」25.6% 「行政からの支援内容の紹介」11.6% 信用金庫業界の取組状況 「知っている」18.4%、「知らない」81.2%

### 問1. 2025年の日本の景気見通しについて

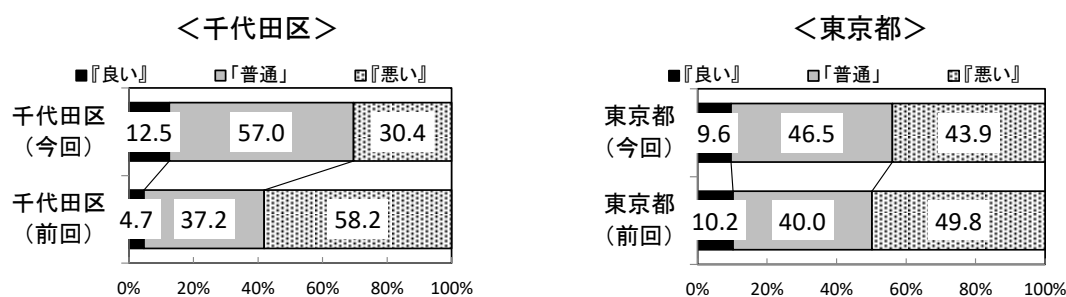
千代田区内の中小企業を対象に2025年の日本の景気見通しについて調査した。『良い』と回答した企業は12.5%で前年度調査(4.7%)より7.8ポイント増加し、『悪い』と回答した企業は30.4%で前年度調査(58.2%)より27.8ポイント減少した。また、「普通」は57.0%（前年度調査は37.2%）であった。

業種別にみると、製造業、卸売業以外の業種では、『良い』が1割強から2割弱と比較的高く、サービス業では18.4%であった。製造業、卸売業では『良い』が1割を下回り、製造業では『悪い』が5割弱、卸売業では「普通」が7割強を占めた。

なお、東京都と比較すると、『良い』とした企業は、東京都（9.6%）より千代田区が2.9ポイント高く、『悪い』とした企業は東京都（43.9%）より千代田区が13.5ポイント低くなっている。

（注）『良い』は「非常に良い」「良い」「やや良い」の和 『悪い』は「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和（以下同じ）

図表1 2025年の日本の景気見通し



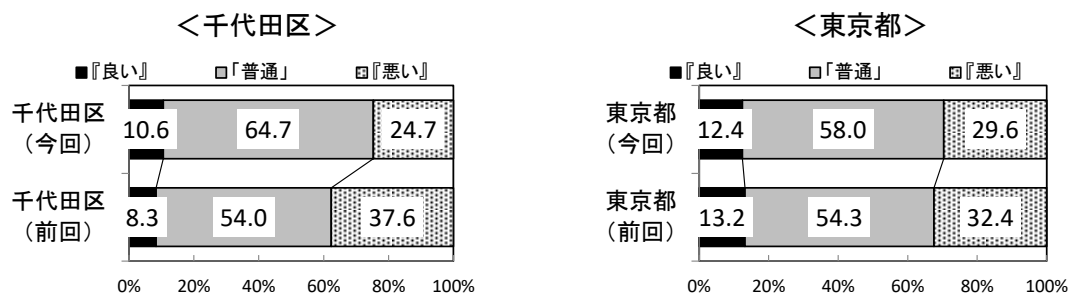
### 問2. 2025年の自社の業況（景気）見通しについて

自社の業況の見通しについては、『良い』とした企業は10.6%で前年度調査（8.3%）より2.3ポイント増加し、『悪い』とした企業は24.7%で前年度調査（37.6%）より12.9ポイント減少した。また、「普通」は64.7%（前年度調査は54.0%）であった。

業種別にみると、建設業では『良い』が2割近くと比較的高いのに対し、製造業、卸売業では1割に届かず低い割合となった。一方、製造業では『悪い』が4割半ばと他に比べ高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、『良い』とした企業は、東京都（12.4%）より千代田区が1.8ポイント低く、『悪い』とした企業は東京都（29.6%）より千代田区が4.9ポイント低くなっている。

図表2 2025年の自社の業況（景気）見通し



### 問3. 2025年の売上額対前年度比伸び率について

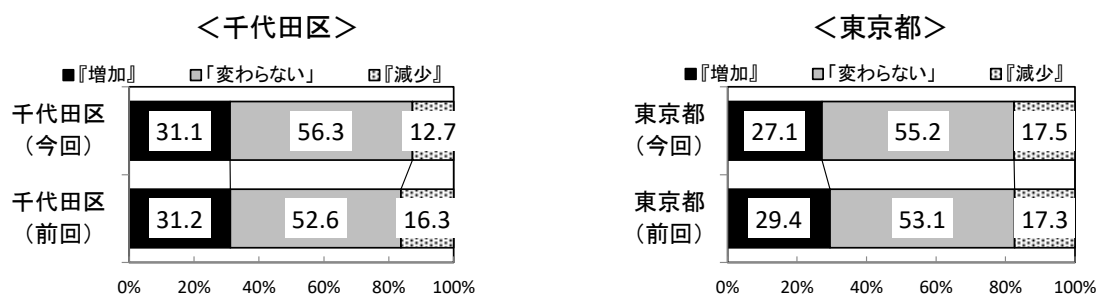
2025年の自社の売上額対前年度比伸び率は、売上の『増加』を予想している企業は31.1%となり、前年度調査（31.2%）より0.1ポイント減少した。一方、売上の『減少』を予想している企業は12.7%となり、前年度調査（16.3%）より3.6ポイント減少した。また、「変わらない」は56.3%（前年度調査は52.6%）であった。

業種別にみると、すべての業種で「変わらない」が4割半ばから6割半ばで最も高く、これに次いで、製造業では『減少』が2割半ば、それ以外の業種では『増加』が2割半ばから4割弱で続いた。

なお、東京都と比較すると、売上の『増加』を予想している企業は、東京都（27.1%）より千代田区が4.0ポイント高く、売上の『減少』を予想している企業は東京都（17.5%）より千代田区が4.8ポイント低くなっている。

（注）『増加』は「30%以上の増加」「20～29%の増加」「10～19%の増加」「10%未満の増加」の和  
『減少』は「10%未満の減少」「10～19%の減少」「20～29%の減少」「30%以上の減少」の和

図表3 2025年の自社の売上額対前年度比伸び率



問4. 自社の業況が上向き転換点の見通しについて

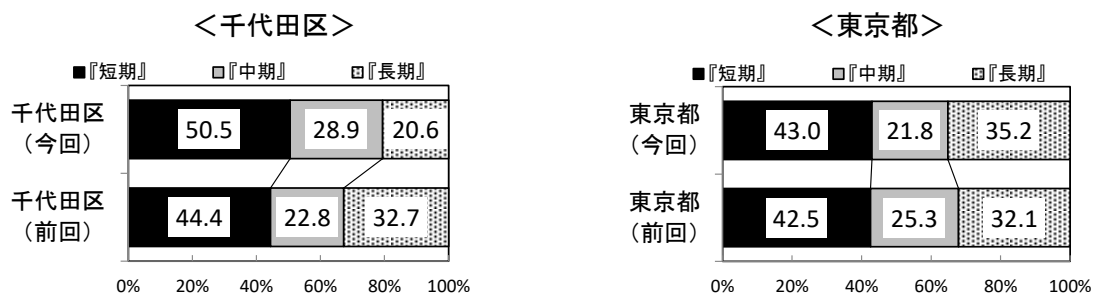
自社の業況が『短期』で上向きと予想する企業は50.5%となり、前年度調査（44.4%）より6.1ポイント増加した。『中期』とする企業は28.9%となり、前年度調査（22.8%）より6.1ポイント増加した。『長期』とする企業は20.6%となり、前年度調査（32.7%）より12.1ポイント減少した。

業種別にみると、製造業を除く業種で『短期』で上向きと予想する企業が4割半ばから6割弱、製造業では『長期』で上向きと予想する企業が4割弱で、それぞれ最も高かった。

なお、東京都と比較すると、『短期』で上向きと予想する企業は東京都（43.0%）より千代田区が7.5ポイント高く、『長期』で上向きと予想する企業は東京都（35.2%）より千代田区が14.6ポイント低くなっている。

（注）『短期』は「すでに上向きしている」「6ヶ月以内」「1年後」の和 『中期』は「2年後」「3年後」の和 『長期』は「3年超」「業況改善の見通しは立たない」の和

図表4 自社の業況が上向き転換点の見通し



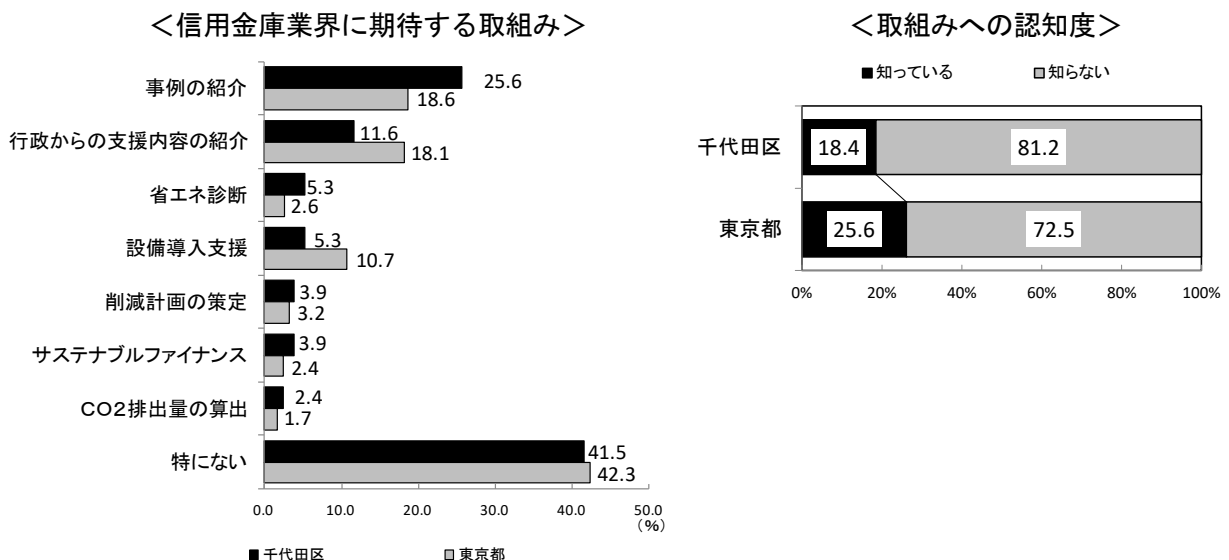
問5. 信用金庫業界に期待する脱炭素化への取組み等

脱炭素化に向けて信用金庫業界に期待する取組みについては、「事例の紹介」が25.6%で最も高く、次いで「行政からの支援内容の紹介」が11.6%、「省エネ診断」「設備導入支援」がともに5.3%となった。なお「特にない」が41.5%であった。また、信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素化に向けた取組みを行っていることについて「知っている」は18.4%、「知らない」は81.2%であった。

業種別にみると、すべての業種で「事例の紹介」が2割弱から3割半ばで最も高く、製造業では「行政からの支援内容の紹介」が2割弱、サービス業では「CO2排出量の算出」が1割強で、他に比べ高い割合となった。また、取組みの認知度については、すべての業種で「知らない」が過半数を占めた。

なお、東京都と比較すると、「事例の紹介」は東京都（18.6%）より千代田区が7.0ポイント高く、「知っている」は東京都（25.6%）より千代田区が7.2ポイント低くなっている。

図表5 信用金庫業界に期待する脱炭素化への取組み等



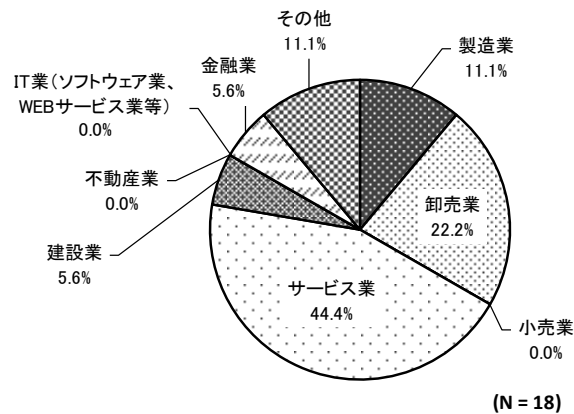
## 千代田区独自調査「G ビズ ID の活用状況について」

東京商工会議所千代田支部において、千代田区内の企業に対し「G ビズ ID の活用状況」に関するアンケートを実施し、18社より回答を得た。各設問の調査結果は以下の通り。

### 問1. 回答企業の業種

回答企業の業種は、「サービス業」(44.4%)が最も高く、次いで「卸売業」(22.2%)、「製造業」及び「その他」(各11.1%)となっている。

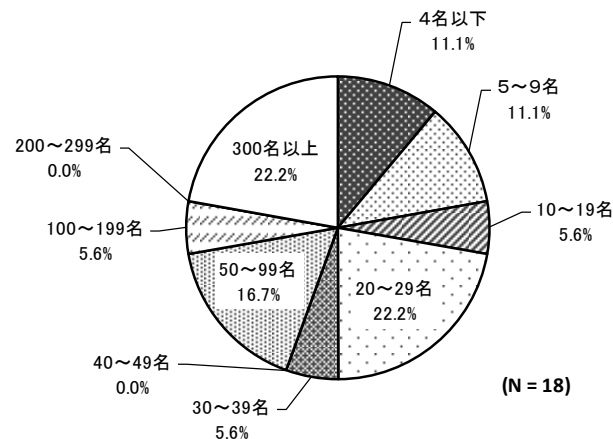
図表1 業種



### 問2. 回答企業の従業員数

回答企業の従業員数は、「20～29名」及び「300名以上」(各22.2%)が並んで最も高く、次いで「50～99名」(16.7%)となっている。

図表2 従業員数

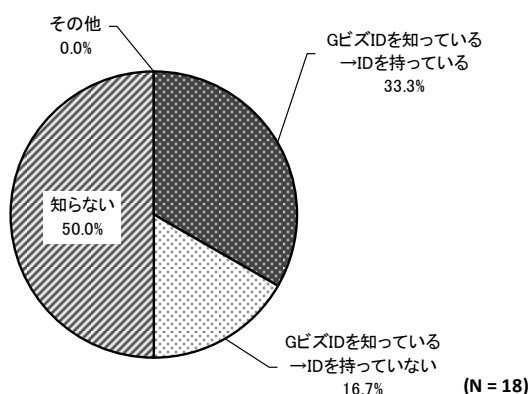




問3. 「G ビズ ID」の認知・利用状況

デジタル庁が展開している法人・個人事業向け共通認証システム「G ビズ ID」の認知・利用状況については、「知らない」(50.0%)が最も高く、次いで「G ビズ IDを知っている→IDを持っている」(33.3%)、「G ビズ IDを知っている→IDを持っていない」(16.7%)となっている。

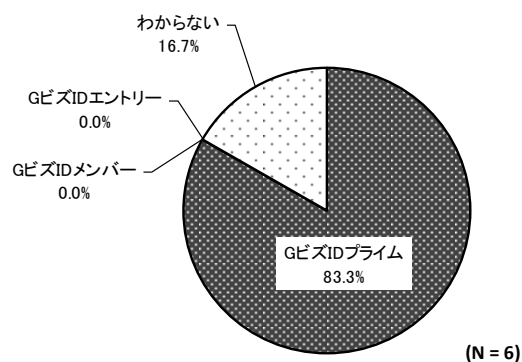
図表3 「G ビズ ID」の認知・利用状況



問4. お持ちの「G ビズ ID」の種別

問3で「G ビズ IDを知っている→IDを持っている」と回答した方に対して、お持ちの「G ビズ ID」の種別を尋ねたところ、「G ビズ IDプライム」(83.3%)、「わからない」(16.7%)という結果が得られた。

図表4 お持ちの「G ビズ ID」の種別



問5. お持ちの「G ビズ ID」で利用しているサービス

問3で「G ビズ ID を知っている→ID を持っている」と回答した方に対して、お持ちの「G ビズ ID」をどのようなサービスで利用しているかを尋ねたところ、以下の結果が得られた。

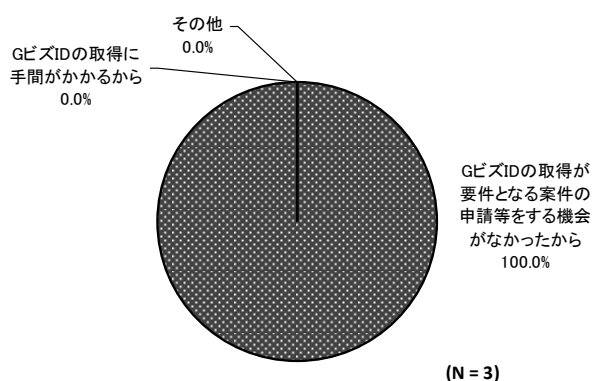
【回答結果】（一部要約）

- ・ 補助金申請システム jGrants の利用時
- ・ 労働保険、年金関係、補助金等の申請時
- ・ 補助金の申請時
- ・ IT 補助金、事業再構築補助金の申請時
- ・ 助成金の申請時

問6. 「G ビズ ID」を取得しない理由

問3で「G ビズ ID を知っている→ID を持っていない」と回答した方に対して、「G ビズ ID」を取得しない理由を尋ねたところ、「G ビズ ID の取得が要件となる案件の申請等をする機会がなかったから」（100.0%）という結果が得られた。

図表5 「G ビズ ID」を取得しない理由



# 中小企業景況調査 比較表

(令和6年10月～12月期)

## 製造業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-11	-9
売上額		4	-2
受注残		3	-4
収益		-1	-7
販売価格		23	22
原材料価格		55	45
原材料在庫		4	4
資金繰り		-24	-9
雇用	残業時間	-10	1
	人手	0	-14
同期比	売上額	-3	4
	収益	-7	-5
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	39	35
	② 原材料高	23	39
	③ 同業者間の競争の激化	13	15
	④ 仕入先からの値上げ要請	10	12
	⑤ 利幅の縮小	10	16
重点経営施策	① 販路を広げる	52	54
	② 経費を節減する	42	44
	③ 情報力を強化する	16	12
	④ 新製品・技術を開発する	10	9
	⑤ 不動産の有効活用を図る	7	1
借入の難易度		-4	-3

### [来期の景況見通し]

業況		-6	-6
売上額		2	-1
受注残		1	-3
収益		-10	-6
販売価格		22	19
原材料価格		56	39
原材料在庫		9	2
資金繰り		-24	-8
雇用	残業時間	0	0
	人手	-3	-14

## 卸売業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-9	-9
売上額		0	1
収益		0	-5
販売価格		29	32
仕入価格		34	45
在庫		4	5
資金繰り		6	-4
雇用	残業時間	-2	2
	人手	-8	-14
同期比	売上額	17	10
	収益	2	0
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	52	35
	② 同業者間の競争の激化	25	21
	③ 利幅の縮小	19	22
	④ 輸入品との競争の激化	17	4
	⑤ 為替レートの変動	15	11
重点経営施策	① 販路を広げる	63	58
	② 経費を節減する	35	40
	③ 提携先を見つける	23	6
	④ 人材を確保する	21	19
	⑤ 情報力を強化する	19	17
借入の難易度		11	0

### [来期の景況見通し]

業況		-19	-6
売上額		-3	3
収益		-9	-3
販売価格		22	28
仕入価格		30	40
在庫		0	5
資金繰り		-3	-3
雇用	残業時間	-2	2
	人手	-8	-14

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 小売業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-36	-14
売上額		-28	-5
収益		-32	-14
販売価格		15	28
仕入価格		16	42
在庫		-14	1
資金繰り		-8	-11
雇用	残業時間	-4	-1
	人手	-15	-13
同期比	売上額	-19	3
	収益	-27	-9
	販売価格	23	33
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	42	32
	② 大型店との競争の激化	19	16
	③ 同業者間の競争の激化	19	18
	④ 仕入先からの値上げ要請	12	22
	⑤ 販売商品の不足	12	3
重点経営施策	① 経費を節減する	35	46
	② 品揃えを改善する	27	25
	③ 売れ筋商品を取り扱う	23	14
	④ 宣伝・広告を強化する	23	22
	⑤ 教育訓練を強化する	8	3
借入の難易度		9	-6

### [来期の景況見通し]

業況		-21	-12
売上額		-16	-2
収益		-17	-10
販売価格		10	23
仕入価格		10	37
在庫		-14	0
資金繰り		-6	-10
雇用	残業時間	-4	0
	人手	-16	-12

- \* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り
- \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		2	-2
売上額		2	5
収益		4	-3
料金価格		17	23
材料価格		22	40
資金繰り		-3	-8
雇用	残業時間	-3	1
	人手	-35	-27
同期比	売上額	22	14
	収益	14	2
経営上の問題点	① 人手不足	34	30
	② 人件費の増加	29	26
	③ 売上の停滞・減少	24	26
	④ 同業者間の競争の激化	16	21
	⑤ 材料価格の上昇	11	24
重点経営施策	① 人材を確保する	50	29
	② 販路を広げる	47	36
	③ 経費を節減する	26	40
	④ 技術力を強化する	13	12
	⑤ 提携先を見つける	8	7
借入の難易度		0	-4

### [来期の景況見通し]

業況		9	-1
売上額		13	5
収益		10	-3
料金価格		16	20
材料価格		20	36
資金繰り		-6	-7
雇用	残業時間	0	2
	人手	-35	-27

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		24	12
売上額		11	16
受注残		16	13
施工高		9	18
収益		-2	4
請負価格		21	27
材料価格		43	54
在庫		1	1
資金繰り		-1	-3
雇用	残業時間	4	2
	人手	-14	-35
同期比	売上額	31	21
	収益	17	7
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	38	52
	② 人手不足	38	43
	③ 人件費の増加	24	15
	④ 下請の確保難	21	12
	⑤ 利幅の縮小	21	14
重点経営施策	① 人材を確保する	45	45
	② 販路を広げる	45	39
	③ 経費を節減する	31	41
	④ 労働条件を改善する	21	7
	⑤ 技術力を高める	14	19
借入の難易度		8	3

### [来期の景況見通し]

業況		23	10
売上額		20	12
受注残		27	9
施工高		23	13
収益		10	3
請負価格		24	22
材料価格		42	47
在庫		3	0
資金繰り		3	-3
雇用	残業時間	4	1
	人手	-14	-36

- \* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り
- \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		14	8
売上額		-2	10
収益		8	8
販売価格		23	24
仕入価格		26	32
在庫		3	-10
資金繰り		-9	0
雇用	残業時間	0	1
	人手	-11	-12
同期比	売上額	6	11
	収益	14	10
経営上の問題点	① 商品物件の高騰	34	33
	② 同業者間の競争の激化	31	27
	③ 売上の停滞・減少	20	16
	④ 大手企業との競争の激化	17	13
	⑤ 商品物件の不足	14	28
重点経営施策	① 販路を広げる	51	31
	② 情報力を強化する	37	37
	③ 経費を節減する	29	25
	④ 人材を確保する	11	12
	⑤ 宣伝・広告を強化する	11	17
借入の難易度		0	1

### [来期の景況見通し]

業況		8	7
売上額		1	8
収益		10	6
販売価格		17	20
仕入価格		18	29
在庫		3	-9
資金繰り		-11	0
雇用	残業時間	0	2
	人手	-11	-12

# 中小企業景況調査 転記表

(令和6年10月~12月期)

製造業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月~12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	令和7年	
		1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期							
業況	良い	14.7	15.6	21.9	18.8	18.8	13.3	12.5	15.6	11.4	9.4	14.7	11.4	12.9	8.8	10.0	13.8		13.3	
	普通	55.9	46.9	50.0	53.1	49.9	63.4	59.4	59.4	60.0	65.6	52.9	60.0	61.3	64.7	66.7	65.5		66.7	
	悪い	29.4	37.5	28.1	28.1	31.3	23.3	28.1	25.0	28.6	25.0	32.4	28.6	25.8	26.5	23.3	20.7		20.0	
	D・I	-14.7	-21.9	-6.2	-9.3	-12.5	-10.0	-15.6	-9.4	-17.2	-15.6	-17.7	-17.2	-12.9	-17.7	-13.3	-6.9		-6.7	
	修正値	-16.1	-22.0	-5.9	-8.8	-13.5	-6.6	-11.2	-11.0	-16.8	-13.6	-17.5	-16.1	-16.7	-15.8	-10.7	-11.3	6.0		-5.9
	傾向値	-25.8		-19.7		-15.3		-13.0		-12.6		-14.3		-15.8		-15.6				
売上額	増加	17.6	18.8	21.2	20.6	12.1	15.2	9.1	9.1	17.1	15.2	20.6	14.3	19.4	20.6	19.4	16.1		19.4	
	変らず	55.9	59.3	60.6	55.9	66.7	69.6	66.7	75.7	57.2	66.6	61.8	62.8	64.5	67.6	64.5	71.0		64.5	
	減少	26.5	21.9	18.2	23.5	21.2	15.2	24.2	15.2	25.7	18.2	17.6	22.9	16.1	11.8	16.1	12.9		16.1	
	D・I	-8.9	-3.1	3.0	-2.9	-9.1	0.0	-15.1	-6.1	-8.6	-3.0	3.0	-8.6	3.3	8.8	3.3	3.2		3.3	
	修正値	-11.6	-4.7	1.9	-4.9	-5.9	3.8	-13.2	-5.8	-9.9	-4.4	-1.2	-10.3	3.7	8.5	3.7	3.4	0.0		2.0
	傾向値	-16.0		-11.7		-6.8		-6.0		-7.5		-7.5		-5.9		-2.1				
受注残	増加	11.8	9.4	21.2	14.7	12.1	18.2	9.1	15.2	20.0	12.1	20.6	17.1	19.4	23.5	19.4	16.1		16.1	
	変らず	67.6	71.8	63.6	67.7	69.7	66.6	75.7	72.7	62.9	69.7	61.8	57.2	64.5	64.7	64.5	71.0		67.8	
	減少	20.6	18.8	15.2	17.6	18.2	15.2	15.2	12.1	17.1	18.2	17.6	25.7	16.1	11.8	16.1	12.9		16.1	
	D・I	-8.8	-9.4	6.0	-2.9	-6.1	3.0	-6.1	3.1	2.9	-6.1	3.0	-8.6	3.3	11.7	3.3	3.2		0.0	
	修正値	-12.5	-11.7	3.7	-5.7	-2.8	5.1	-6.3	2.2	0.7	-6.4	-1.7	-10.1	5.3	10.5	2.6	2.1	-2.7		0.9
	傾向値	-12.6		-9.0		-5.3		-3.4		-2.3		-1.2		-0.4		2.0				
収益	増加	20.6	15.6	18.2	20.6	12.1	15.2	12.1	9.1	17.1	12.1	14.7	17.1	29.0	20.6	22.6	22.6		16.1	
	変らず	50.0	56.3	60.6	55.9	60.6	66.6	54.6	66.7	48.6	54.6	52.9	45.8	51.6	52.9	51.6	61.3		54.9	
	減少	29.4	28.1	21.2	23.5	27.3	18.2	33.3	24.2	34.3	33.3	32.4	37.1	19.4	26.5	25.8	16.1		29.0	
	D・I	-8.8	-12.5	-3.0	-2.9	-15.2	-3.0	-21.2	-15.1	-17.2	-21.2	-17.7	-20.0	9.6	-5.9	-3.2	6.5		-12.9	
	修正値	-10.2	-13.5	-4.1	-7.3	-12.3	-0.1	-18.2	-12.1	-18.6	-19.2	-18.8	-22.6	5.6	-4.9	-0.7	4.8	-6.3		-10.0
	傾向値	-14.5		-11.7		-9.8		-10.6		-13.1		-16.0		-14.7		-9.4				
価格動向	販売価格	29.5	28.2	24.2	35.3	18.2	15.1	24.2	18.2	25.7	21.2	35.3	22.8	19.3	38.2	25.8	25.8		25.8	
	修正値	23.2	24.3	19.2	29.5	21.4	13.1	20.8	18.9	20.1	17.0	29.2	17.1	23.6	34.8	22.7	27.6	-0.9		22.0
	傾向値	12.1		17.4		21.6		24.1		23.6		24.5		26.0		26.3				
	原材料価格	44.2	46.9	39.4	47.1	45.5	36.4	42.5	39.4	48.6	39.4	67.6	48.6	54.8	58.8	54.8	48.4		58.1	
	修正値	38.1	48.2	36.0	38.8	40.7	33.7	42.9	37.6	41.4	38.7	59.2	38.7	49.7	52.8	55.3	46.9	5.6		55.6
	傾向値	36.5		40.1		41.7		42.7		43.5		47.5		52.2		54.9				
在庫全・繰り	原材料在庫数量	14.7	6.3	12.1	14.7	9.1	12.1	6.1	9.1	11.4	6.1	8.8	11.4	0.0	8.8	3.2	0.0		6.5	
	修正値	12.1	7.9	10.7	10.3	10.6	10.1	6.3	11.1	8.1	7.8	8.0	6.5	2.2	7.6	4.2	2.9	2.0		8.9
	資金繰り	-5.8	-6.3	-3.1	-8.8	-15.1	0.0	-9.1	-12.1	-20.0	-3.0	-14.7	-11.5	-25.8	-5.9	-22.6	-19.3		-22.6	
修正値	-5.3	-11.9	-1.7	-9.0	-14.4	1.5	-12.4	-9.8	-18.2	-9.3	-13.1	-11.4	-23.7	-5.1	-24.3	-15.5	-0.6		-24.3	
前年同期比	売上額	0.0		0.0		-15.2		-15.2		-11.4		-2.9		19.4		-3.3				
	収益	-5.9		-18.2		-27.3		-21.2		-14.3		-3.0		6.4		-6.7				
雇用	残業時間	2.9	-3.2	6.0	3.0	-3.1	3.0	0.0	-3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	-9.7	-6.5		0.0	
	人手	3.0	0.0	15.2	0.0	9.1	12.2	0.0	6.1	-8.5	0.0	-8.9	-8.5	-12.9	-8.9	0.0	-6.5		-3.3	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	26.5	31.3	33.3	35.3	21.2	33.3	24.2	27.3	22.9	18.2	17.6	25.7	25.8	26.5	22.6	19.4		16.1	
	借入しない/借入の予定なし(%)	73.5	68.7	66.7	64.7	78.8	66.7	75.8	72.7	77.1	81.8	82.4	74.3	74.2	73.5	77.4	80.6		83.9	
	借入難易度	9.7		12.9		6.7		6.7		3.2		-6.3		-3.7		-3.7				
有効回答事業所数		34		33		33		33		35		34		31		31				

製造業

地域名：千代田区

中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	令和7年1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期				
設備投資動向 (%)	現在の設備	3.0	-9.7	6.1	3.0	-3.0	6.1	-9.1	-3.0	-5.7	-9.1	-5.9	-5.7	-6.5	-5.9	-12.9	-6.5		-9.7	
	実施した・予定あり	12.1	13.3	15.2	12.1	12.1	15.2	12.1	12.5	8.6	12.5	5.9	2.9	12.9	5.9	16.1	16.1		19.4	
	事業用地・建物	50.0	-	40.0	50.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-		16.7	
	機械・設備の新・増設	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0		16.7	
	機械・設備の更改	25.0	75.0	20.0	25.0	75.0	20.0	75.0	75.0	33.3	75.0	50.0	100.0	25.0	50.0	80.0	20.0		50.0	
	投資内容																			
	事務機器	25.0	25.0	40.0	25.0	50.0	40.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0	-	75.0	50.0	40.0	80.0		50.0	
	車両	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	66.7	25.0	-	-	-	-	-	-	-		-
	その他	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
実施しない・予定なし	87.9	86.7	84.8	87.9	87.9	84.8	87.9	87.5	91.4	87.5	94.1	97.1	87.1	94.1	83.9	83.9		80.6		
経営上の問題点 (%)	売上の停滞・減少	44.1		42.4		51.5		45.5		48.6		50.0		48.4		38.7				
	人手不足	11.8		6.1		3.0		3.0		5.7		14.7		6.5		6.5				
	大手企業との競争の激化	2.9		6.1		9.1		6.1		2.9		5.9		9.7		6.5				
	同業者間の競争の激化	14.7		9.1		12.1		12.1		14.3		11.8		9.7		12.9				
	親企業による選別の強化	-		-		-		-		-		-		3.2		-				
	輸入製品との競争の激化	2.9		-		-		-		-		-		-		3.2				
	合理化の不足	-		3.0		3.0		6.1		2.9		-		-		-				
	利幅の縮小	14.7		12.1		15.2		15.2		20.0		17.6		12.9		9.7				
	原材料高	23.5		27.3		24.2		24.2		28.6		23.5		32.3		22.6				
	販売納入先からの値下げ要請	-		3.0		3.0		-		2.9		2.9		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	2.9		15.2		15.2		12.1		11.4		11.8		16.1		9.7				
	人件費の増加	2.9		-		-		-		-		2.9		-		6.5				
	人件費以外の経費の増加	2.9		-		-		-		2.9		2.9		-		3.2				
	工場・機械の狭小・老朽化	2.9		3.0		3.0		9.1		5.7		2.9		6.5		6.5				
	生産能力の不足	-		3.0		3.0		3.0		-		-		-		6.5				
	下請の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		-		-		3.0		2.9		-		3.2		3.2				
	地場産業の衰退	2.9		3.0		3.0		-		-		-		6.5		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-				
為替レートの変動	5.9		6.1		3.0		3.0		5.7		2.9		-		6.5					
その他	5.9		3.0		-		-		-		-		-		-					
問題なし	11.8		12.1		18.2		21.2		17.1		17.6		16.1		19.4					
重点経営施策 (%)	販路を広げる	47.1		54.5		57.6		60.6		57.1		55.9		67.7		51.6				
	経費を節減する	44.1		36.4		42.4		51.5		48.6		32.4		35.5		41.9				
	情報力を強化する	14.7		18.2		6.1		12.1		14.3		14.7		16.1		16.1				
	新製品・技術を開発する	5.9		6.1		6.1		6.1		5.7		5.9		12.9		9.7				
	不採算部門を整理・縮小する	2.9		-		6.1		3.0		2.9		2.9		6.5		6.5				
	提携先を見つける	2.9		3.0		6.1		6.1		2.9		8.8		3.2		3.2				
	機械化を推進する	-		-		3.0		-		2.9		2.9		-		-				
	人材を確保する	5.9		9.1		6.1		3.0		8.6		2.9		6.5		6.5				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		3.2				
	教育訓練を強化する	2.9		-		-		-		5.7		-		-		3.2				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		3.2				
	工場・機械を増設・移転する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	2.9		3.0		6.1		6.1		8.6		8.8		6.5		6.5				
	その他	2.9		-		-		-		-		-		-		-				
特になし	14.7		18.2		21.2		24.2		22.9		23.5		25.8		25.8					
有効回答事業所数	34		33		33		33		35		34		31		31					

## 卸売業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	令和7年
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
業況	良い	22.4	26.0	21.6	18.8	24.0	21.6	22.0	20.4	24.0	22.4	16.0	18.0	23.9	14.0	14.6	22.7		6.4
	普通	59.2	52.0	58.8	58.3	56.0	52.9	58.0	55.1	52.0	57.2	60.0	58.0	58.7	62.0	62.5	56.8		70.2
	悪い	18.4	22.0	19.6	22.9	20.0	25.5	20.0	24.5	24.0	20.4	24.0	24.0	17.4	24.0	22.9	20.5		23.4
	D・I	4.0	4.0	2.0	-4.1	4.0	-3.9	2.0	-4.1	0.0	2.0	-8.0	-6.0	6.5	-10.0	-8.3	2.2		-17.0
	修正値	<b>4.9</b>	<b>3.2</b>	<b>4.2</b>	<b>-2.6</b>	<b>3.9</b>	<b>2.8</b>	<b>1.9</b>	<b>-6.2</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.6</b>	<b>-6.2</b>	<b>-5.4</b>	<b>4.0</b>	<b>-3.4</b>	<b>-8.8</b>	<b>-1.5</b>	<b>-12.8</b>	<b>-18.5</b>
	傾向値	3.5		4.0		3.8		3.3		2.5		0.8		-0.2		-1.2			
売上額	増加	26.5	25.5	33.3	22.4	34.0	23.5	34.0	26.0	30.0	26.0	22.0	22.0	21.7	12.0	18.8	19.6		12.5
	変らず	53.1	58.8	41.2	59.2	54.0	58.9	52.0	62.0	52.0	60.0	64.0	64.0	60.9	72.0	64.5	71.7		72.9
	減少	20.4	15.7	25.5	18.4	12.0	17.6	14.0	12.0	18.0	14.0	14.0	14.0	17.4	16.0	16.7	8.7		14.6
	D・I	6.1	9.8	7.8	4.0	22.0	5.9	20.0	14.0	12.0	12.0	8.0	8.0	4.3	-4.0	2.1	10.9		-2.1
	修正値	<b>8.3</b>	<b>8.9</b>	<b>7.3</b>	<b>3.1</b>	<b>20.3</b>	<b>9.1</b>	<b>18.7</b>	<b>11.3</b>	<b>11.1</b>	<b>9.9</b>	<b>7.6</b>	<b>5.4</b>	<b>2.3</b>	<b>2.0</b>	<b>0.4</b>	<b>6.0</b>	<b>-1.9</b>	<b>-2.9</b>
	傾向値	7.8		7.7		9.7		13.0		14.7		15.5		13.3		8.8			
収益	増加	20.4	19.6	19.6	12.2	22.0	17.6	20.0	16.0	20.0	22.0	16.0	12.0	15.2	12.0	20.8	10.9		12.5
	変らず	51.0	60.8	49.0	59.2	56.0	58.9	62.0	64.0	58.0	62.0	56.0	62.0	67.4	58.0	60.4	73.9		70.8
	減少	28.6	19.6	31.4	28.6	22.0	23.5	18.0	20.0	22.0	16.0	28.0	26.0	17.4	30.0	18.8	15.2		16.7
	D・I	-8.2	0.0	-11.8	-16.4	0.0	-5.9	2.0	-4.0	-2.0	6.0	-12.0	-14.0	-2.2	-18.0	2.0	-4.3		-4.2
	修正値	<b>-6.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>-9.6</b>	<b>-13.8</b>	<b>-0.3</b>	<b>-2.4</b>	<b>2.3</b>	<b>-4.8</b>	<b>-3.1</b>	<b>2.0</b>	<b>-9.6</b>	<b>-11.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>-12.9</b>	<b>0.1</b>	<b>-7.2</b>	<b>4.2</b>	<b>-9.1</b>
	傾向値	-2.8		-5.7		-7.0		-5.7		-3.7		-3.0		-3.3		-3.6			
価格動向	販売価格	34.7	29.4	35.3	28.6	28.0	19.6	30.0	24.0	24.0	26.0	32.0	22.0	28.3	32.0	31.3	30.4		25.0
	"修正値	<b>31.8</b>	<b>27.1</b>	<b>31.4</b>	<b>24.1</b>	<b>26.9</b>	<b>20.2</b>	<b>29.0</b>	<b>22.7</b>	<b>22.7</b>	<b>22.7</b>	<b>27.7</b>	<b>19.8</b>	<b>26.8</b>	<b>31.3</b>	<b>29.4</b>	<b>28.2</b>	<b>2.6</b>	<b>21.7</b>
	"傾向値	31.3		33.0		32.9		31.9		30.7		28.9		28.5		28.7			
	仕入価格	49.1	45.1	52.9	44.9	38.0	37.3	40.0	26.0	38.0	34.0	46.0	36.0	43.5	46.0	37.5	41.3		33.3
	"修正値	<b>46.0</b>	<b>39.5</b>	<b>50.0</b>	<b>40.3</b>	<b>37.7</b>	<b>37.7</b>	<b>35.5</b>	<b>28.5</b>	<b>36.9</b>	<b>29.1</b>	<b>42.4</b>	<b>32.7</b>	<b>42.9</b>	<b>44.0</b>	<b>34.0</b>	<b>41.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>30.4</b>
	"傾向値	51.4		52.3		51.2		47.3		43.6		41.4		41.2		41.6			
在庫・線り	在庫価格	8.1	11.8	7.8	8.2	6.0	3.9	8.0	4.0	6.0	6.0	8.0	4.0	13.0	8.0	4.1	2.2		0.0
	"修正値	<b>9.4</b>	<b>11.4</b>	<b>5.2</b>	<b>9.3</b>	<b>6.1</b>	<b>1.7</b>	<b>6.7</b>	<b>3.7</b>	<b>7.7</b>	<b>5.7</b>	<b>4.9</b>	<b>5.1</b>	<b>12.0</b>	<b>5.5</b>	<b>4.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-7.9</b>	<b>0.2</b>
	資金線り	0.0	-7.8	-2.0	-2.0	4.0	-5.9	4.0	0.0	-2.0	2.0	0.0	-2.0	6.5	-6.0	6.2	2.2		-4.2
	"修正値	<b>-0.4</b>	<b>-5.9</b>	<b>-2.8</b>	<b>-2.3</b>	<b>4.8</b>	<b>-3.6</b>	<b>4.6</b>	<b>-2.7</b>	<b>-2.2</b>	<b>2.6</b>	<b>0.1</b>	<b>-2.9</b>	<b>5.9</b>	<b>-1.7</b>	<b>6.2</b>	<b>-0.5</b>	<b>0.3</b>	<b>-2.7</b>
前年同期比	売上額	18.4		17.7		28.0		24.0		18.0		12.0		21.7		16.7			
	収益	-2.0		-7.8		2.0		4.0		-2.0		-18.0		-2.2		2.0			
	販売価格	42.9		45.1		30.0		34.0		36.0		34.0		37.0		35.4			
雇用	残業時間	-4.1	-2.0	-3.9	-2.0	-8.0	0.0	-2.1	-4.0	-6.1	2.1	-6.0	-4.1	-2.2	-4.0	-2.1	0.0		-2.1
	人手	-6.1	-3.9	1.9	-6.1	0.0	1.9	0.0	-2.0	-8.0	0.0	-14.0	-6.0	-4.4	-14.0	-8.3	-4.4		-8.3
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	51.0	33.3	51.0	40.8	48.0	37.3	42.0	34.0	36.0	34.0	40.0	32.0	37.0	32.0	29.2	31.1		29.2
	借入しない/借入の予定なし(%)	49.0	66.7	49.0	59.2	52.0	62.7	58.0	66.0	64.0	66.0	60.0	68.0	63.0	68.0	70.8	68.9		70.8
	借入難易度	21.3		22.5		16.7		22.3		19.6		10.4		11.3		10.8			
有効回答事業所数		49		51		50		50		50		50		46		48			



## 卸売業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	令和7年 1月～3月期	
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.0	0.0	-2.0	-2.0	0.0	-4.0	2.2	0.0	2.2	2.2	-2.1	
	実施した・予定あり	12.2	10.0	7.8	8.2	6.0	5.9	8.0	8.0	10.0	10.0	8.0	10.0	13.3	6.0	18.8	9.1	20.8	
	事業用地・建物	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	20.0	25.0	20.0	16.7	-	66.7	-	40.0	
	機械・設備の新・増設	66.7	80.0	100.0	75.0	100.0	100.0	75.0	75.0	60.0	60.0	50.0	60.0	50.0	66.7	77.8	50.0	70.0	
	機械・設備の更改	50.0	60.0	75.0	75.0	100.0	100.0	75.0	75.0	60.0	60.0	50.0	60.0	33.3	66.7	88.9	50.0	80.0	
	事務機器	50.0	20.0	25.0	50.0	66.7	33.3	50.0	75.0	60.0	20.0	50.0	40.0	66.7	33.3	-	75.0	20.0	
	車両	16.7	-	50.0	25.0	33.3	66.7	25.0	25.0	-	40.0	-	-	16.7	-	-	25.0	10.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	87.8	90.0	92.2	91.8	94.0	94.1	92.0	92.0	90.0	90.0	92.0	90.0	86.7	94.0	81.2	90.9	79.2	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	46.9		51.0		46.0		50.0		52.0		52.0		45.7		52.1			
	人手不足	10.2		9.8		6.0		10.0		14.0		10.0		8.7		14.6			
	同業者間の競争の激化	28.6		23.5		28.0		26.0		22.0		22.0		26.1		25.0			
	輸入品との競争の激化	12.2		11.8		12.0		12.0		12.0		14.0		13.0		16.7			
	流通経路の変化による競争の激化	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.2		4.2			
	合理化の不足	2.0		3.9		4.0		2.0		2.0		2.0		-		4.2			
	小口注文・多頻度配送の増加	2.0		2.0		-		-		-		2.0		2.2		4.2			
	利幅の縮小	24.5		21.6		24.0		20.0		18.0		30.0		28.3		18.8			
	取扱商品の陳腐化	2.0		2.0		2.0		-		2.0		2.0		-		-			
	販売商品の不足	8.2		2.0		-		-		-		4.0		2.2		6.3			
	販売納入先からの値下げ要請	-		3.9		8.0		2.0		4.0		-		2.2		2.1			
	仕入先からの値上げ要請	22.4		25.5		14.0		16.0		16.0		26.0		23.9		12.5			
	人件費の増加	2.0		2.0		6.0		6.0		10.0		10.0		10.9		12.5			
	人件費以外の経費の増加	4.1		5.9		6.0		8.0		6.0		6.0		4.3		2.1			
	取引先の減少	2.0		2.0		-		-		-		-		2.2		-			
	店舗の狭小・老朽化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		-			
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-				
為替レートの変動	14.3		21.6		22.0		20.0		20.0		16.0		15.2		14.6				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		2.2		-				
その他	-		-		-		-		2.0		-		-		-				
問題なし	10.2		9.8		10.0		10.0		10.0		10.0		8.7		10.4				
重点経営施策(%)	販路を広げる	61.2		68.6		66.0		58.0		68.0		62.0		58.7		62.5			
	経費を節減する	44.9		54.9		48.0		50.0		44.0		38.0		43.5		35.4			
	品揃えを充実する	10.2		7.8		14.0		10.0		12.0		12.0		10.9		12.5			
	情報力を強化する	14.3		19.6		8.0		14.0		10.0		14.0		17.4		18.8			
	新しい事業を始める	6.1		2.0		-		2.0		2.0		4.0		-		4.2			
	提携先を見つける	20.4		17.6		22.0		20.0		18.0		18.0		21.7		22.9			
	機械化を推進する	8.2		5.9		4.0		4.0		4.0		4.0		4.3		2.1			
	人材を確保する	12.2		7.8		10.0		14.0		14.0		18.0		15.2		20.8			
	パート化を図る	2.0		-		-		-		-		-		-		2.1			
	教育訓練を強化する	4.1		3.9		6.0		4.0		4.0		6.0		6.5		6.3			
	流通経路の見直しをする	10.2		2.0		2.0		2.0		2.0		6.0		6.5		2.1			
	取引先を支援する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	2.0		-		-		-		-		-		-		-			
	労働条件を改善する	2.0		-		-		-		-		2.0		-		-			
	不動産の有効活用を図る	-		2.0		2.0		2.0		-		2.0		2.2		2.1			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
特になし	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		6.0		4.3		6.3				
有効回答事業所数		49		51		50		50		50		50		46		48			

小売業

地域名:千代田区  
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項 目	調査期	令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対	令和7年	
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	前期比	1月～3月期					
業況	良 い	8.0	8.0	21.4	12.0	14.8	21.4	11.1	14.8	14.8	11.1	14.8	18.5	14.8	15.4	3.8	11.5		7.7	
	普 通	48.0	56.0	42.9	40.0	51.9	42.9	59.3	48.2	44.5	59.3	44.5	51.9	48.2	50.0	53.9	57.7		61.5	
	悪 い	44.0	36.0	35.7	48.0	33.3	35.7	29.6	37.0	40.7	29.6	40.7	29.6	37.0	34.6	42.3	30.8		30.8	
	D・I	-36.0	-28.0	-14.3	-36.0	-18.5	-14.3	-18.5	-22.2	-25.9	-18.5	-25.9	-11.1	-22.2	-19.2	-38.5	-19.3		-23.1	
	修正値	-38.7	-27.5	-14.0	-36.9	-18.9	-16.5	-19.1	-21.7	-26.6	-18.0	-24.4	-13.2	-23.0	-19.4	-36.1	-19.1	-13.1		-21.0
	傾向値	-27.3		-28.0		-25.4		-23.0		-20.6		-20.8		-22.7		-25.6				
売上額	増 加	16.0	12.0	21.4	12.0	22.2	17.9	14.8	22.2	18.5	14.8	18.5	25.9	14.8	29.6	3.8	18.5		7.7	
	変らず	48.0	60.0	53.6	48.0	51.9	57.1	63.0	51.9	51.9	63.0	51.9	51.9	59.3	44.5	61.6	51.9		65.4	
	減 少	36.0	28.0	25.0	40.0	25.9	25.0	22.2	25.9	29.6	22.2	29.6	22.2	25.9	25.9	34.6	29.6		26.9	
	D・I	-20.0	-16.0	-3.6	-28.0	-3.7	-7.1	-7.4	-3.7	-11.1	-7.4	-11.1	3.7	-11.1	3.7	-30.8	-11.1		-19.2	
	修正値	-21.8	-13.8	-4.7	-29.1	-5.0	-12.1	-9.9	-3.2	-13.1	-6.7	-11.5	-1.4	-12.8	-1.0	-27.8	-8.4	-15.0		-16.1
	傾向値	-19.4		-17.2		-12.4		-9.3		-7.6		-7.4		-9.3		-13.1				
収益	増 加	12.0	8.0	25.0	8.0	14.8	21.4	14.8	22.2	14.8	11.1	14.8	18.5	14.8	25.9	3.8	14.8		7.7	
	変らず	48.0	68.0	39.3	60.0	55.6	50.0	59.3	51.9	44.5	66.7	48.2	55.6	51.9	44.5	61.6	55.6		65.4	
	減 少	40.0	24.0	35.7	32.0	29.6	28.6	25.9	25.9	40.7	22.2	37.0	25.9	33.3	29.6	34.6	29.6		26.9	
	D・I	-28.0	-16.0	-10.7	-24.0	-14.8	-7.2	-11.1	-3.7	-25.9	-11.1	-22.2	-7.4	-18.5	-3.7	-30.8	-14.8		-19.2	
	修正値	-29.8	-15.6	-9.5	-27.4	-11.6	-9.5	-16.1	-3.6	-24.8	-10.1	-21.4	-10.5	-16.2	-5.4	-31.8	-13.1	-15.6		-17.0
	傾向値	-25.2		-23.6		-19.0		-16.3		-15.9		-17.1		-19.0		-21.9				
価格動向	販 売 価 格	12.0	4.0	3.6	-8.0	18.5	-7.1	7.4	3.7	-3.7	-3.7	11.1	-3.7	11.1	18.5	15.4	11.1		7.7	
	〃 修正値	8.4	7.7	4.5	-5.9	13.6	-8.3	7.6	-2.4	-5.2	-0.8	10.0	-1.7	6.5	13.6	15.1	5.2	8.6	9.6	
	〃 傾向値	-1.2		3.5		6.7		9.5		8.4		7.4		7.4		7.5				
	仕 入 価 格	24.0	12.0	32.1	4.0	25.9	10.7	29.6	18.5	11.1	14.8	25.9	3.7	22.2	22.2	19.3	22.2		11.6	
	〃 修正値	23.4	10.6	30.7	6.4	21.6	10.1	24.7	13.4	13.6	12.4	24.2	9.2	19.5	19.6	16.2	15.8	-3.3	10.1	
	〃 傾向値	17.9		23.9		26.8		27.2		26.3		23.9		22.7		20.9				
在庫・繰り	在 庫 数 量	-8.0	4.0	0.0	-8.0	-3.7	0.0	0.0	0.0	-7.4	0.0	0.0	-11.1	-3.7	-3.7	-11.5	-7.4		-11.5	
	〃 修正値	-1.9	1.0	-2.4	-1.1	-2.9	-2.1	-3.8	-1.5	-0.6	-3.2	-3.0	-3.2	-2.9	-6.0	-13.7	-8.6	-10.8	-14.2	
	資 金 繰 り	-20.8	-16.0	-3.5	-20.0	-11.1	-3.5	3.7	-3.7	-7.4	0.0	-14.8	0.0	-7.4	-3.7	-3.8	-3.7		-3.8	
〃 修正値	-19.3	-18.5	-8.4	-21.1	-5.9	-8.3	-3.4	0.9	-6.2	-4.5	-16.9	-2.3	-3.1	-6.7	-8.0	0.1	-4.9	-5.9		
前年同期比	売 上 額	-4.0		3.6		22.2		11.1		0.0		0.0		-7.4		-19.3				
	収 益	-16.0		-7.2		-3.7		-11.1		-18.5		-29.7		-22.2		-26.9				
	販 売 価 格	20.0		14.2		33.3		33.3		25.9		25.9		18.5		23.1				
雇 用	残 業 時 間	-4.0	-12.0	-3.5	-4.0	-3.7	-3.5	-3.7	-3.7	-7.4	-7.4	-7.4	-7.4	0.0	-7.4	-3.9	0.0		-4.0	
	人 手	-20.0	-16.0	-14.3	-20.0	-11.1	-14.3	-22.2	-14.8	-14.8	-18.5	-18.5	-14.8	-14.8	-22.2	-15.4	-14.8		-16.0	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	20.8	20.8	17.9	16.7	25.9	21.4	25.9	25.9	29.6	25.9	33.3	29.6	29.6	22.2	30.8	22.2		19.2	
	借入しない/借入の予定なし(%)	79.2	79.2	82.1	83.3	74.1	78.6	74.1	74.1	70.4	74.1	66.7	70.4	70.4	77.8	69.2	77.8		80.8	
	借入難易度	0.0		4.3		4.7		4.4		0.0		13.6		4.5		9.1				
有効回答事業所数		25		28		27		27		27		27		27		26				

小売業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	令和7年1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.0	-8.0	-3.6	-4.0	3.7	-3.6	-3.7	3.7	0.0	-3.7	0.0	-3.7	0.0	-3.7	0.0	-3.7		0.0	
	実施した・予定あり	13.0	8.7	10.7	9.1	14.8	14.8	16.0	14.8	14.8	16.0	18.5	7.4	7.4	14.8	19.2	7.4		16.0	
	事業用土地・建物	-	-	33.3	-	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	40.0	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0		75.0	
	事務機器	33.3	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0	80.0	100.0	100.0	75.0	100.0	100.0		100.0	
	車両	33.3	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	20.0	50.0	50.0	25.0	60.0	50.0		75.0	
	投資内容																			
	その他	33.3	50.0	66.7	50.0	25.0	25.0	75.0	50.0	25.0	50.0	40.0	50.0	50.0	50.0	20.0	50.0		25.0	
	実施しない・予定なし	87.0	91.3	89.3	90.9	85.2	85.2	84.0	85.2	85.2	84.0	81.5	92.6	92.6	85.2	80.8	92.6		84.0	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	32.0		39.3		29.6		33.3		44.4		37.0		33.3		42.3				
	人手不足	12.0		7.1		11.1		14.8		7.4		11.1		7.4		7.7				
	同業者間の競争の激化	16.0		17.9		22.2		29.6		18.5		18.5		22.2		19.2				
	大型店との競争の激化	16.0		21.4		25.9		18.5		18.5		14.8		11.1		19.2				
	輸入製品との競争の激化	-		-		3.7		-		-		-		-		3.8				
	利幅の縮小	8.0		7.1		14.8		11.1		14.8		14.8		18.5		7.7				
	取扱商品の陳腐化	-		3.6		-		7.4		-		3.7		3.7		3.8				
	販売商品の不足	8.0		10.7		7.4		3.7		3.7		3.7		7.4		11.5				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	20.0		17.9		22.2		22.2		22.2		14.8		18.5		11.5				
	人件費の増加	8.0		3.6		3.7		7.4		7.4		11.1		3.7		3.8				
	人件費以外の経費の増加	12.0		10.7		7.4		7.4		7.4		14.8		7.4		3.8				
	取引先の減少	4.0		7.1		3.7		-		-		3.7		-		3.8				
	商圏人口の減少	8.0		3.6		3.7		-		3.7		-		-		-				
	商店街の集客力の低下	4.0		-		3.7		-		-		-		-		-				
	店舗の狭小・老朽化	4.0		3.6		-		-		-		-		-		3.8				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		-		-		3.7		3.7		3.7		3.7		-				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		-		3.7		-		-					
問題なし	20.0		17.9		18.5		18.5		18.5		22.2		25.9		26.9					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	28.0		25.0		25.9		25.9		22.2		22.2		22.2		26.9				
	経費を節減する	36.0		32.1		37.0		33.3		37.0		48.1		40.7		34.6				
	宣伝・広告を強化する	20.0		17.9		25.9		29.6		25.9		22.2		14.8		23.1				
	新しい事業を始める	12.0		7.1		11.1		11.1		14.8		11.1		7.4		3.8				
	店舗・設備を改装する	4.0		3.6		-		3.7		-		-		-		3.8				
	仕入先を開拓・選別する	4.0		3.6		-		-		-		7.4		14.8		3.8				
	営業時間を延長する	-		-		-		-		-		-		-		7.7				
	売れ筋商品を取り扱う	12.0		17.9		14.8		7.4		14.8		11.1		14.8		23.1				
	商店街事業を活性化させる	4.0		10.7		3.7		-		7.4		3.7		3.7		-				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	8.0		7.1		11.1		18.5		7.4		11.1		11.1		7.7				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		7.1		3.7		7.4		7.4		7.4		3.7		7.7				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		3.8				
不動産の有効活用を図る	-		-		7.4		3.7		-		-		-		-					
その他	4.0		7.1		-		-		3.7		-		3.7		-					
特になし	24.0		25.0		25.9		29.6		25.9		25.9		29.6		30.8					
有効回答事業所数		25		28		27		27		27		27		27		26				

サービス業  
 地域名:千代田区  
 中分類:業種合計

### 中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項 目	調査期	令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	令和7年 1月～3月期
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
業況	良 い	12.9	16.1	15.0	16.1	18.9	25.0	12.5	27.0	21.1	22.5	17.9	26.3	16.7	25.6	18.9	25.0		25.0
	普 通	67.7	61.3	67.5	64.5	59.5	62.5	62.5	54.1	60.5	57.5	56.5	55.3	61.1	53.9	64.9	61.1		61.1
	悪 い	19.4	22.6	17.5	19.4	21.6	12.5	25.0	18.9	18.4	20.0	25.6	18.4	22.2	20.5	16.2	13.9		13.9
	D・I	-6.5	-6.5	-2.5	-3.3	-2.7	12.5	-12.5	8.1	2.7	2.5	-7.7	7.9	-5.5	5.1	2.7	11.1		11.1
	修正値	<b>-9.0</b>	<b>-6.2</b>	<b>-4.7</b>	<b>-10.7</b>	<b>3.2</b>	<b>18.5</b>	<b>-11.6</b>	<b>9.0</b>	<b>-0.9</b>	<b>2.9</b>	<b>-6.4</b>	<b>-0.6</b>	<b>0.4</b>	<b>13.4</b>	<b>1.7</b>	<b>11.7</b>	<b>1.3</b>	<b>8.9</b>
	傾向値	-16.0		-11.7		-7.7		-6.1		-4.9		-4.4		-5.4		-3.9			
売上額	増 加	32.3	15.6	17.5	25.8	29.7	30.0	26.8	37.8	39.5	31.7	33.3	36.8	22.2	33.3	24.3	38.9		24.3
	変 ら ず	48.3	62.5	65.0	54.8	51.4	57.5	48.8	48.7	42.1	41.5	43.6	47.4	50.0	51.3	56.8	44.4		62.2
	減 少	19.4	21.9	17.5	19.4	18.9	12.5	24.4	13.5	18.4	26.8	23.1	15.8	27.8	15.4	18.9	16.7		13.5
	D・I	12.9	-6.3	0.0	6.4	10.8	17.5	2.4	24.3	21.1	4.9	10.2	21.0	-5.6	17.9	5.4	22.2		10.8
	修正値	<b>8.1</b>	<b>-5.1</b>	<b>2.1</b>	<b>0.0</b>	<b>14.0</b>	<b>23.3</b>	<b>-1.6</b>	<b>19.5</b>	<b>14.7</b>	<b>7.3</b>	<b>15.0</b>	<b>13.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>25.4</b>	<b>1.5</b>	<b>15.5</b>	<b>2.1</b>	<b>12.7</b>
	傾向値	-13.0		-5.3		0.7		5.4		7.6		9.9		9.1		7.4			
収益	増 加	25.8	15.6	20.0	22.6	27.0	32.5	19.5	24.3	39.5	29.3	28.2	31.6	22.2	28.2	24.3	27.8		21.6
	変 ら ず	54.8	59.4	60.0	58.0	54.1	57.5	48.8	56.8	36.8	41.4	46.2	50.0	50.0	61.5	56.8	58.3		67.6
	減 少	19.4	25.0	20.0	19.4	18.9	10.0	31.7	18.9	23.7	29.3	25.6	18.4	27.8	10.3	18.9	13.9		10.8
	D・I	6.4	-9.4	0.0	3.2	8.1	22.5	-12.2	5.4	15.8	0.0	2.6	13.2	-5.6	17.9	5.4	13.9		10.8
	修正値	<b>1.4</b>	<b>-11.6</b>	<b>5.4</b>	<b>-1.1</b>	<b>6.7</b>	<b>30.9</b>	<b>-12.7</b>	<b>1.2</b>	<b>9.5</b>	<b>-0.8</b>	<b>9.1</b>	<b>7.9</b>	<b>-4.4</b>	<b>23.8</b>	<b>4.0</b>	<b>9.4</b>	<b>8.4</b>	<b>10.2</b>
	傾向値	-13.4		-6.1		-0.9		0.9		1.8		3.3		1.9		2.4			
価格動向	料 金 価 格	29.0	9.4	5.0	29.0	16.2	10.0	2.4	16.2	7.9	0.0	33.3	7.9	11.1	25.6	16.2	13.9		13.5
	〃 修正値	<b>22.2</b>	<b>8.4</b>	<b>6.4</b>	<b>23.6</b>	<b>16.3</b>	<b>10.8</b>	<b>3.5</b>	<b>15.2</b>	<b>3.5</b>	<b>2.1</b>	<b>31.3</b>	<b>4.6</b>	<b>12.2</b>	<b>24.0</b>	<b>17.3</b>	<b>13.2</b>	<b>5.1</b>	<b>15.7</b>
	〃 傾向値	9.0		11.8		13.7		14.4		10.5		11.4		14.3		15.4			
	材 料 価 格	35.5	25.0	32.5	35.5	29.7	35.0	21.9	32.4	26.3	24.4	35.9	31.6	30.6	30.8	21.6	30.5		18.9
	〃 修正値	<b>27.8</b>	<b>23.0</b>	<b>29.8</b>	<b>31.6</b>	<b>32.6</b>	<b>29.6</b>	<b>22.0</b>	<b>35.0</b>	<b>21.3</b>	<b>24.2</b>	<b>31.7</b>	<b>28.4</b>	<b>33.5</b>	<b>25.0</b>	<b>22.2</b>	<b>34.0</b>	<b>-11.3</b>	<b>20.2</b>
	〃 傾向値	18.7		22.2		26.6		29.9		28.8		28.0		28.6		28.6			
在資産・繰り	資 金 繰 り	-12.9	-9.3	2.5	-12.9	8.1	2.5	0.0	5.4	13.2	-2.5	5.1	7.9	-2.8	5.1	-2.7	-2.8		-5.4
	〃 修正値	<b>-12.6</b>	<b>-12.0</b>	<b>2.4</b>	<b>-11.8</b>	<b>9.5</b>	<b>5.1</b>	<b>-2.0</b>	<b>4.0</b>	<b>12.3</b>	<b>-5.4</b>	<b>5.8</b>	<b>7.1</b>	<b>-1.4</b>	<b>7.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>-4.2</b>	<b>-2.0</b>	<b>-6.2</b>
前年同期比	売 上 額	29.0		22.5		21.6		12.5		31.6		12.8		22.2		21.6			
	収 益	19.4		20.0		18.9		0.0		26.3		7.7		8.4		13.5			
雇 用	残 業 時 間	-6.5	-15.6	2.5	-6.5	-5.4	2.5	-4.9	-2.7	-5.3	-5.2	-12.8	-5.3	-5.5	-7.7	-2.7	2.8		0.0
	人 手	-29.0	-19.4	-25.0	-29.0	-21.6	-27.5	-24.4	-24.3	-28.9	-30.8	-23.7	-28.9	-27.8	-26.3	-35.1	-31.4		-35.1
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	41.9	28.1	47.5	16.1	37.8	33.3	39.0	38.9	42.1	34.1	33.3	39.5	25.0	35.9	34.3	25.7		24.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	58.1	71.9	52.5	83.9	62.2	66.7	61.0	61.1	57.9	65.9	66.7	60.5	75.0	64.1	65.7	74.3		75.7
	借入難易度	-17.9		-7.9		0.0		-8.1		2.9		2.8		2.9		0.0			
有効回答事業所数		31		41		37		41		38		39		36		38			

サービス業  
地域名:千代田区  
中分類:業種合計

### 中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年10月~12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対	令和7年
	1月~3月期		4月~6月期		7月~9月期		10月~12月期		1月~3月期		4月~6月期		7月~9月期		10月~12月期		10月~12月期		前期比	1月~3月期
設備投資動向(%)	現在の設備	6.5	-3.2	-5.1	3.2	0.0	-5.1	-4.9	0.0	-7.9	-4.9	-7.7	-7.9	-2.8	-7.7	-8.1	-2.8			-5.4
	実施した・予定あり	6.5	9.7	12.5	0.0	16.7	15.0	19.5	19.4	23.7	19.5	18.4	23.7	20.0	15.8	18.9	17.6			18.9
	事業用地・建物	-	-	20.0	-	16.7	16.7	25.0	14.3	22.2	25.0	42.9	22.2	-	16.7	14.3	-			14.3
	機械・設備の新・増設	50.0	33.3	20.0	-	16.7	16.7	12.5	-	33.3	12.5	28.6	33.3	14.3	33.3	28.6	33.3			28.6
	機械・設備の更改	50.0	-	-	-	-	-	12.5	14.3	22.2	12.5	-	22.2	-	-	57.1	-			57.1
	事務機器	-	100.0	60.0	-	83.3	66.7	62.5	85.7	66.7	62.5	57.1	66.7	71.4	83.3	57.1	66.7			57.1
	車両	50.0	-	-	-	16.7	-	12.5	14.3	-	25.0	-	-	-	-	-	-			-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-			-
実施しない・予定なし	93.5	90.3	87.5	100.0	83.3	85.0	80.5	80.6	76.3	80.5	81.6	76.3	80.0	84.2	81.1	82.4			81.1	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	41.9		51.2		32.4		39.0		31.6		25.6		33.3		23.7				
	人手不足	25.8		39.0		32.4		34.1		34.2		38.5		33.3		34.2				
	同業者間の競争の激化	22.6		19.5		21.6		22.0		23.7		20.5		13.9		15.8				
	大企業との競争の激化	-		-		5.4		4.9		7.9		2.6		2.8		5.3				
	合理化の不足	3.2		2.4		-		2.4		5.3		5.1		5.6		5.3				
	利幅の縮小	12.9		14.6		16.2		4.9		7.9		17.9		8.3		5.3				
	取扱事務の陳腐化	3.2		2.4		2.7		2.4		2.6		2.6		2.8		2.6				
	材料価格の上昇	16.1		14.6		13.5		4.9		7.9		10.3		11.1		10.5				
	料金の値下げ要請	3.2		-		-		-		-		-		-		-				
	人件費の増加	22.6		19.5		18.9		22.0		21.1		23.1		36.1		28.9				
	人件費以外の経費の増加	3.2		9.8		8.1		4.9		5.3		5.1		2.8		2.6				
	技術力の不足	9.7		4.9		-		4.9		5.3		2.6		5.6		5.3				
	取引先の減少	6.5		4.9		2.7		4.9		5.3		2.6		5.6		2.6				
	商圏人口の減少	-		-		-		2.4		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	店舗・設備の狭小・老朽化	-		-		2.7		2.4		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		4.9		2.7		2.4		2.6		2.6		2.8		-				
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		2.6		-		-		-					
その他	-		-		-		2.4		2.6		2.6		2.8		-					
問題なし	19.4		12.2		18.9		12.2		13.2		15.4		16.7		21.1					
重点経営施策(%)	販路を広げる	61.3		61.0		56.8		53.7		44.7		48.7		44.4		47.4				
	経費を節減する	54.8		48.8		40.5		34.1		50.0		25.6		38.9		26.3				
	宣伝・広告を強化する	3.2		4.9		8.1		9.8		7.9		7.7		5.6		2.6				
	新しい事業を始める	3.2		-		-		-		2.6		5.1		-		-				
	店舗・設備を改装する	-		2.4		2.7		2.4		2.6		-		-		-				
	提携先を見つめる	9.7		9.8		10.8		9.8		7.9		10.3		11.1		7.9				
	技術力を強化する	12.9		9.8		8.1		12.2		10.5		12.8		11.1		13.2				
	機械化を推進する	-		-		-		4.9		2.6		5.1		5.6		-				
	人材を確保する	25.8		31.7		35.1		34.1		28.9		41.0		38.9		50.0				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	3.2		7.3		8.1		12.2		13.2		7.7		5.6		5.3				
	労働条件を改善する	-		2.4		-		2.4		2.6		-		2.8		2.6				
	不動産の有効活用を図る	3.2		4.9		2.7		2.4		2.6		2.6		2.8		2.6				
その他	-		-		-		2.4		-		-		-		-					
特になし	12.9		12.2		18.9		17.1		18.4		17.9		19.4		21.1					
有効回答事業所数	31		41		37		41		38		39		36		38					

## 建設業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月~12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	令和7年 1月~3月期
	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	11月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期			
業況	良い	34.5	23.3	31.0	31.0	42.9	25.9	31.0	37.0	50.0	24.1	33.3	44.4	33.3	37.0	32.1	30.8		32.1	
	普通	55.2	63.4	62.1	65.6	57.1	66.7	62.1	59.3	46.4	72.5	63.0	51.9	66.7	63.0	60.8	69.2		64.3	
	悪い	10.3	13.3	6.9	3.4	-	7.4	6.9	3.7	3.6	3.4	3.7	3.7	-	-	7.1	-		3.6	
	D・I	24.2	10.0	24.1	27.6	42.9	18.5	24.1	33.3	46.4	20.7	29.6	40.7	33.3	37.0	25.0	30.8		28.5	
	修正値	17.5	0.8	39.6	20.7	49.3	35.7	18.2	41.5	34.7	14.1	40.9	29.2	36.6	48.6	23.6	35.4	-13.0	23.2	
	傾向値	9.0		15.4		21.5		26.7		31.6		35.1		34.6		33.5				
売上額	増加	41.4	23.3	37.9	37.9	35.7	34.5	31.0	28.6	57.2	31.0	42.8	50.0	46.5	46.4	34.5	39.3		24.1	
	変らず	48.3	63.4	51.8	55.2	60.7	58.6	62.1	64.3	35.7	65.6	42.9	46.4	46.4	42.9	58.6	53.6		72.5	
	減少	10.3	13.3	10.3	6.9	3.6	6.9	6.9	7.1	7.1	3.4	14.3	3.6	7.1	10.7	6.9	7.1		3.4	
	D・I	31.1	10.0	27.6	31.0	32.1	27.6	24.1	21.5	50.1	27.6	28.5	46.4	39.4	35.7	27.6	32.2		20.7	
	修正値	20.2	4.1	73.8	25.6	40.2	26.6	5.6	38.9	32.5	27.9	68.6	40.6	52.2	32.5	10.6	47.1	-41.6	19.5	
	傾向値	8.8		17.4		24.9		28.2		31.1		33.6		34.6		36.0				
受注残	増加	27.6	20.0	34.5	24.1	32.1	31.0	34.5	25.0	53.5	27.6	39.3	50.0	42.9	42.9	34.5	35.7		31.0	
	変らず	62.1	66.7	58.6	72.5	64.3	62.1	65.5	67.9	42.9	72.4	53.6	50.0	53.5	50.0	58.6	60.7		65.6	
	減少	10.3	13.3	6.9	3.4	3.6	6.9	-	7.1	3.6	-	7.1	-	3.6	7.1	6.9	3.6		3.4	
	D・I	17.3	6.7	27.6	20.7	28.5	24.1	34.5	17.9	49.9	27.6	32.2	50.0	39.3	35.8	27.6	32.1		27.6	
	修正値	23.5	0.8	43.2	19.0	32.6	26.4	18.5	33.7	48.4	23.9	43.9	40.8	45.0	33.9	16.4	40.2	-28.6	26.5	
	傾向値	9.0		15.0		20.9		24.8		31.1		35.7		37.6		38.1				
施工高	増加	24.1	16.7	27.6	24.1	32.1	20.7	34.5	25.0	57.1	34.5	35.7	50.0	39.3	39.3	31.0	32.1		24.1	
	変らず	69.0	70.0	65.5	72.5	60.8	72.4	62.1	67.9	39.3	65.5	60.7	50.0	60.7	60.7	62.1	67.9		72.5	
	減少	6.9	13.3	6.9	3.4	7.1	6.9	3.4	7.1	3.6	-	3.6	-	-	6.9	-		3.4		
	D・I	17.2	3.4	20.7	20.7	25.0	13.8	31.1	17.9	53.5	34.5	32.1	50.0	39.3	39.3	24.1	32.1		20.7	
	修正値	21.7	6.4	40.7	23.5	22.8	11.5	14.6	21.4	49.0	37.8	51.5	41.9	45.0	34.6	9.0	35.8	-36.0	23.2	
	傾向値	7.0		13.4		18.3		21.7		28.0		34.0		37.2		38.1				
収益	増加	34.5	20.0	27.6	24.1	25.0	24.1	27.6	21.4	32.1	20.7	25.0	28.6	28.6	28.6	20.7	25.0		17.2	
	変らず	55.2	60.0	58.6	62.1	67.9	62.1	62.1	64.3	53.6	69.0	53.6	60.7	57.1	50.0	65.5	60.7		72.5	
	減少	10.3	20.0	13.8	13.8	7.1	13.8	10.3	14.3	14.3	10.3	21.4	10.7	14.3	21.4	13.8	14.3		10.3	
	D・I	24.2	0.0	13.8	10.3	17.9	10.3	17.3	7.1	17.8	10.4	3.6	17.9	14.3	7.2	6.9	10.7		6.9	
	修正値	16.6	1.1	35.8	3.9	24.0	3.1	1.2	22.3	9.7	12.3	24.4	9.7	18.9	4.4	-2.4	18.3	-21.3	10.4	
	傾向値	2.8		10.3		15.9		18.2		17.5		15.4		13.7		12.0				
価格動向	請負価格	24.2	3.3	20.7	20.7	28.6	17.3	31.0	18.5	53.6	31.0	28.5	46.4	25.0	32.1	24.2	21.4		20.7	
	修正値	21.5	2.9	36.8	20.3	21.2	12.5	21.3	22.4	43.3	30.7	40.9	38.9	30.3	27.1	21.4	32.7	-8.9	24.2	
	傾向値	7.1		13.1		18.9		23.9		29.8		34.5		35.0		33.7				
	材料価格	62.2	36.7	55.3	60.7	49.9	48.4	51.8	40.7	64.2	44.9	57.1	60.7	50.0	60.7	44.8	46.4		41.4	
	修正値	54.0	39.2	79.3	58.0	43.4	52.2	45.8	40.4	53.3	46.1	73.4	56.0	45.1	59.1	42.7	46.8	-2.4	42.4	
	傾向値	46.4		51.1		54.0		54.6		55.1		55.5		55.8		54.9				
在庫金・繰り	在庫数量	-13.8	-23.3	-3.4	-17.9	-7.2	-3.4	-3.5	-3.7	0.0	-6.9	7.1	-3.5	3.5	7.1	-3.4	3.5		-3.4	
	修正値	-11.0	-20.4	-5.2	-17.8	-8.8	-0.7	2.1	-5.9	1.1	-1.9	4.6	-5.1	2.9	6.4	1.4	-0.3	-1.5	2.7	
	資金繰り	0.0	6.7	-3.5	3.6	10.7	-3.4	6.9	3.8	14.3	-3.4	10.7	7.2	0.0	10.7	6.9	0.0		6.9	
	修正値	-0.1	4.8	2.9	-1.6	12.4	3.6	0.3	8.8	10.9	-4.4	20.5	-1.7	-1.7	15.2	-1.3	-2.1	0.4	3.2	
前年同期比	売上額	25.0		24.2		33.3		34.5		39.3		32.2		46.4		31.0				
	収益	14.3		3.5		14.8		24.2		28.6		28.6		32.1		17.3				
雇用	残業時間	0.0	10.0	6.9	0.0	0.0	3.5	10.3	0.0	14.3	10.3	17.8	10.7	14.3	17.9	3.5	10.7		3.5	
	人手	-34.5	-26.7	-41.4	-34.5	-25.0	-41.4	-20.7	-25.9	-25.0	-20.7	-17.8	-28.5	-14.3	-14.3	-13.8	-14.3		-13.8	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	31.0	24.1	31.0	20.7	32.1	20.7	25.0	17.9	21.4	10.7	25.0	28.6	25.0	17.9	31.0	17.9		17.2	
	借入しない/借入の予定なし(%)	69.0	75.9	69.0	79.3	67.9	79.3	75.0	82.1	78.6	89.3	75.0	71.4	75.0	82.1	69.0	82.1		82.8	
	借入難易度	3.9		4.0		-4.2		0.0		4.3		12.5		4.1		8.0				
有効回答事業所数		29		29		28		29		28		28		28		29				

建設業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	令和7年
	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.4	3.6	0.0	-3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実施した・予定あり	10.3	6.7	13.8	10.7	16.0	14.3	13.8	8.3	7.1	7.1	10.7	7.4	7.1	11.1	24.1	3.7		28.6	
	事業用地・建物	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	50.0	-	33.3	50.0	-	66.7	85.7	-		75.0	
	機械・設備の新・増設	66.7	-	50.0	66.7	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	33.3	50.0	50.0	66.7	71.4	100.0		62.5	
	機械・設備の更改	66.7	100.0	75.0	66.7	25.0	50.0	50.0	50.0	-	100.0	33.3	-	50.0	33.3	71.4	100.0		62.5	
	事務機器	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	12.5	
	車両	33.3	-	25.0	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	66.7	50.0	50.0	33.3	-	-		25.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	実施しない・予定なし	89.7	93.3	86.2	89.3	84.0	85.7	86.2	91.7	92.9	92.9	89.3	92.6	92.9	88.9	75.9	96.3		71.4	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	24.1		27.6		14.3		17.2		7.1		7.1		7.1		6.9			
人手不足		51.7		51.7		39.3		37.9		39.3		39.3		39.3		37.9				
大手企業との競争の激化		6.9		3.4		3.6		6.9		10.7		3.6		3.6		3.4				
同業者間の競争の激化		10.3		10.3		10.7		17.2		10.7		21.4		17.9		17.2				
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-				
合理化の不足		-		-		3.6		-		-		3.6		-		3.4				
利幅の縮小		24.1		3.4		7.1		3.4		7.1		3.6		10.7		20.7				
材料価格の上昇		41.4		37.9		32.1		34.5		46.4		42.9		39.3		37.9				
下請の確保難		-		3.4		-		3.4		3.6		3.6		3.6		20.7				
駐車場・資材置場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		6.9				
人件費の増加		13.8		13.8		17.9		17.2		21.4		21.4		25.0		24.1				
人件費以外の経費の増加		3.4		10.3		10.7		6.9		7.1		7.1		7.1		-				
技術力の不足		-		-		-		-		-		-		-		6.9				
代金回収の悪化		-		-		-		3.4		3.6		-		-		6.9				
天候の不順		3.4		-		-		-		-		-		-		-				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		-		3.6		3.6		-					
問題なし	10.3		10.3		21.4		20.7		21.4		21.4		21.4		6.9					
重点経営施策(%)	販路を広げる	48.3		44.8		32.1		34.5		39.3		35.7		39.3		44.8				
	経費を節減する	41.4		48.3		39.3		41.4		50.0		50.0		46.4		31.0				
	情報力を強化する	10.3		13.8		25.0		20.7		17.9		14.3		17.9		13.8				
	新しい工法を導入する	3.4		-		-		-		-		3.6		3.6		-				
	新しい事業を始める	3.4		-		-		-		-		-		-		3.4				
	技術力を高める	10.3		17.2		17.9		17.2		17.9		17.9		7.1		13.8				
	人材を確保する	51.7		41.4		32.1		37.9		35.7		35.7		35.7		44.8				
	パート化を図る	-		-		3.6		-		-		-		-		6.9				
	教育訓練を強化する	-		3.4		3.6		-		-		-		-		3.4				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		3.6		3.6		3.6		20.7				
	不動産の有効活用を図る	-		3.4		3.6		-		-		-		-		3.4				
その他	-		-		-		-		-		-		-		3.4					
特になし	6.9		3.4		14.3		24.1		17.9		21.4		21.4		6.9					
有効回答事業所数	29		29		28		29		28		28		28		29					

不動産業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和6年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	令和7年 1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
業況	良	10.0	14.8	25.0	13.8	22.2	30.6	16.7	13.9	18.9	11.1	13.9	16.2	20.0	11.1	22.9	20.0			22.9
	普	76.7	70.4	63.9	72.4	63.9	58.3	69.4	75.0	64.9	75.0	72.2	70.3	74.3	77.8	62.8	74.3			62.8
	悪	13.3	14.8	11.1	13.8	13.9	11.1	13.9	11.1	16.2	13.9	13.9	13.5	5.7	11.1	14.3	5.7			14.3
	D・I	-3.3	0.0	13.9	0.0	8.3	19.5	2.8	2.8	2.7	-2.8	0.0	2.7	14.3	0.0	8.6	14.3			8.6
	修正値	-11.6	-4.1	15.4	-4.1	18.6	21.8	10.9	9.9	-6.1	-10.3	0.5	-3.6	17.5	4.0	13.5	22.5	-4.0		8.3
	傾向値	-11.0		-5.6		-0.2		3.8		6.2		5.2		4.2		5.7				
売上額	増	20.0	10.7	30.6	23.3	27.8	25.0	22.2	22.2	27.0	19.4	30.6	29.7	36.1	36.1	20.0	30.6			22.9
	変	70.0	78.6	55.5	66.7	61.1	61.1	66.7	69.5	59.5	72.3	58.3	59.5	58.3	58.3	60.0	63.8			60.0
	減	10.0	10.7	13.9	10.0	11.1	13.9	11.1	8.3	13.5	8.3	11.1	10.8	5.6	5.6	20.0	5.6			17.1
	D・I	10.0	0.0	16.7	13.3	16.7	11.1	11.1	13.9	13.5	11.1	19.5	18.9	30.5	30.5	0.0	25.0			5.8
	修正値	-4.3	-11.4	26.7	2.4	38.3	29.3	7.6	18.2	-2.0	-4.7	26.3	5.5	43.6	50.5	-2.2	32.0	-45.8		0.8
	傾向値	-10.6		-2.3		6.6		12.7		14.1		14.9		16.9		17.3				
収益	増	16.7	7.1	22.2	20.0	22.2	19.4	16.7	11.1	18.9	13.9	22.2	18.9	27.8	27.8	22.9	27.8			28.6
	変	66.6	75.0	61.1	60.0	61.1	66.7	63.9	77.8	64.9	69.4	61.1	64.9	63.9	61.1	62.8	61.1			60.0
	減	16.7	17.9	16.7	20.0	16.7	13.9	19.4	11.1	16.2	16.7	16.7	16.2	8.3	11.1	14.3	11.1			11.4
	D・I	0.0	-10.8	5.5	0.0	5.5	5.5	-2.7	0.0	2.7	-2.8	5.5	2.7	19.5	16.7	8.6	16.7			17.2
	修正値	-10.9	-17.6	7.4	-6.6	27.4	7.2	0.0	13.9	-9.5	-13.4	8.8	-5.6	32.3	27.5	7.7	30.4	-24.6		9.6
	傾向値	-14.0		-8.4		-2.3		1.6		2.4		2.8		4.5		7.7				
価格動向	販	16.7	14.3	39.0	16.7	33.3	36.1	41.6	25.0	35.1	28.6	27.7	32.4	33.3	27.7	31.4	33.3			22.8
	修正値	12.6	6.4	36.3	9.7	55.5	39.2	29.6	40.4	29.3	18.5	27.3	24.7	48.4	33.9	23.1	42.1	-25.3		17.2
	傾向値	9.8		14.7		22.4		29.6		35.0		35.8		34.4		33.2				
	仕	40.0	25.0	58.3	43.3	47.2	58.3	61.1	38.9	51.4	52.8	33.3	45.9	36.1	36.1	28.5	36.1			20.0
	修正値	39.6	20.8	53.8	41.7	50.1	52.9	53.0	47.5	51.1	45.1	34.4	43.3	39.2	34.8	25.5	44.0	-13.7		18.2
	傾向値	28.9		34.1		40.8		47.5		53.1		51.4		46.9		41.4				
在庫・繰り	在	-16.7	-21.4	-13.9	-20.0	-13.9	-16.6	-16.7	-10.8	-19.4	-8.3	-13.5	2.7	-5.5	-8.5	-5.5				-8.5
	修正値	-16.6	-9.9	-3.6	-18.7	-25.8	-10.5	-5.4	-29.9	-11.3	-9.1	-7.1	-14.4	-11.6	-5.3	2.8	-17.2	14.4		3.2
	資	-6.7	-7.2	-8.4	-10.0	-8.4	-8.4	-8.3	-8.4	0.0	-8.3	0.0	2.7	0.0	-2.7	-2.8	2.8			-2.8
修正値	-9.0	-18.0	-3.5	-13.9	4.0	-0.4	-15.7	6.4	-1.4	-17.8	2.0	-1.2	10.4	2.9	-9.0	15.5	-19.4		-11.2	
前年同期比	売	20.0		19.4		16.7		22.8		18.9		16.7		27.7		5.7				
	収	3.3		5.5		2.7		0.0		8.1		11.1		19.5		14.3				
雇用	残	-6.7	0.0	0.0	-6.7	0.0	0.0	2.8	0.0	2.7	2.8	2.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0
	人	-6.7	-11.1	-13.9	-6.9	-13.9	-14.7	-11.1	-13.9	-10.8	-11.1	-13.9	-10.8	-13.9	-13.9	-11.4	-13.9			-11.4
借入金	借	26.7	13.8	38.9	20.0	36.1	36.1	33.3	38.9	32.4	30.6	30.6	32.4	38.9	30.6	31.4	30.6			25.7
	借	73.3	86.2	61.1	80.0	63.9	63.9	66.7	61.1	67.6	69.4	69.4	67.6	61.1	69.4	68.6	69.4			74.3
	借	-4.0		3.2		3.0		3.0		0.0		-3.2		-3.1		0.0				
有効回答事業所数	30		36		36		36		37		36		36		35					







---

## 千代田区 中小企業の景況

令和6年10月～12月期

【発行】 千代田区地域振興部商工観光課  
千代田区九段南1-6-17 千代田会館8階  
TEL：03（5211）4185

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】 株式会社 東京商工リサーチ

---